

小金井市保健福祉総合計画
(障害者計画・障害福祉計画) 策定のための
アンケート調査報告書

令和5年3月

小金井市

目次

I 調査の概要	1
1 調査の目的	1
2 調査対象	1
3 調査期間	1
4 調査方法	1
5 回収状況	1
6 調査結果の表示方法	1
II 調査結果	2
当事者	2
1 回答者属性	2
2 障害の状況について	7
3 日常生活・介護の状況について	12
4 保健福祉サービスの利用状況について	24
5 福祉サービスや生活に関する相談・情報について	36
6 外出について	41
7 収入や仕事について	43
8 保育・教育について	53
9 災害時の避難等について	60
10 地域社会について	65
11 今後の暮らし方や障がい福祉施策全般について	78
関係団体	83
1 団体活動の状況について	83
2 障がい者の権利擁護について	85
3 障がい者福祉施策について	88
事業所	90
1 事業所について	90
2 運営やサービス提供について	92
3 権利擁護・相談支援について	97
4 障がい者福祉施策について	100

一般市民.....	103
1 回答者属性.....	103
2 ノーマライゼーション等について.....	106
3 福祉に対する関心について.....	108
4 障がいのある人とのふれあいについて.....	116
5 障がいのある人への日常的な支援・手助けについて.....	123
6 障がい者施策について.....	128

I 調査の概要

1 調査の目的

「小金井市保健福祉総合計画」の中の障害者計画・障害福祉計画改定のための調査です。

2 調査対象

当事者：各種障害者手帳保持者、難病医療対象者、小児慢性特定疾病対象者、自立支援医療（精神通院医療）対象者

3 調査期間

令和4年12月～令和5年1月


4 調査方法

郵送配付・郵送回収及びインターネット回答

5 回収状況

配布数	配布数	有効回答数	有効回答率
当事者	6390 通	3106 通	48.6%
関係団体	23 通	15 通	65.2%
事業所	55 通	39 通	70.9%
一般市民	2000 通	636 通	31.8%

6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを  で網かけをしています。（無回答を除く）
- ・回答者数が1桁の場合、回答件数による表記としています。

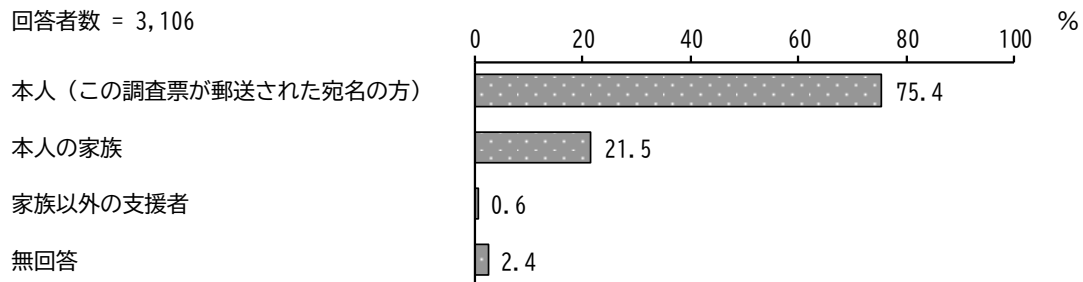
Ⅱ 調査結果

当事者

1 回答者属性

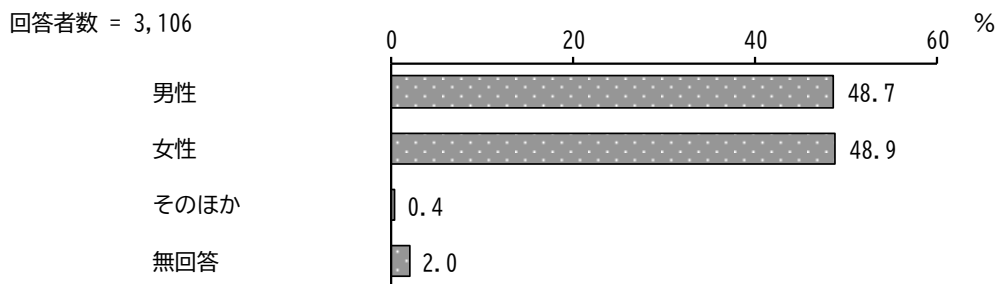
F 1 お答えいただくのは、どなたですか。(1つに○)

「本人（この調査票が郵送された宛名の方）」の割合が 75.4%と最も高く、次いで「本人の家族」の割合が 21.5%となっています。



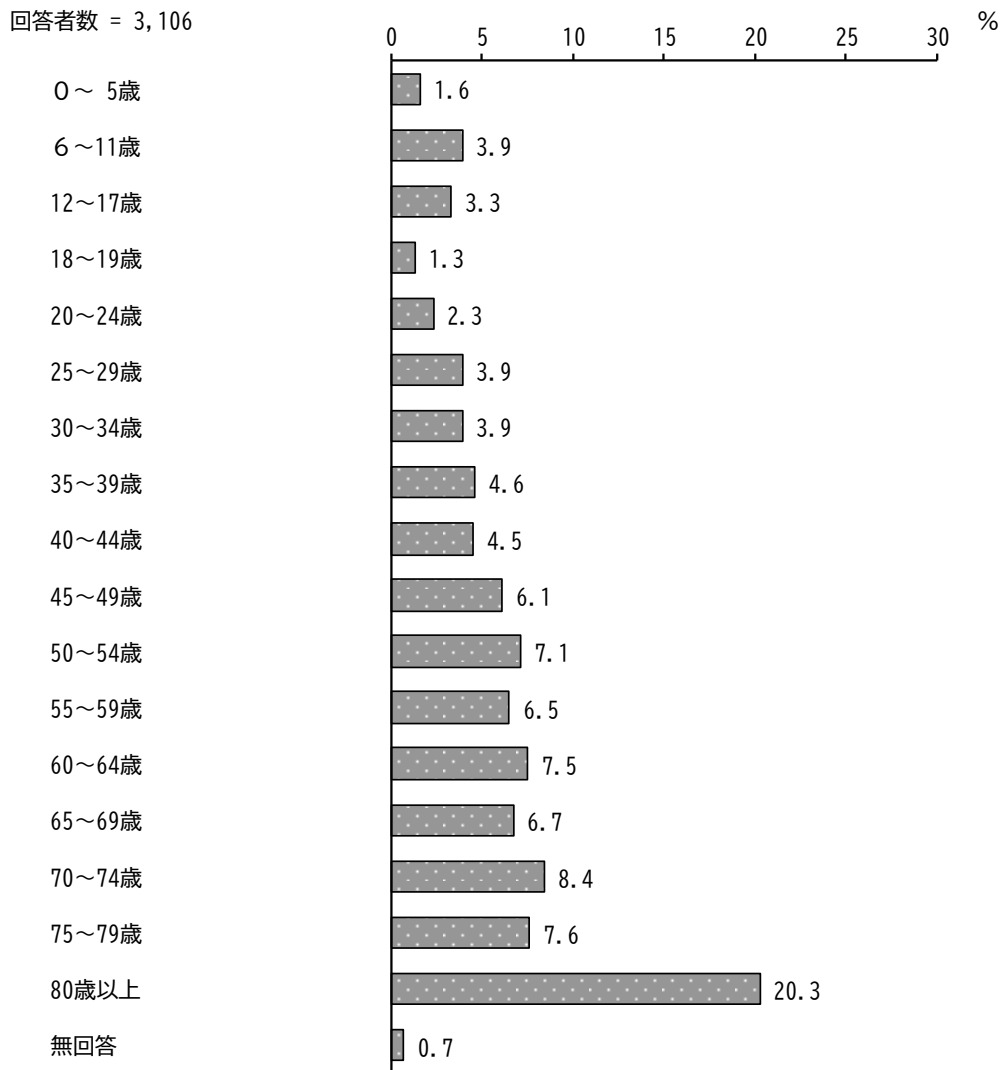
F 2 あなたの性別はどちらですか。(1つに○)

「男性」の割合が 48.7%、「女性」の割合が 48.9%となっています。



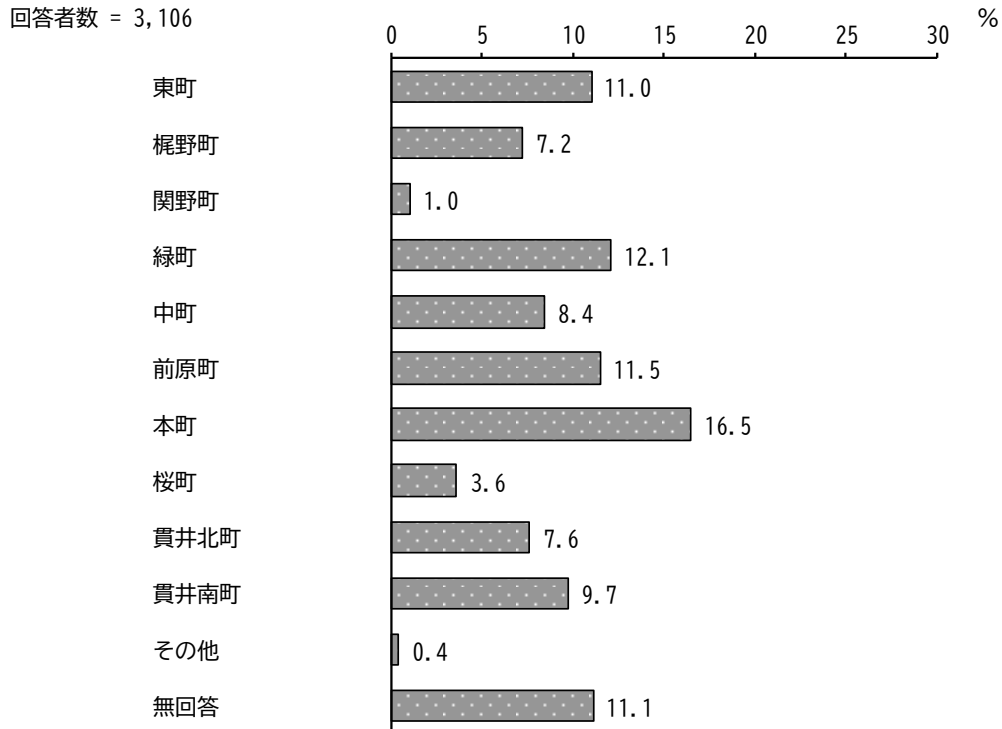
F 3 あなたの年齢（令和4（2022）年12月1日現在）は次のどれですか。（1つに○）

「80歳以上」の割合が20.3%と最も高くなっています。



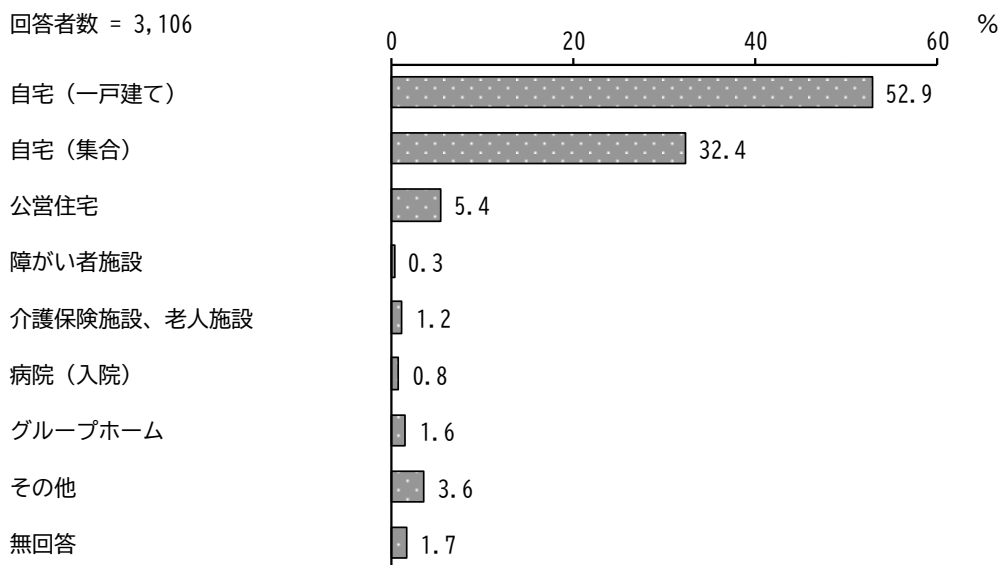
F 4 あなたはどちらにお住まいですか。(1つに○) また、丁目を〔 〕内にご記入ください。

「本町」の割合が16.5%と最も高く、次いで「緑町」の割合が12.1%、「前原町」の割合が11.5%となっています。



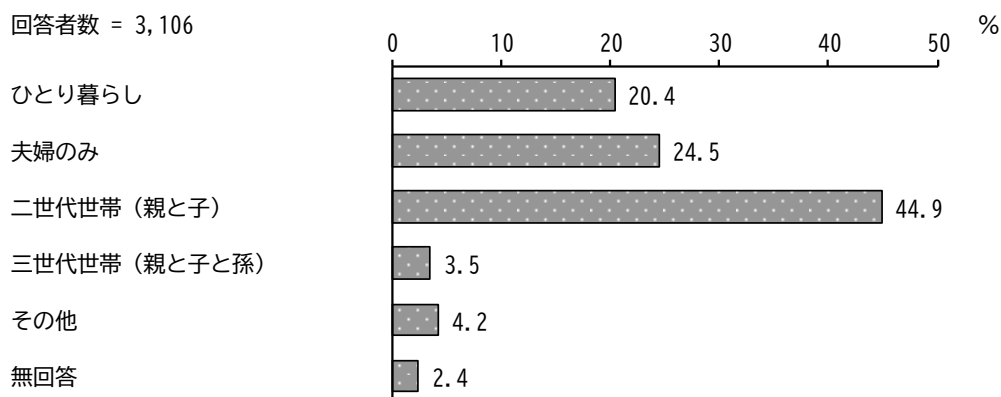
F 5 現在のお住まい（生活の場）は、次のどれにあたりますか。(1つに○)

「自宅（一戸建て）」の割合が52.9%と最も高く、次いで「自宅（集合）」の割合が32.4%となっています。



F 6 あなたの家族構成はどのようになっていますか。施設等に入所している方は実家の状態をお答えください。(1つに○)

「二世世代世帯（親と子）」の割合が 44.9%と最も高く、次いで「夫婦のみ」の割合が 24.5%、「ひとり暮らし」の割合が 20.4%となっています。



【障がい種別】

障がい種別にみると、他に比べ、愛の手帳所持者で「二世世代世帯（親と子）」の割合が、身体障害者手帳所持者で「夫婦のみ」の割合が、精神障害者保健福祉手帳所持者で「ひとり暮らし」の割合が高くなっています。

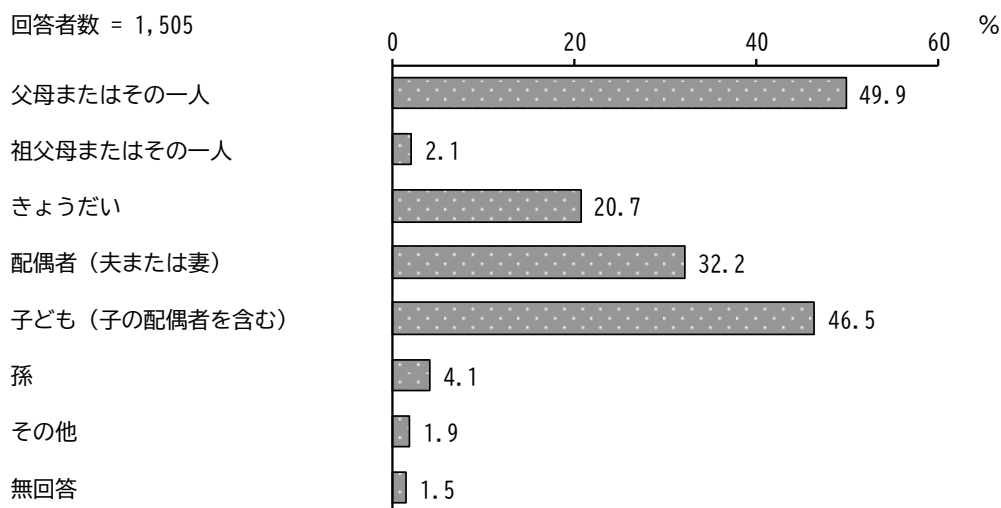
単位：%

区分	回答者数 (件)	ひとり暮らし	夫婦のみ	二世世代世帯 (親と子)	三世世代世帯 (親と子と孫)	その他	無回答
全体	3106	20.4	24.5	44.9	3.5	4.2	2.4
身体障害者手帳所持者	1245	20.9	34.5	34.3	4.4	3.5	2.4
愛の手帳所持者	267	3.7	4.9	76.0	7.1	4.9	3.4
精神障害者保健福祉手帳所持者	209	30.1	16.3	47.8	1.4	3.8	0.5
その他	835	25.4	14.7	50.5	2.6	4.6	2.2

F 6で「二世帯世帯（親と子）」、「三世代世帯（親と子と孫）」を選択した方にお聞きします。

F 6-1 現在、あなたと一緒に暮らしている人は、どなたですか。あなたからみた続柄で、該当する方をお答えください。（いくつでも○）

「父母またはその一人」の割合が49.9%と最も高く、次いで「子ども（子の配偶者を含む）」の割合が46.5%、「配偶者（夫または妻）」の割合が32.2%となっています。



【障がい種別】

障がい種別にみると、他に比べ、愛の手帳所持者で「父母またはその一人」の割合が、身体障害者手帳所持者で「子ども（子の配偶者を含む）」の割合が、精神障害者保健福祉手帳所持者で「父母またはその一人」の割合が高くなっています。

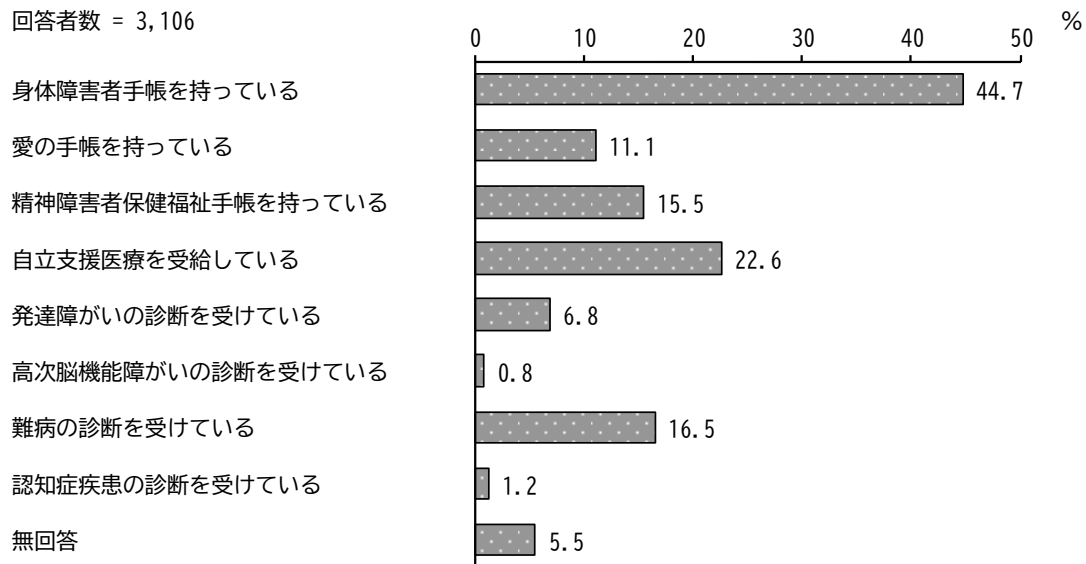
単位：%

区分	回答者数(件)	父母またはその一人	祖父母またはその一人	きょうだい	配偶者（夫または妻）	子ども（子の配偶者を含む）	孫	その他	無回答
全体	1505	49.9	2.1	20.7	32.2	46.5	4.1	1.9	1.5
身体障害者手帳所持者	482	21.8	0.8	6.6	45.2	73.2	10.8	2.1	1.0
愛の手帳所持者	222	91.4	6.3	41.4	3.6	4.5	—	3.6	1.4
精神障害者保健福祉手帳所持者	103	72.8	1.0	26.2	15.5	26.2	1.0	1.9	—
その他	444	63.5	2.3	26.6	26.4	33.1	0.9	1.6	1.6

2 障害の状況について

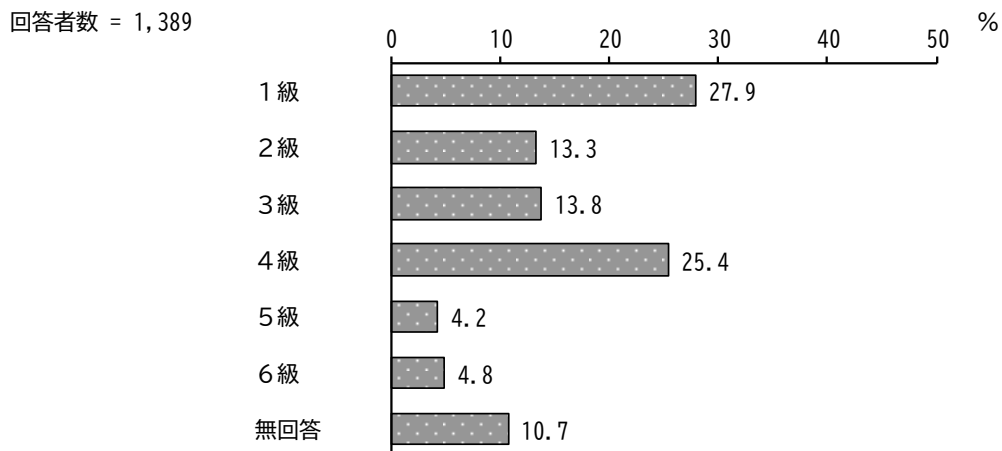
問1 お持ちの手帳又は受けている診断名等についてお答えください。また、手帳の級・度をご記入ください。(いくつでも○)

「身体障害者手帳を持っている」の割合が44.7%と最も高く、次いで「自立支援医療を受給している」の割合が22.6%、「難病の診断を受けている」の割合が16.5%となっています。



身体障害者手帳

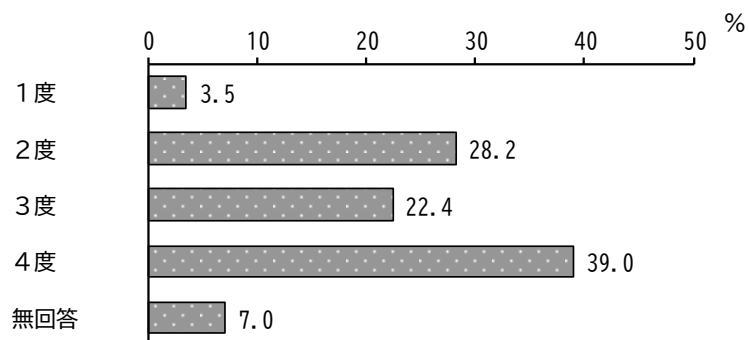
「1級」の割合が27.9%と最も高く、次いで「4級」の割合が25.4%、「3級」の割合が13.8%となっています。



愛の手帳

「4度」の割合が39.0%と最も高く、次いで「2度」の割合が28.2%、「3度」の割合が22.4%となっています。

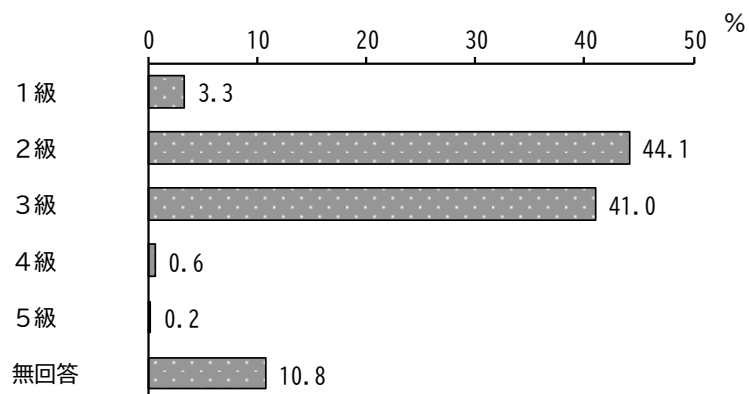
回答者数 = 344



精神障害者保健福祉手帳

「2級」の割合が44.1%と最も高く、次いで「3級」の割合が41.0%となっています。

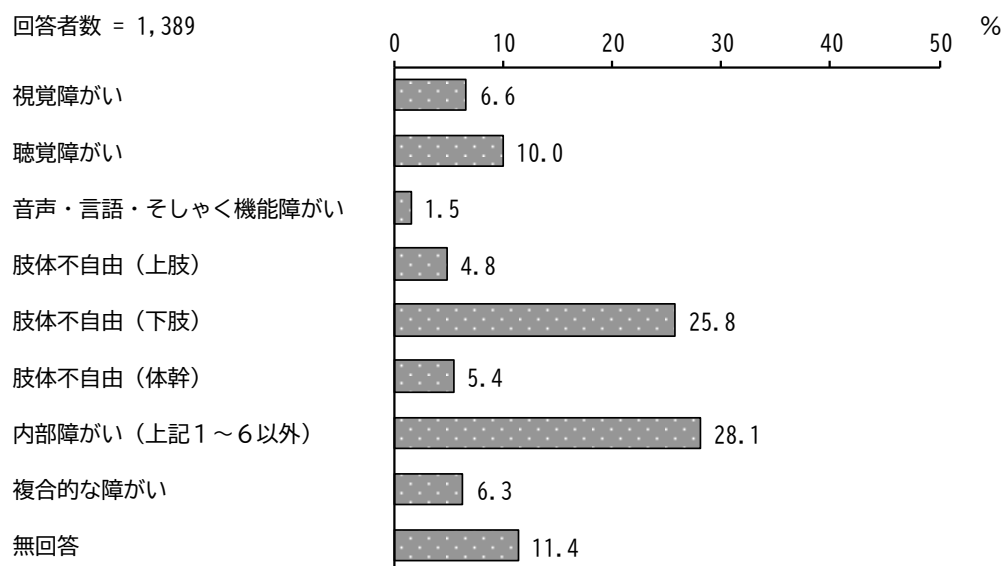
回答者数 = 481



問1で「身体障害者手帳を持っている」を選択した方にお聞きします。

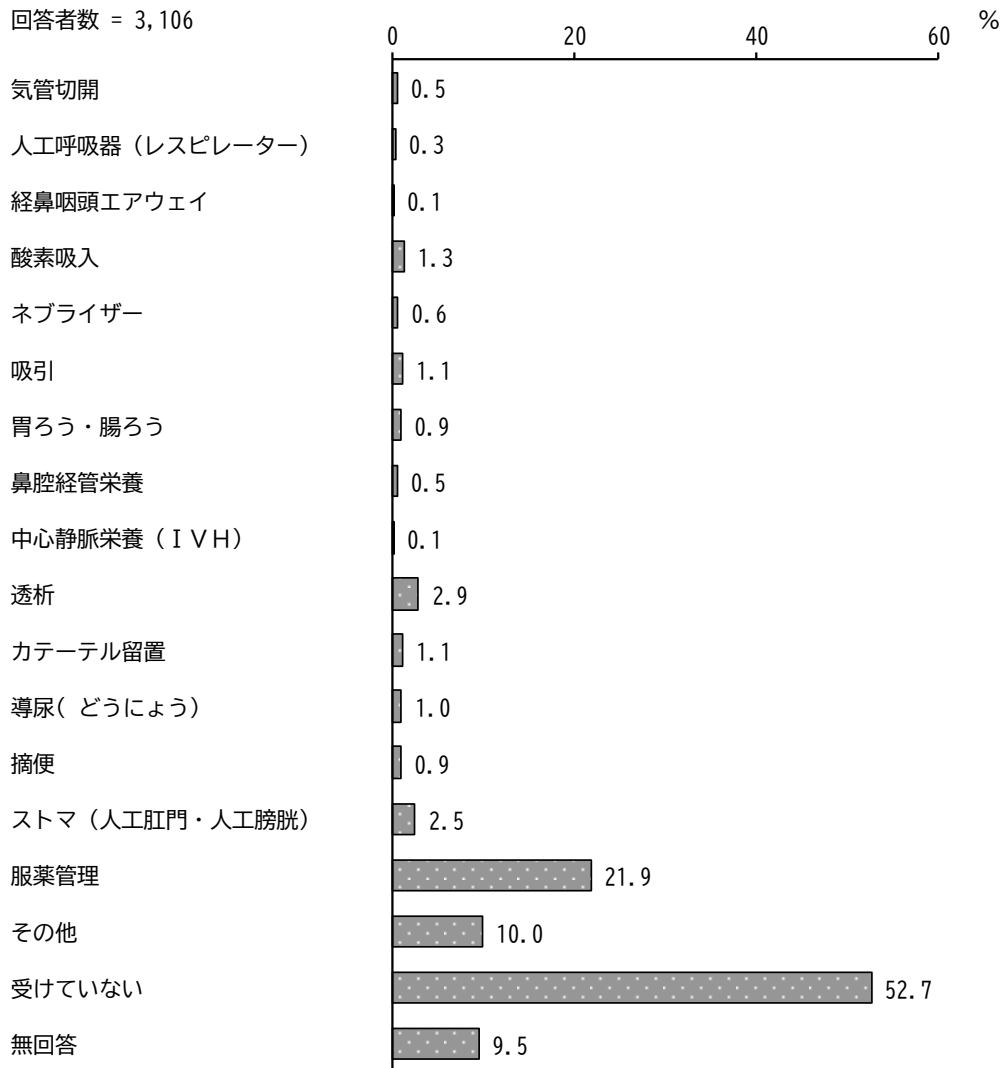
問1-1 身体障害者手帳をお持ちの場合、主な障がいをお答えください。(1つに○)

「内部障がい(上記1~6以外)」の割合が28.1%と最も高く、次いで「肢体不自由(下肢)」の割合が25.8%、「聴覚障がい」の割合が10.0%となっています。



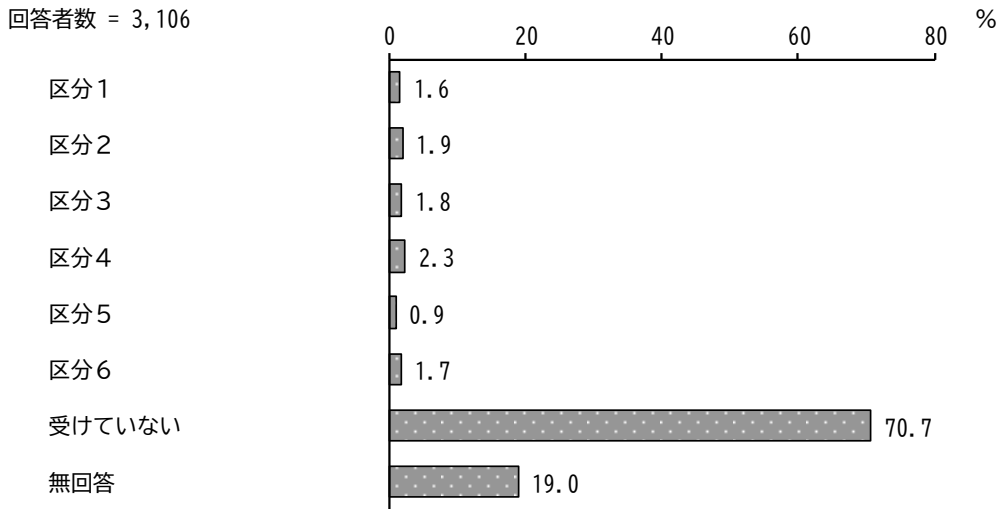
問2 現在、あなたは医療的ケアを受けていますか。(いくつでも○)

「受けていない」の割合が52.7%と最も高く、次いで「服薬管理」の割合が21.9%となっています。



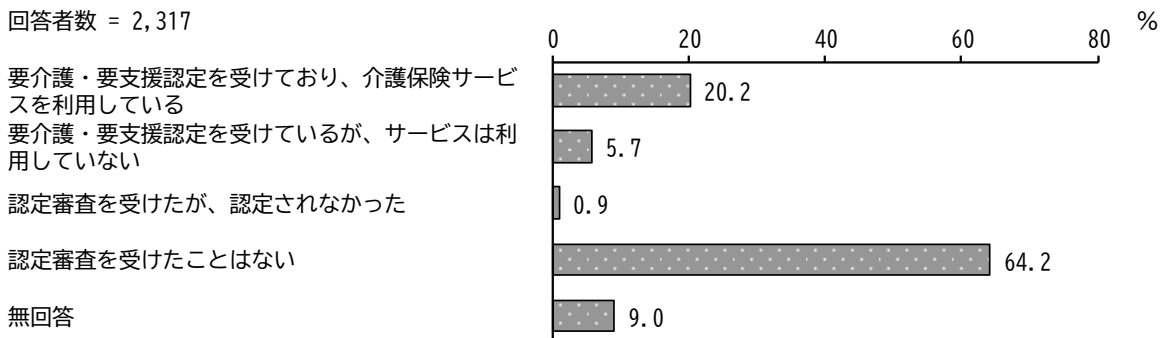
問3 あなたは、障害支援区分の認定を受けていますか。(1つに○)

「受けていない」の割合が70.7%と最も高くなっています。



問4 40歳以上の方におたずねします。あなたは介護保険制度の要介護・要支援認定を受けていますか。(1つに○)

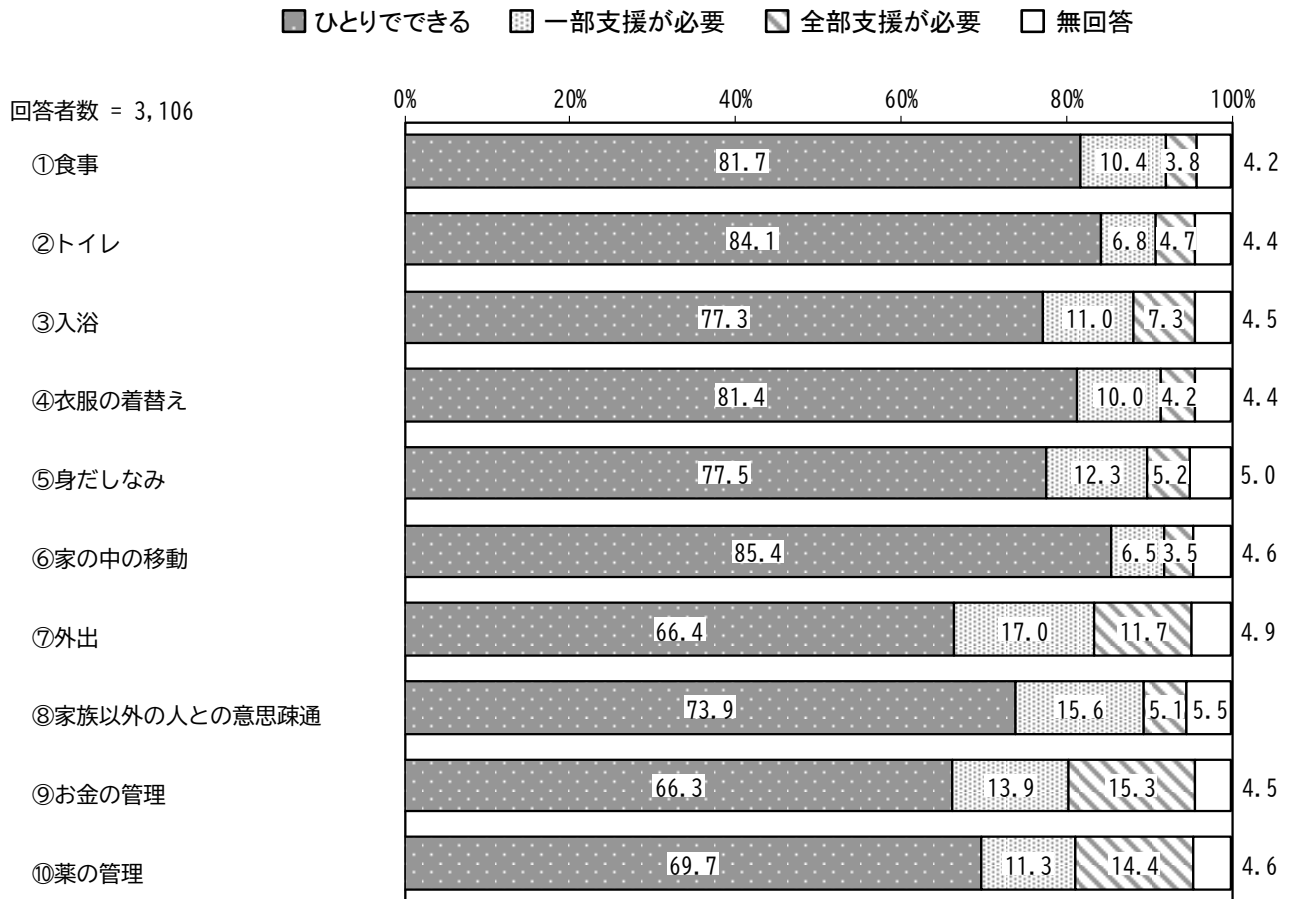
「認定審査を受けたことはない」の割合が64.2%と最も高く、次いで「要介護・要支援認定を受けており、介護保険サービスを利用している」の割合が20.2%となっています。



3 日常生活・介護の状況について

問5 日常生活で、次のことをどのようにしていますか。

『⑥ 家の中の移動』で「ひとりでできる」の割合が高くなっています。『⑨ お金の管理』で「全部支援が必要」の割合が高くなっています。



①食事

【障がい種別】

障がい種別にみると、他に比べ、愛の手帳所持者で「一部支援が必要」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	ひこくひきかる	一部支援が必要	全部支援が必要	無回答
全 体	3106	81.7	10.4	3.8	4.2
身体障害者手帳所持者	1245	83.8	8.0	4.1	4.1
愛の手帳所持者	267	55.8	27.3	13.1	3.7
精神障害者保健福祉手帳所持者	209	83.7	9.6	3.3	3.3
その他	835	82.5	12.0	2.0	3.5

②トイレ

【障がい種別】

障がい種別にみると、他に比べ、愛の手帳所持者で「一部支援が必要」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	ひこくひきかる	一部支援が必要	全部支援が必要	無回答
全 体	3106	84.1	6.8	4.7	4.4
身体障害者手帳所持者	1245	84.2	6.0	5.4	4.4
愛の手帳所持者	267	58.8	22.8	15.0	3.4
精神障害者保健福祉手帳所持者	209	90.0	2.9	2.9	4.3
その他	835	88.5	5.5	2.5	3.5

③入浴

【障がい種別】

障がい種別にみると、他に比べ、愛の手帳所持者で「一部支援が必要」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	ひじょうじけん	一部支援が必要	全部支援が必要	無回答
全 体	3106	77.3	11.0	7.3	4.5
身体障害者手帳所持者	1245	76.3	10.3	8.8	4.7
愛の手帳所持者	267	44.9	33.0	18.4	3.7
精神障害者保健福祉手帳所持者	209	84.2	8.1	3.3	4.3
その他	835	83.7	8.0	4.8	3.5

④衣服の着替え

【障がい種別】

障がい種別にみると、他に比べ、愛の手帳所持者で「一部支援が必要」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	ひじょうじけん	一部支援が必要	全部支援が必要	無回答
全 体	3106	81.4	10.0	4.2	4.4
身体障害者手帳所持者	1245	80.2	9.6	5.5	4.7
愛の手帳所持者	267	56.9	26.6	12.7	3.7
精神障害者保健福祉手帳所持者	209	87.6	5.3	2.4	4.8
その他	835	87.7	7.5	1.3	3.5

⑤身だしなみ

【障がい種別】

障がい種別にみると、他に比べ、愛の手帳所持者で「一部支援が必要」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	ひじょうじけん	一部支援が必要	全部支援が必要	無回答
全 体	3106	77.5	12.3	5.2	5.0
身体障害者手帳所持者	1245	80.4	8.5	5.3	5.8
愛の手帳所持者	267	39.0	39.3	18.7	3.0
精神障害者保健福祉手帳所持者	209	77.5	14.8	1.9	5.7
その他	835	81.3	11.7	3.4	3.6

⑥家の中の移動

【障がい種別】

障がい種別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	ひじょうじけん	一部支援が必要	全部支援が必要	無回答
全 体	3106	85.4	6.5	3.5	4.6
身体障害者手帳所持者	1245	81.4	8.5	5.2	4.9
愛の手帳所持者	267	78.7	10.5	6.0	4.9
精神障害者保健福祉手帳所持者	209	88.0	4.8	2.4	4.8
その他	835	92.2	3.2	1.2	3.4

⑦外出

【障がい種別】

障がい種別にみると、他に比べ、愛の手帳所持者で「全部支援が必要」「一部支援が必要」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	ひとり暮らし	一部支援が必要	全部支援が必要	無回答
全 体	3106	66.4	17.0	11.7	4.9
身体障害者手帳所持者	1245	64.9	15.7	14.0	5.4
愛の手帳所持者	267	30.0	33.7	33.3	3.0
精神障害者保健福祉手帳所持者	209	73.7	18.2	3.3	4.8
その他	835	73.1	16.4	6.7	3.8

⑧家族以外の人との意思疎通

【障がい種別】

障がい種別にみると、他に比べ、愛の手帳所持者で「一部支援が必要」の割合が、精神障害者保健福祉手帳所持者で「一部支援が必要」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	ひとり暮らし	一部支援が必要	全部支援が必要	無回答
全 体	3106	73.9	15.6	5.1	5.5
身体障害者手帳所持者	1245	79.0	10.9	4.1	6.0
愛の手帳所持者	267	29.2	46.1	21.7	3.0
精神障害者保健福祉手帳所持者	209	70.8	21.1	3.3	4.8
その他	835	73.9	17.7	3.8	4.6

⑨お金の管理

【障がい種別】

障がい種別にみると、他に比べ、愛の手帳所持者で「全部支援が必要」「一部支援が必要」の割合が、精神障害者保健福祉手帳所持者で「一部支援が必要」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	ひつとじき ある	一部支援 が必要	全部支援 が必要	無回答
全 体	3106	66.3	13.9	15.3	4.5
身体障害者手帳所持者	1245	73.9	9.8	11.4	4.9
愛の手帳所持者	267	12.0	24.7	60.7	2.6
精神障害者保健福祉手帳所持者	209	57.4	27.8	10.0	4.8
その他	835	66.6	17.0	12.8	3.6

⑩薬の管理

【障がい種別】

障がい種別にみると、他に比べ、愛の手帳所持者で「全部支援が必要」「一部支援が必要」の割合が、精神障害者保健福祉手帳所持者で「一部支援が必要」の割合が高くなっています。

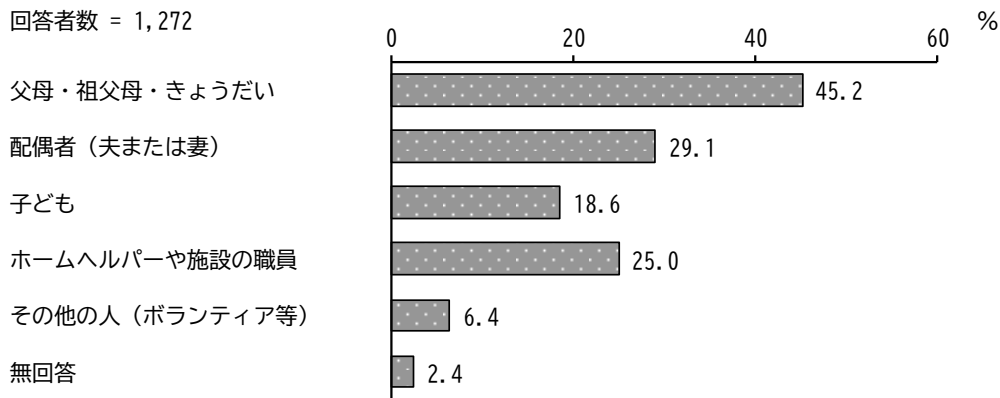
単位：％

区分	回答者数 (件)	ひつとじき ある	一部支援 が必要	全部支援 が必要	無回答
全 体	3106	69.7	11.3	14.4	4.6
身体障害者手帳所持者	1245	76.1	8.4	10.8	4.8
愛の手帳所持者	267	18.7	21.3	55.4	4.5
精神障害者保健福祉手帳所持者	209	67.5	19.6	8.1	4.8
その他	835	70.8	12.9	12.6	3.7

問5のいずれかの項目で「一部支援が必要」、「全部支援が必要」を選んだ方にお聞きします。

問6 あなたを支援してくれる方は主にどなたですか。(いくつでも○)

「父母・祖父母・きょうだい」の割合が45.2%と最も高く、次いで「配偶者（夫または妻）」の割合が29.1%、「ホームヘルパーや施設の職員」の割合が25.0%となっています。



【障がい種別】

障がい種別にみると、他に比べ、愛の手帳所持者で「父母・祖父母・きょうだい」の割合が、身体障害者手帳所持者で「子ども」「配偶者（夫または妻）」の割合が高くなっています。

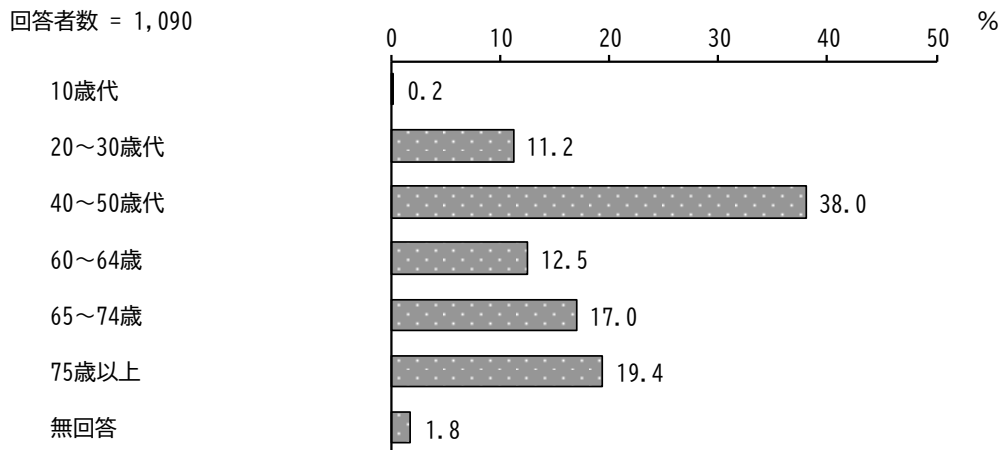
単位：%

区分	回答者数 (件)	父母・祖父母・きょうだい	配偶者 (夫または妻)	子ども	ホームヘルパーや施設の職員	その他の人 (ボランティア等)	無回答
全体	1272	45.2	29.1	18.6	25.0	6.4	2.4
身体障害者手帳所持者	464	13.6	46.1	36.9	28.0	5.4	3.0
愛の手帳所持者	233	87.1	3.0	0.9	30.5	6.4	1.3
精神障害者保健福祉手帳所持者	100	50.0	26.0	7.0	23.0	11.0	2.0
その他	339	64.3	19.5	6.8	21.2	8.3	2.4

問6で「父母・祖父母・きょうだい」、「配偶者（夫または妻）」、「子ども」を選んだ方にお聞きします。

問6-1 あなたを支援してくれる家族で、特に中心となっている方（以下、「支援者」）の年齢をおたずねします。（1つに○）

「40～50歳代」の割合が38.0%と最も高く、次いで「75歳以上」の割合が19.4%、「65～74歳」の割合が17.0%となっています。



【障がい種別】

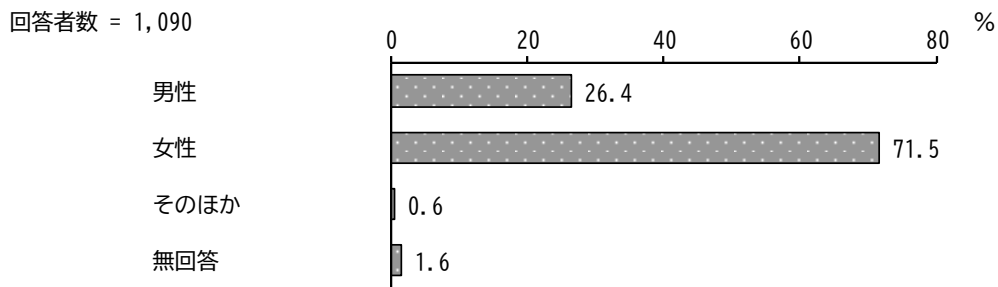
障がい種別にみると、他に比べ、愛の手帳所持者で「40～50歳代」の割合が、身体障害者手帳所持者で「75歳以上」の割合が、精神障害者保健福祉手帳所持者で「20～30歳代」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	10歳代	20 ～ 30歳代	40 ～ 50歳代	60 ～ 64歳	65 ～ 74歳	75歳以上	無回答
全 体	1090	0.2	11.2	38.0	12.5	17.0	19.4	1.8
身体障害者手帳所持者	388	0.3	6.4	24.5	13.7	22.9	30.4	1.8
愛の手帳所持者	210	—	10.5	51.4	13.8	14.8	8.6	1.0
精神障害者保健福祉手帳所持者	79	—	19.0	40.5	10.1	8.9	20.3	1.3
その他	291	0.3	15.1	44.0	12.4	14.8	11.0	2.4

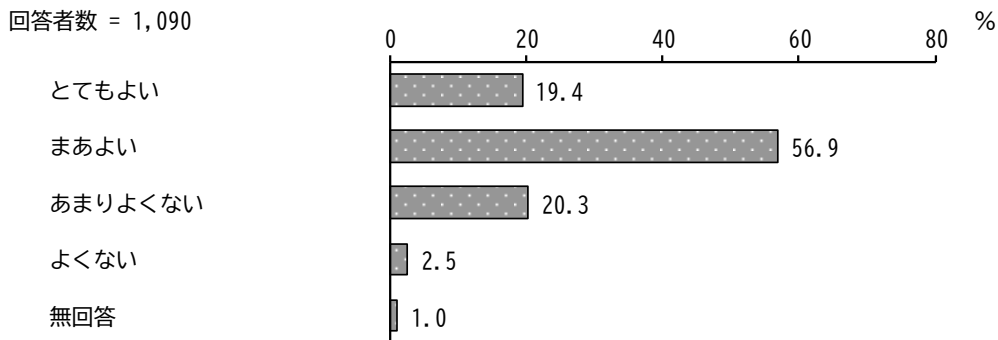
問6-2 支援者の性別はどちらですか。(1つに○)

「女性」の割合が71.5%、「男性」の割合が26.4%となっています。



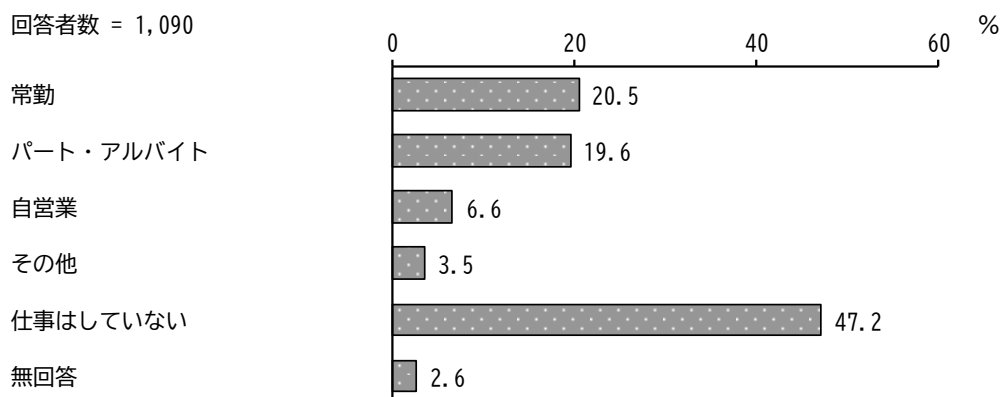
問6-3 支援者の健康状態はいかがですか。(1つに○)

「まあよい」の割合が56.9%と最も高く、次いで「あまりよくない」の割合が20.3%、「とてもよい」の割合が19.4%となっています。



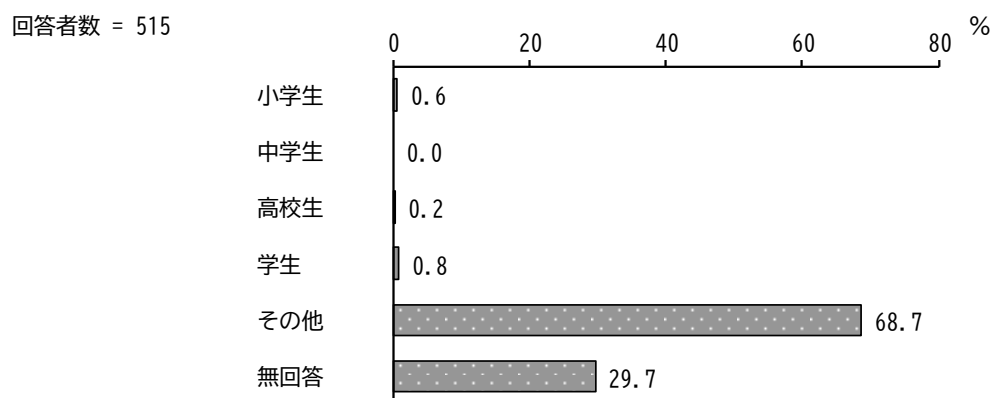
問6-4 支援者は現在、仕事をお持ちですか。(1つに○)「仕事はしていない」を選択した場合は、該当するものをア～オから選んでください。(1つに○)

「仕事はしていない」の割合が47.2%と最も高く、次いで「常勤」の割合が20.5%、「パート・アルバイト」の割合が19.6%となっています。



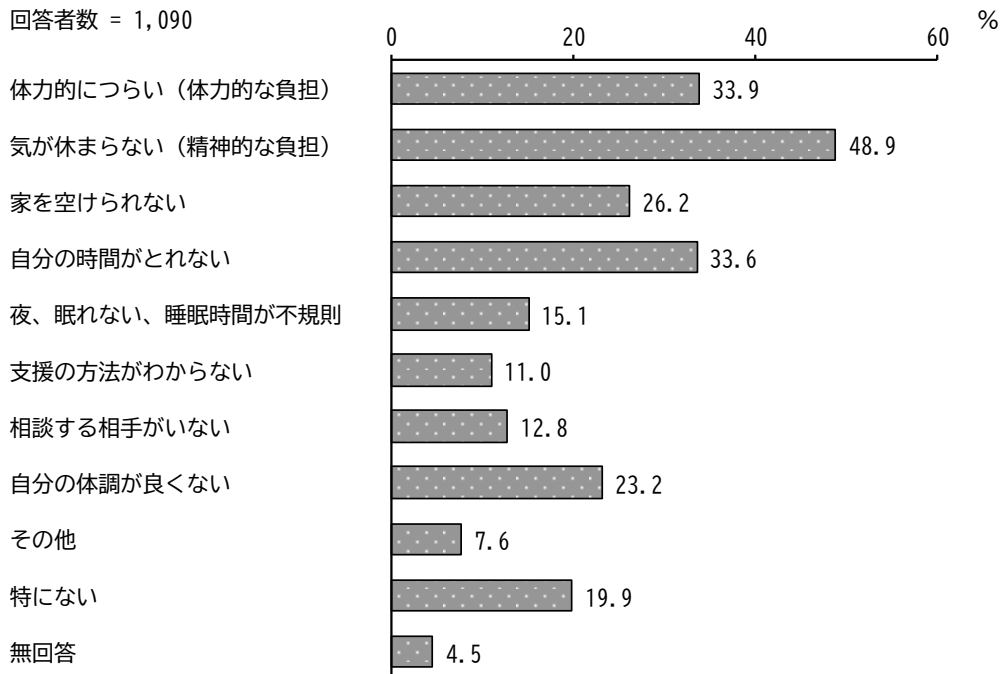
仕事はしていない

「小学生」の割合が0.6%、「高校生」の割合が0.2%、「学生」の割合が0.8%となっています。



問6-5 支援者の方におたずねの上、ご記入ください。ご家族等が支援をするうえで、悩みに感じることは何ですか。(いくつでも○)

「気が休まらない(精神的な負担)」の割合が48.9%と最も高く、次いで「体力的につらい(体力的な負担)」の割合が33.9%、「自分の時間がとれない」の割合が33.6%となっています。



【障がい種別】

障がい種別にみると、他に比べ、精神障害者保健福祉手帳所持者で「相談する相手がいない」「自分の体調が良くない」「支援の方法がわからない」の割合が高くなっています。

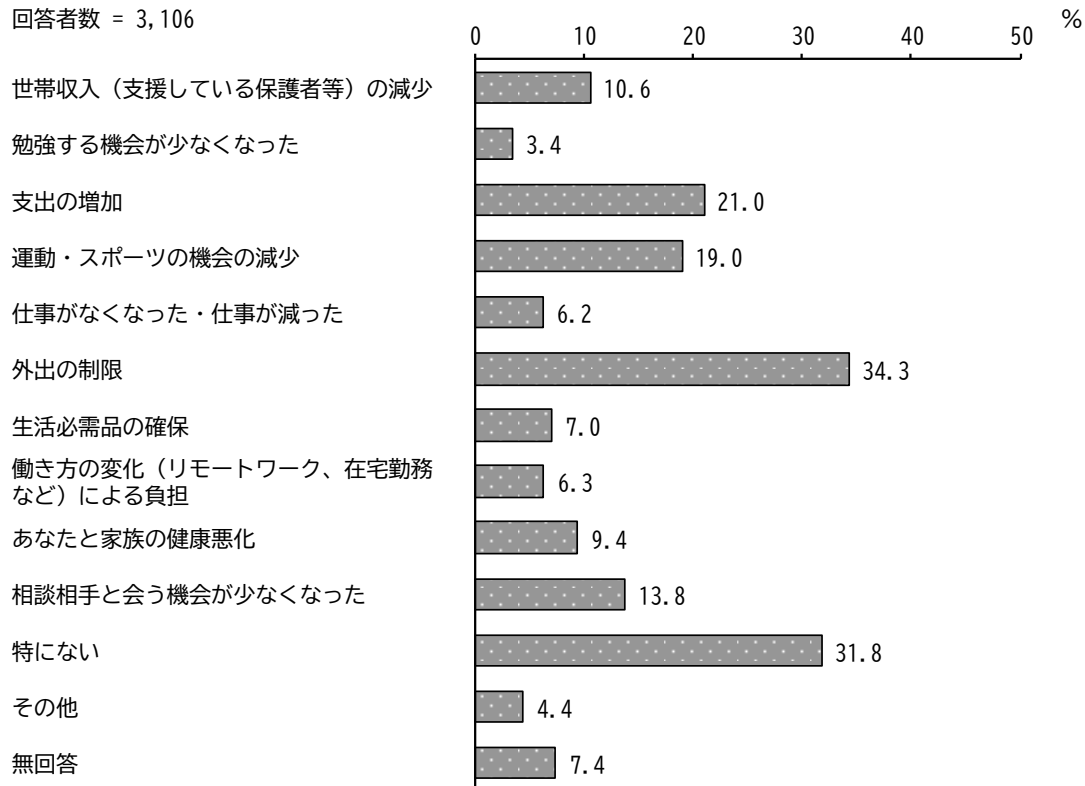
単位：%

区分	回答者数(件)	体力的につらい(体力的な負担)	気が休まらない(精神的な負担)	家を空けられない	自分の時間がとれない	夜、眠れない、睡眠時間が不規則	支援の方法がわからない	相談する相手がいない	自分の体調が良くない	その他	特になし	無回答
全体	1090	33.9	48.9	26.2	33.6	15.1	11.0	12.8	23.2	7.6	19.9	4.5
身体障害者手帳所持者	388	36.6	43.0	26.8	31.7	14.2	5.4	8.2	22.7	6.4	21.4	5.4
愛の手帳所持者	210	41.0	54.3	38.6	42.4	18.1	9.5	10.5	23.3	6.2	19.0	1.0
精神障害者保健福祉手帳所持者	79	31.6	48.1	13.9	27.8	25.3	25.3	30.4	39.2	7.6	20.3	5.1
その他	291	28.9	53.6	21.6	31.3	12.7	17.2	18.2	23.0	10.7	17.5	4.1

問7 新型コロナウイルス感染症の影響により、日常生活で特に困っていることはどのようなことですか。(いくつでも○)

「外出の制限」の割合が34.3%と最も高く、次いで「特にない」の割合が31.8%、「支出の増加」の割合が21.0%となっています。

回答者数 = 3,106



【障がい種別】

障がい種別にみると、他に比べ、愛の手帳所持者で「外出の制限」「運動・スポーツの機会の減少」の割合が、精神障害者保健福祉手帳所持者で「支出の増加」の割合が高くなっています。

単位：%

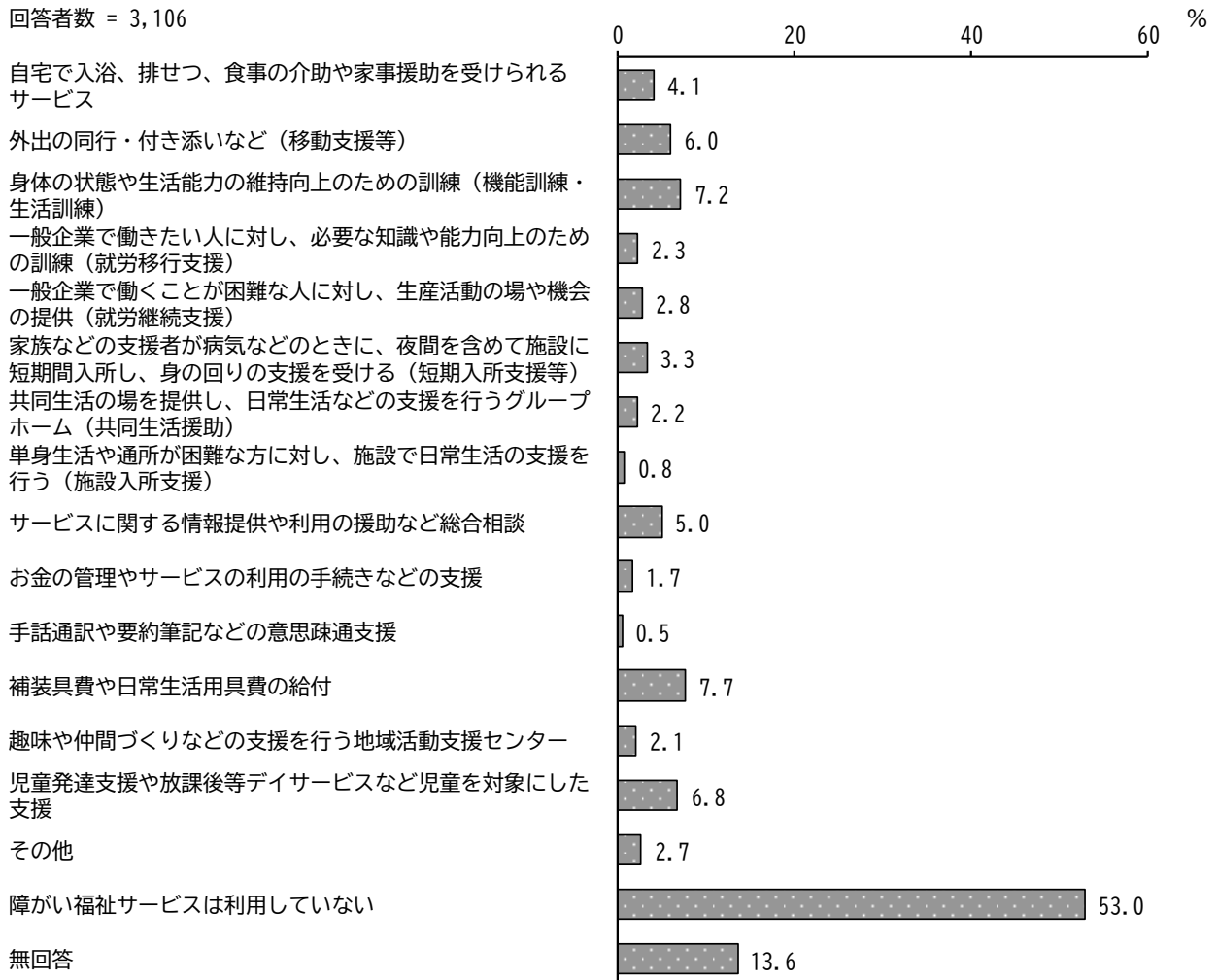
区分	回答者数(件)	世帯収入(支援している保護者等)の減少	勉強する機会が少なくなった	支出の増加	運動・スポーツの機会の減少	仕事なくなった・仕事が減った	外出の制限	生活必需品の確保	働き方の変化(リモートワーク、在宅勤務など)による負担	あなたと家族の健康悪化	相談相手と会う機会が少なくなった	特にない	その他	無回答
全体	3106	10.6	3.4	21.0	19.0	6.2	34.3	7.0	6.3	9.4	13.8	31.8	4.4	7.4
身体障害者手帳所持者	1245	7.1	2.3	16.3	15.7	4.3	35.1	6.2	4.2	8.4	11.5	34.9	4.1	8.8
愛の手帳所持者	267	13.1	6.0	20.2	29.6	7.5	46.8	3.7	5.2	9.0	13.1	24.7	6.7	4.9
精神障害者保健福祉手帳所持者	209	19.1	4.8	30.6	14.8	11.0	27.3	10.0	10.0	13.9	20.1	29.7	4.8	7.2
その他	835	13.8	4.3	27.5	21.9	8.5	31.3	9.1	8.6	11.0	17.4	28.4	4.9	4.7

4 保健福祉サービスの利用状況について

問8 あなたは次の障がい福祉サービスを利用していますか。(いくつでも○)

「障がい福祉サービスは利用していない」の割合が53.0%と最も高くなっています。

回答者数 = 3,106



【障がい種別】

障がい種別にみると、他に比べ、愛の手帳所持者で「外出の同行・付き添いなど（移動支援等）」の割合が高くなっています。

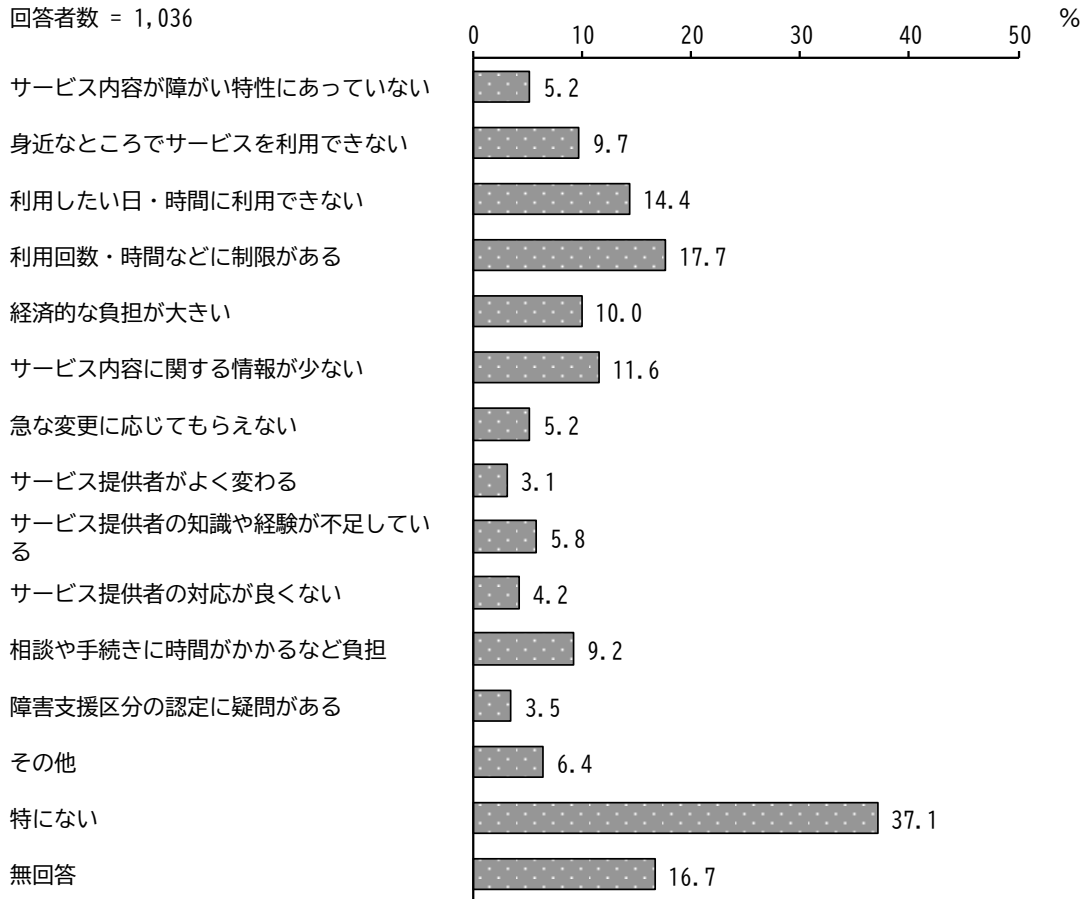
単位：％

区分	回答者数(件)	自宅で入浴、排せつ、食事の介助や家事援助を受けられるサービス	外出の同行・付き添いなど（移動支援等）	身体の状態や生活能力の維持向上のための訓練（機能訓練・生活訓練）	一般企業で働きたい人に対し、必要な知識や能力向上のための訓練（就労移行支援）	一般企業で働くことが困難な人に対し、生産活動の場や機会の提供（就労継続支援）	家族などの支援者が病気などのときに、夜間を含めて施設に短期間入所し、身の回りの支援を受ける（短期入所支援等）	共同生活の場を提供し、日常生活などの支援を行うグループホーム（共同生活援助）	単身生活や通所が困難な方に対し、施設で日常生活の支援を行う（施設入所支援）
全体	3106	4.1	6.0	7.2	2.3	2.8	3.3	2.2	0.8
身体障害者手帳所持者	1245	4.7	4.3	9.6	0.2	0.4	2.5	0.6	1.0
愛の手帳所持者	267	5.6	31.8	10.1	5.6	11.2	19.1	14.6	1.9
精神障害者保健福祉手帳所持者	209	6.7	3.3	2.9	8.6	11.0	1.0	2.9	0.5
その他	835	2.8	3.4	4.6	4.2	3.5	1.4	1.7	0.6

区分	サービスに関する情報提供や利用の援助など総合相談	お金の管理やサービスの利用の手続きなどの支援	手話通訳や要約筆記などの意思疎通支援	補装具費や日常生活用具費の給付	趣味や仲間づくりなどの支援を行う地域活動支援センター	児童発達支援や放課後等デイサービスなど児童を対象にした支援	その他	障がい福祉サービスは利用していない	無回答
全体	5.0	1.7	0.5	7.7	2.1	6.8	2.7	53.0	13.6
身体障害者手帳所持者	4.7	0.6	1.2	14.0	2.1	1.0	3.0	53.3	15.7
愛の手帳所持者	11.2	2.6	—	9.0	3.0	28.5	3.4	15.0	6.7
精神障害者保健福祉手帳所持者	3.8	3.8	—	1.0	2.9	3.3	4.8	51.7	10.5
その他	5.5	3.2	—	3.4	2.5	10.5	2.6	57.0	10.4

問8-1 サービスを利用中の方におたずねします。障がい福祉サービスについて不足に感じていること、又は不満に思うことがありますか。(いくつでも○)

「特にない」の割合が37.1%と最も高くなっていますが、「利用回数・時間などに制限がある」の割合が17.7%、「利用したい日・時間に利用できない」の割合が14.4%となっています。



【障がい種別】

障がい種別にみると、他に比べ、愛の手帳所持者で「利用回数・時間などに制限がある」「利用したい日・時間に利用できない」の割合が高くなっています。

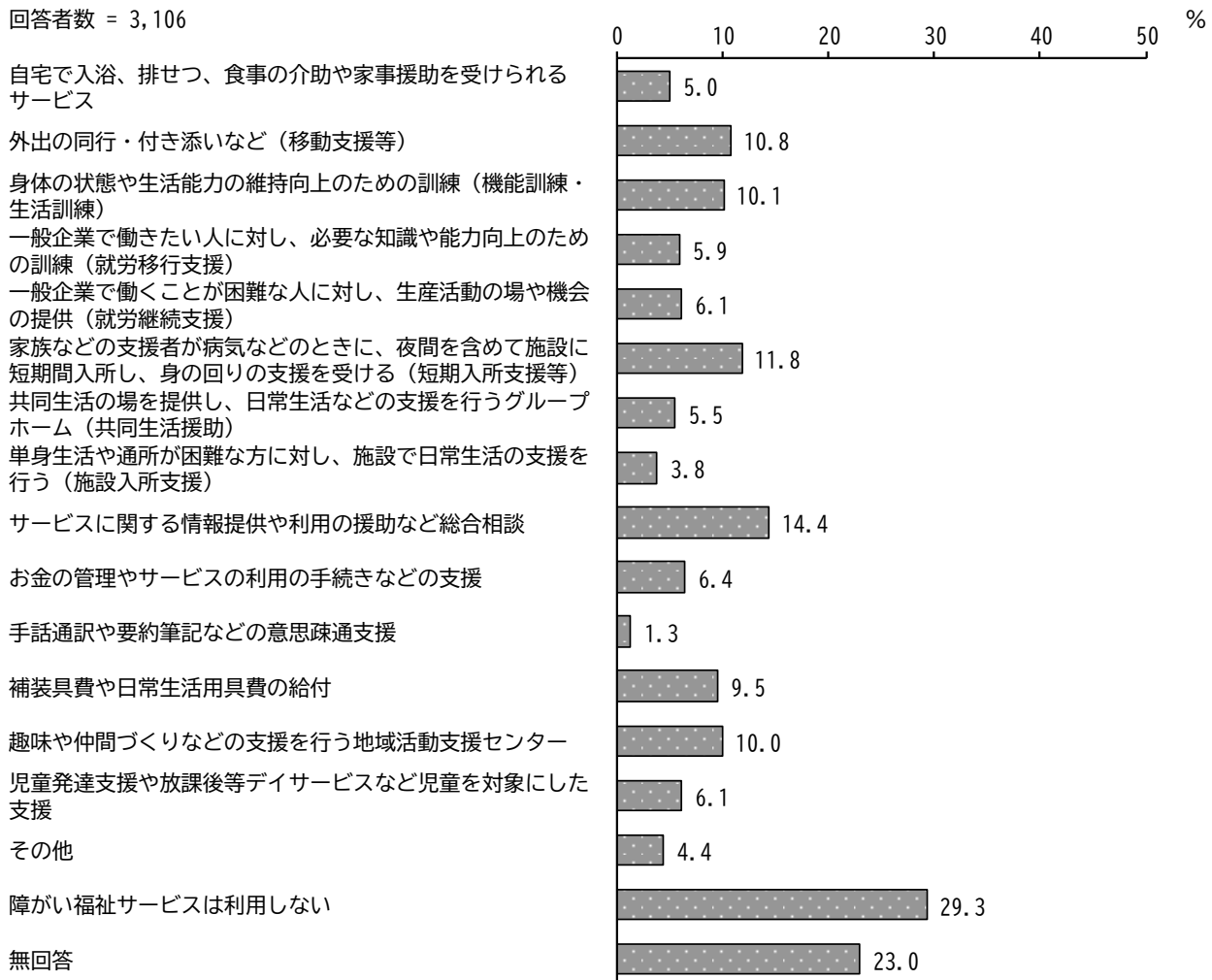
単位：%

区分	回答者数(件)	サービス内容が障がい特性にあっていない	身近なところでサービスを利用できない	利用したい日・時間に利用できない	利用回数・時間などに制限がある	経済的な負担が大きい	サービス内容に関する情報が少ない	急な変更に応じてもらえない	サービス提供者がよく変わる	サービス提供者の知識や経験が不足している	サービス提供者の対応が良くない	相談や手続きに時間がかかるなど負担	障害支援区分の認定に疑問がある	その他	特にない	無回答
全 体	1036	5.2	9.7	14.4	17.7	10.0	11.6	5.2	3.1	5.8	4.2	9.2	3.5	6.4	37.1	16.7
身体障害者手帳所持者	386	4.4	7.5	8.0	9.8	14.5	10.9	3.1	1.6	5.4	3.4	8.0	5.7	6.0	33.4	23.3
愛の手帳所持者	209	6.2	16.7	25.8	29.2	6.2	12.9	7.2	6.2	7.7	3.3	10.5	4.3	7.2	35.4	8.1
精神障害者保健福祉手帳所持者	79	6.3	7.6	11.4	12.7	6.3	7.6	6.3	6.3	7.6	10.1	8.9	1.3	3.8	46.8	16.5
その他	272	6.3	8.5	16.9	22.4	9.6	14.0	8.1	2.9	5.1	5.1	11.0	1.1	7.7	39.0	11.4

問9 新たに利用したい、又は利用し続けたい障がい福祉サービスは次のどれですか。
(いくつでも○)

「障がい福祉サービスは利用しない」の割合が29.3%と最も高く、次いで「サービスに関する情報提供や利用の援助など総合相談」の割合が14.4%、「家族などの支援者が病気などのときに、夜間を含めて施設に短期間入所し、身の回りの支援を受ける（短期入所支援等）」の割合が11.8%となっています。

回答者数 = 3,106



障がい種別にみると、他に比べ、愛の手帳所持者で「外出の同行・付き添いなど（移動支援等）」「家族などの支援者が病気などのときに、夜間を含めて施設に短期間入所し、身の回りの支援を受ける（短期入所支援等）」「趣味や仲間づくりなどの支援を行う地域活動支援センター」の割合が高くなっています。

単位：％

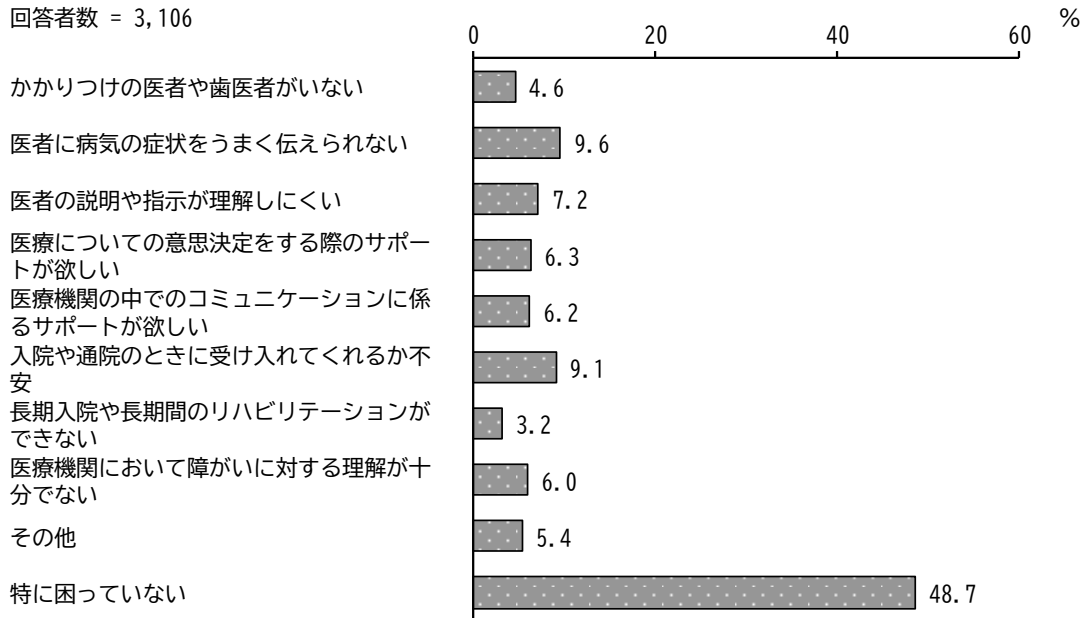
区分	回答者数(件)	自宅で入浴、排せつ、食事の介助や家事援助を受けられるサービス	外出の同行・付き添いなど（移動支援等）	身体の状態や生活能力の維持向上のための訓練（機能訓練・生活訓練）	一般企業で働きたい人に対し、必要な知識や能力向上のための訓練（就労移行支援）	一般企業で働くことが困難な人に対し、生産活動の場や機会の提供（就労継続支援）	家族などの支援者が病気などのときに、夜間を含めて施設に短期間入所し、身の回りの支援を受ける（短期入所支援等）	共同生活の場を提供し、日常生活などの支援を行うグループホーム（共同生活援助）	単身生活や通所が困難な方に対し、施設で日常生活の支援を行う（施設入所支援）
全体	3106	5.0	10.8	10.1	5.9	6.1	11.8	5.5	3.8
身体障害者手帳所持者	1245	5.5	9.1	11.2	2.3	1.4	12.7	1.8	3.8
愛の手帳所持者	267	9.4	38.2	19.1	8.2	15.0	31.5	35.6	13.5
精神障害者保健福祉手帳所持者	209	5.3	7.7	6.7	15.3	15.8	9.1	5.3	2.4
その他	835	3.6	9.3	8.7	10.8	10.9	7.9	4.6	2.3

区分	サービスに関する情報提供や利用の援助など総合相談	お金の管理やサービスの利用の継続などの支援	手話通訳や要約筆記などの意思疎通支援	補装具費や日常生活用具費の給付	趣味や仲間づくりなどの支援を行う地域活動支援センター	児童発達支援や放課後等デイサービスなど児童を対象にした支援	その他	障がい福祉サービスは利用しない	無回答
全体	14.4	6.4	1.3	9.5	10.0	6.1	4.4	29.3	23.0
身体障害者手帳所持者	13.8	2.2	2.4	17.1	8.2	1.4	3.7	26.0	26.7
愛の手帳所持者	22.1	19.5	0.7	10.5	22.1	23.6	3.7	7.9	11.2
精神障害者保健福祉手帳所持者	16.7	12.9	1.4	1.9	16.3	1.9	9.6	26.3	14.4
その他	16.8	9.8	0.2	4.0	10.8	9.9	4.7	33.5	17.7

問10 医療機関について、困っていることは何ですか。(いくつでも○)

「特に困っていない」の割合が48.7%と最も高くなっていますが、「医者に病気の症状をうまく伝えられない」の割合が9.6%、「入院や通院のときに受け入れてくれるか不安」の割合が9.1%となっています。

回答者数 = 3,106



【障がい種別】

障がい種別にみると、他に比べ、愛の手帳所持者で「医者に病気の症状をうまく伝えられない」「医療についての意思決定をする際のサポートが欲しい」「入院や通院のときに受け入れてくれるか不安」の割合が高くなっています。

単位：％

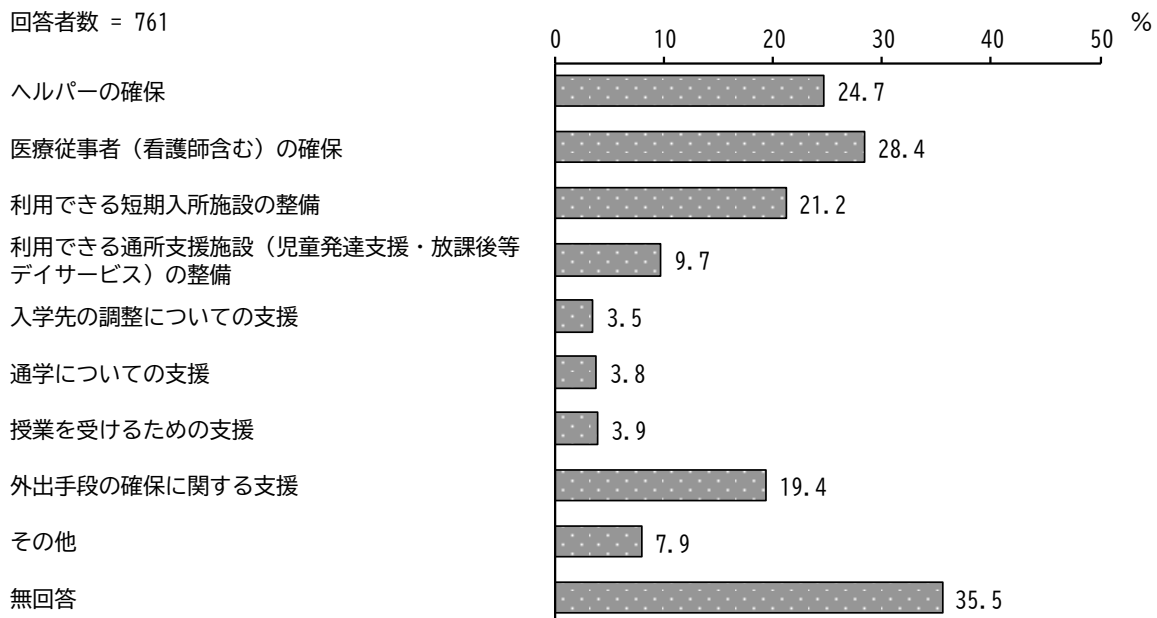
区分	回答者数(件)	かかりつけの医者や歯 医者がいない	医者に病気の症状をう まく伝えられない	医者の説明や指示が理 解しにくい	医療についての意思決 定をする際のサポート が欲しい	医療機関でのコミ ュニケーションに係る サポートが欲しい	入院や通院のときに受 け入れてくれるか不安	長期入院や長期間のリ ハビリテーションがで きない	医療機関において障が いに対する理解が十分 でない	その他	特に困っていない
全 体	3106	4.6	9.6	7.2	6.3	6.2	9.1	3.2	6.0	5.4	48.7
身体障害者手 帳所持者	1245	3.8	5.1	4.7	5.4	4.7	8.6	3.8	3.9	3.7	49.5
愛の手帳所持 者	267	9.0	24.0	22.5	14.2	13.9	19.9	4.9	15.7	7.1	31.5
精神障害者保 健福祉手帳所 持者	209	5.3	15.3	9.6	8.6	11.5	9.1	1.4	7.2	5.7	46.4
その他	835	5.0	14.0	8.4	7.4	6.8	9.2	3.0	9.1	7.5	47.8

区分	通院の手段が確保・利 用しにくい	通院の付き添いがいな い	専門的な医療機関が近 くはない	関が近くにない	ちよつとした病気やケ ガを診てくれる医療機 関	いくつも医療機関に通 わなければならない	気軽に往診を頼める医 師がいない	歯の治療が難しい	医療費の負担が大きい	医療機関の建物の構造 が医療的ケアが必要な 方に配慮されていない	無回 答
全 体	4.4	2.9	6.7	3.2	7.5	4.9	4.3	9.4	1.4	10.5	
身体障害者手 帳所持者	5.5	2.7	6.7	2.3	7.4	5.9	3.8	9.9	1.9	12.8	
愛の手帳所持 者	6.0	7.1	12.7	7.9	10.1	6.7	10.9	7.1	2.6	6.0	
精神障害者保 健福祉手帳所 持者	2.9	2.4	5.7	4.8	10.0	3.8	4.8	11.0	—	9.6	
その他	4.6	3.0	5.7	3.5	7.7	4.7	4.8	9.1	1.6	7.2	

問 10-1 医療的ケアに関して、どのような支援の充実が必要だと思いますか。(いくつかでも○)

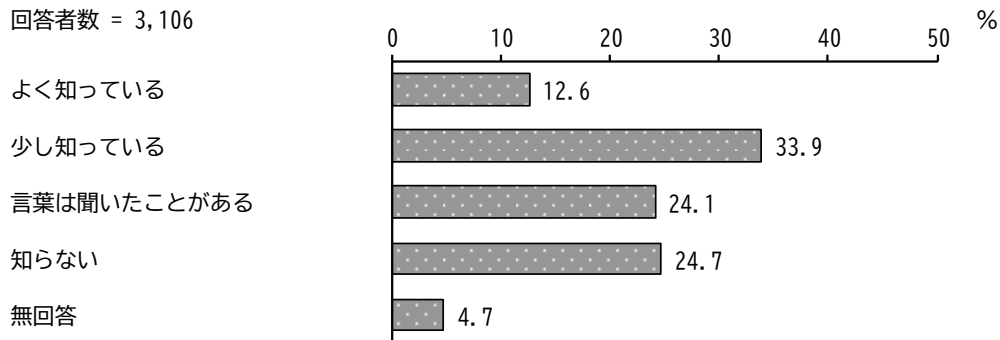
「医療従事者（看護師含む）の確保」の割合が 28.4%と最も高く、次いで「ヘルパーの確保」の割合が 24.7%、「利用できる短期入所施設の整備」の割合が 21.2%となっています。

回答者数 = 761



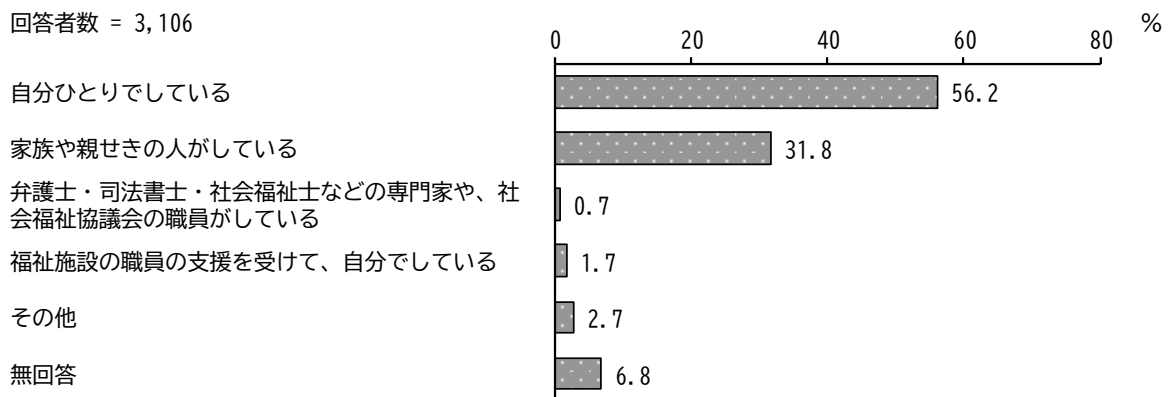
問11 あなたは、成年後見制度について知っていますか。(1つに○)

「少し知っている」の割合が33.9%と最も高く、次いで「知らない」の割合が24.7%、「言葉は聞いたことがある」の割合が24.1%となっています。



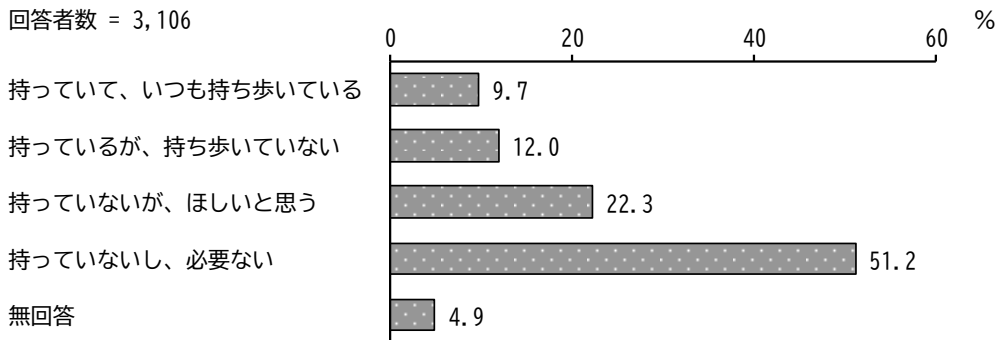
問12 あなたは、お金の管理や福祉サービスの利用や商品の購入のための契約をどのように対応していますか。(1つに○)

「自分ひとりでしている」の割合が56.2%と最も高く、次いで「家族や親せきの人がしている」の割合が31.8%となっています。



問13 あなたは、ヘルプカードを持っていますか。(1つに○)

「持っていないし、必要ない」の割合が51.2%と最も高く、次いで「持っていないが、ほしいと思う」の割合が22.3%、「持っているが、持ち歩いていない」の割合が12.0%となっています。



【障がい種別】

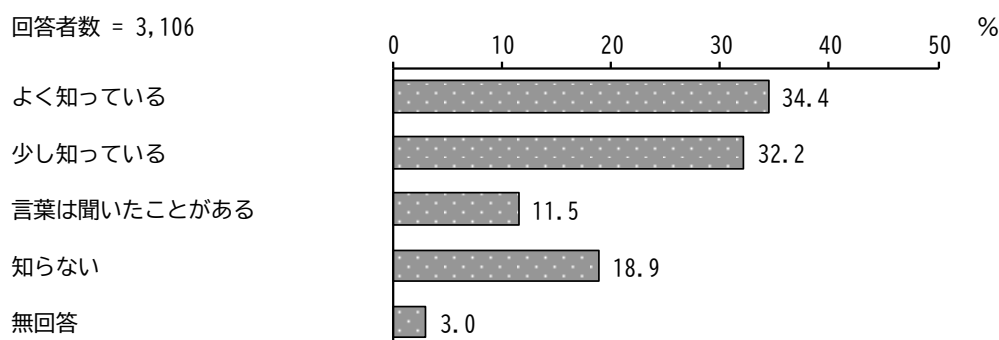
障がい種別にみると、他に比べ、愛の手帳所持者で「持っているが、持ち歩いていない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	持っていて、いつも持ち歩いている	持っているが、持ち歩いていない	持っていないが、ほしいと思う	持っていないし、必要ない	無回答
全 体	3106	9.7	12.0	22.3	51.2	4.9
身体障害者手帳所持者	1245	10.4	12.5	26.9	44.4	5.8
愛の手帳所持者	267	22.5	29.6	19.9	25.8	2.2
精神障害者保健福祉手帳所持者	209	9.6	17.2	24.4	45.9	2.9
その他	835	7.4	7.9	19.0	62.4	3.2

問 14 あなたは、ヘルプマークを知っていますか。(1つに○)

「よく知っている」の割合が34.4%と最も高く、次いで「少し知っている」の割合が32.2%、「知らない」の割合が18.9%となっています。



【障がい種別】

障がい種別にみると、他に比べ、愛の手帳所持者で「少し知っている」の割合が、精神障害者保健福祉手帳所持者で「よく知っている」の割合が高くなっています。

単位：%

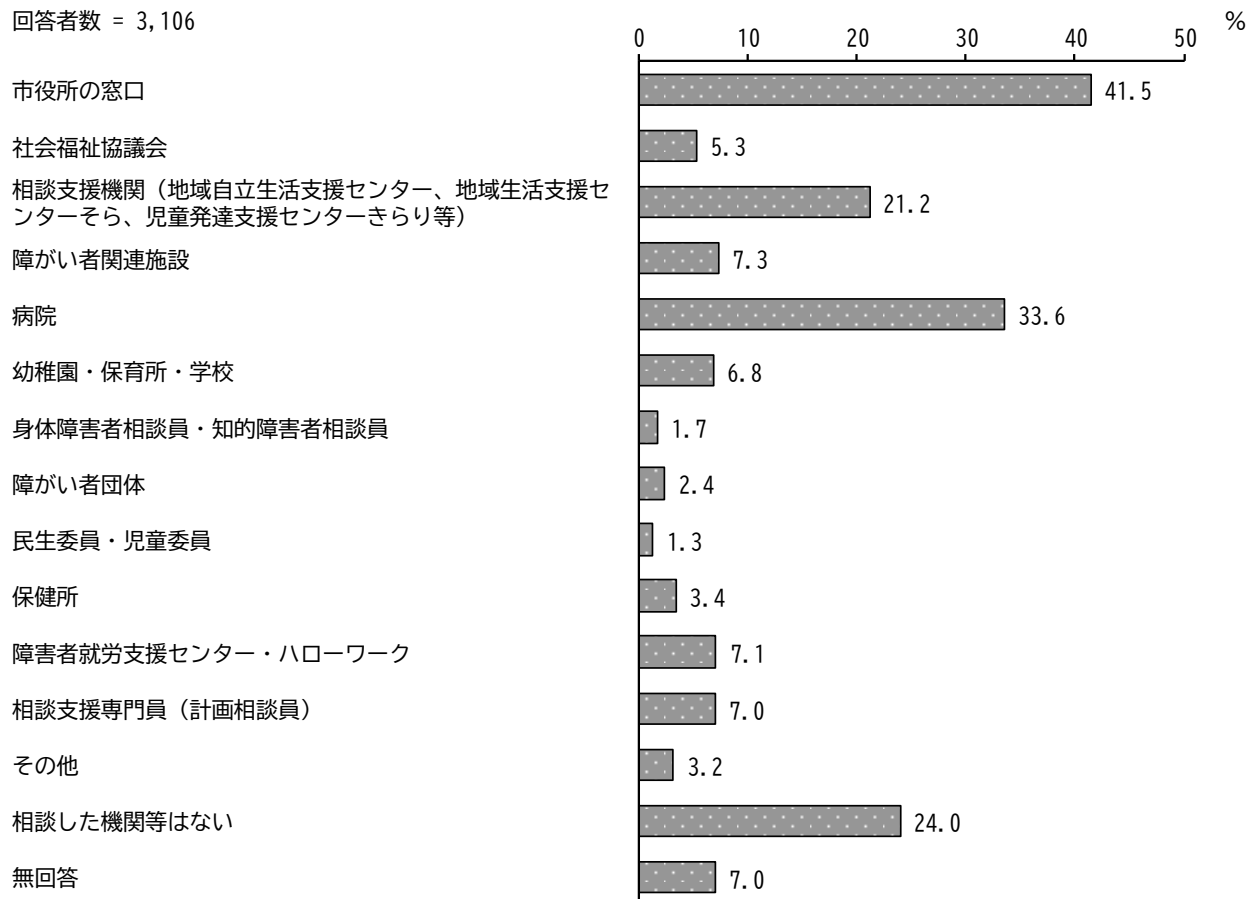
区分	回答者数(件)	よく知っている	少し知っている	言葉は聞いたことがある	知らない	無回答
全 体	3106	34.4	32.2	11.5	18.9	3.0
身体障害者手帳所持者	1245	34.9	28.1	12.1	21.6	3.2
愛の手帳所持者	267	35.2	39.3	5.6	18.0	1.9
精神障害者保健福祉手帳所持者	209	41.1	33.0	11.5	12.0	2.4
その他	835	33.2	34.6	12.8	16.9	2.5

5 福祉サービスや生活に関する相談・情報について

問 15 障がいや生活などについて相談したことがある機関等がありますか。(いくつでも○)

「市役所の窓口」の割合が 41.5%と最も高く、次いで「病院」の割合が 33.6%、「相談した機関等はない」の割合が 24.0%となっています。

回答者数 = 3,106



【障がい種別】

障がい種別にみると、他に比べ、愛の手帳所持者で「相談支援機関（地域自立生活支援センター、地域生活支援センター、児童発達支援センター、ハローワーク）」「市役所の窓口」の割合が、精神障害者保健福祉手帳所持者で「病院」の割合が高くなっています。

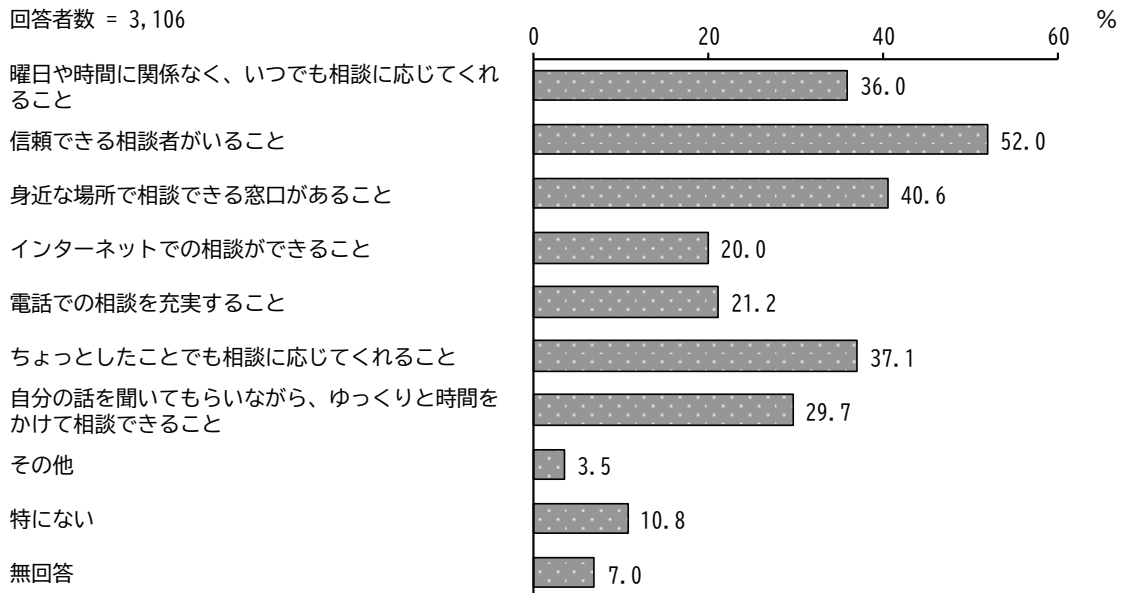
単位：％

区分	回答者数(件)	市役所の窓口	社会福祉協議会	相談支援機関(地域自立生活支援センター、地域生活支援センター、児童発達支援センター、ハローワーク等)	障がい者関連施設	病院	幼稚園・保育所・学校	身体障害者相談員・知的障害者相談員
全体	3106	41.5	5.3	21.2	7.3	33.6	6.8	1.7
身体障害者手帳所持者	1245	40.8	4.1	16.8	5.1	27.1	1.8	1.1
愛の手帳所持者	267	55.4	5.2	39.3	28.8	40.4	23.2	8.2
精神障害者保健福祉手帳所持者	209	46.9	11.0	28.2	11.5	43.1	4.8	1.4
その他	835	44.6	7.3	25.6	7.2	44.0	10.7	1.6

区分	障がい者団体	民生委員・児童委員	保健所	障害者就労支援センター・ハローワーク	相談支援専門員(計画相談員)	その他	相談した機関等はない	無回答
全体	2.4	1.3	3.4	7.1	7.0	3.2	24.0	7.0
身体障害者手帳所持者	1.8	1.9	1.5	2.8	3.1	2.1	26.4	9.4
愛の手帳所持者	13.1	0.4	9.4	9.0	30.0	4.5	8.2	2.6
精神障害者保健福祉手帳所持者	2.4	2.4	5.7	22.5	9.6	6.7	10.5	5.3
その他	1.3	0.7	4.0	12.2	7.5	4.1	18.7	3.6

問 16 相談しやすい体制をつくるためには、どのようなことが必要だと思いますか。
(いくつでも○)

「信頼できる相談者がいること」の割合が 52.0%と最も高く、次いで「身近な場所で相談できる窓口があること」の割合が 40.6%、「ちょっとしたことでも相談に応じてくれること」の割合が 37.1%となっています。



【障がい種別】

障がい種別にみると、他に比べ、愛の手帳所持者で「信頼できる相談者がいること」の割合が、愛の手帳所持者、精神障害者保健福祉手帳所持者で「自分の話を聞いてもらいながら、ゆっくりと時間をかけて相談できること」「ちょっとしたことでも相談に応じてくれること」の割合が高くなっています。

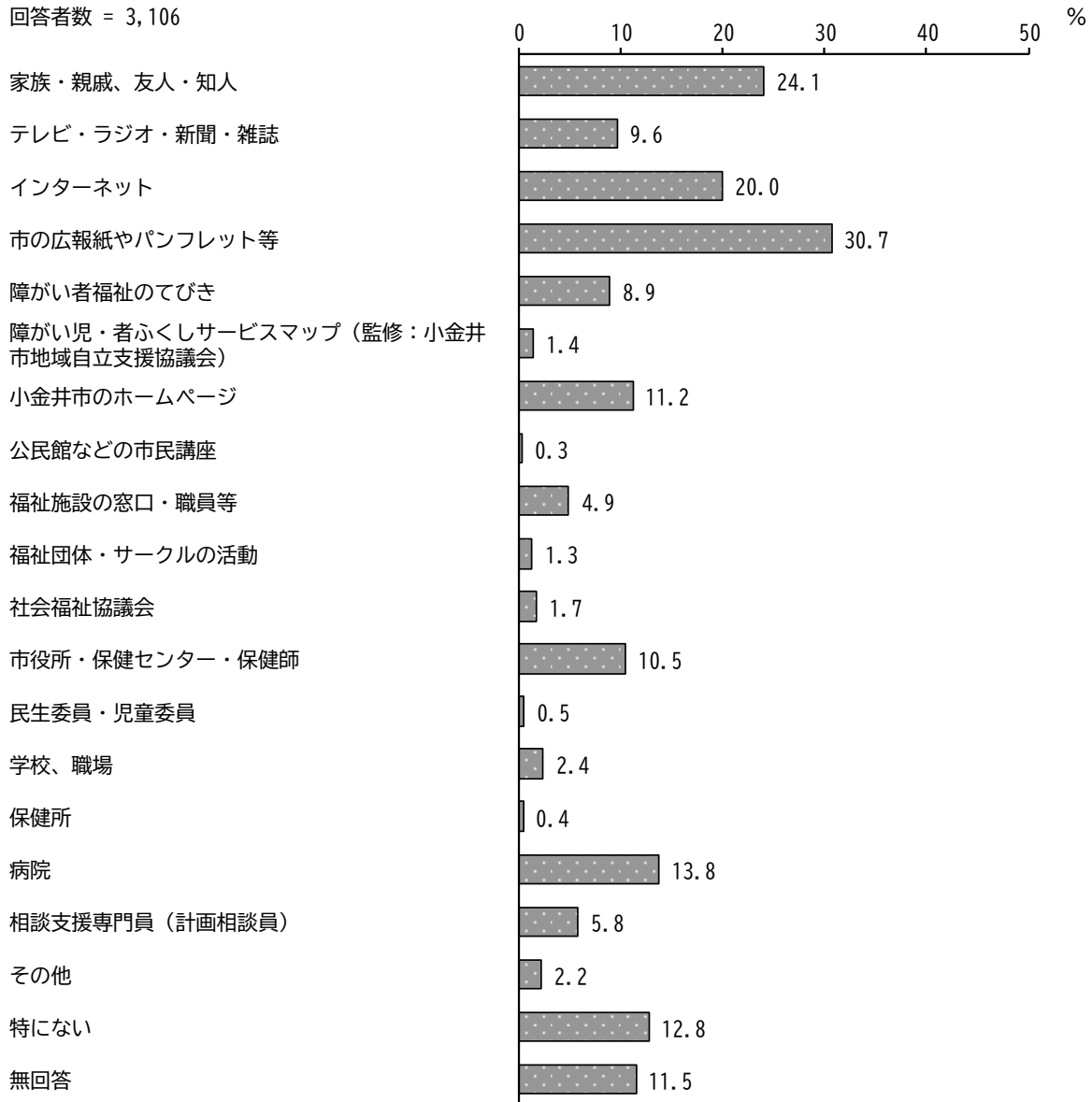
単位：%

区分	回答者数(件)	曜日や時間に関係なく、いつでも相談に応じてくれること	信頼できる相談者がいること	身近な場所で相談できる窓口があること	インターネットでの相談ができること	電話での相談を充実すること	ちょっとしたことでも相談に応じてくれること	自分の話を聞いてもらいながら、ゆっくりと時間をかけて相談できること	その他	特にない	無回答
全体	3106	36.0	52.0	40.6	20.0	21.2	37.1	29.7	3.5	10.8	7.0
身体障害者手帳所持者	1245	32.8	43.5	38.6	13.4	21.4	31.5	22.6	2.2	12.8	9.4
愛の手帳所持者	267	34.1	69.3	49.1	14.2	15.4	43.1	37.1	5.2	9.0	3.4
精神障害者保健福祉手帳所持者	209	43.5	54.5	36.4	26.3	22.0	46.4	40.2	4.8	8.1	5.3
その他	835	42.6	62.2	42.8	28.4	24.1	43.5	40.0	5.1	7.3	3.8

問 17 福祉サービスに関する情報をどこから入手していますか。(3つまで〇)

「市の広報紙やパンフレット等」の割合が30.7%と最も高く、次いで「家族・親戚、友人・知人」の割合が24.1%、「インターネット」の割合が20.0%となっています。

回答者数 = 3,106



【障がい種別】

障がい種別にみると、他に比べ、愛の手帳所持者で「家族・親戚、友人・知人」の割合が、身体障害者手帳所持者で「市の広報紙やパンフレット等」の割合が、精神障害者保健福祉手帳所持者で「インターネット」の割合が高くなっています。

単位：％

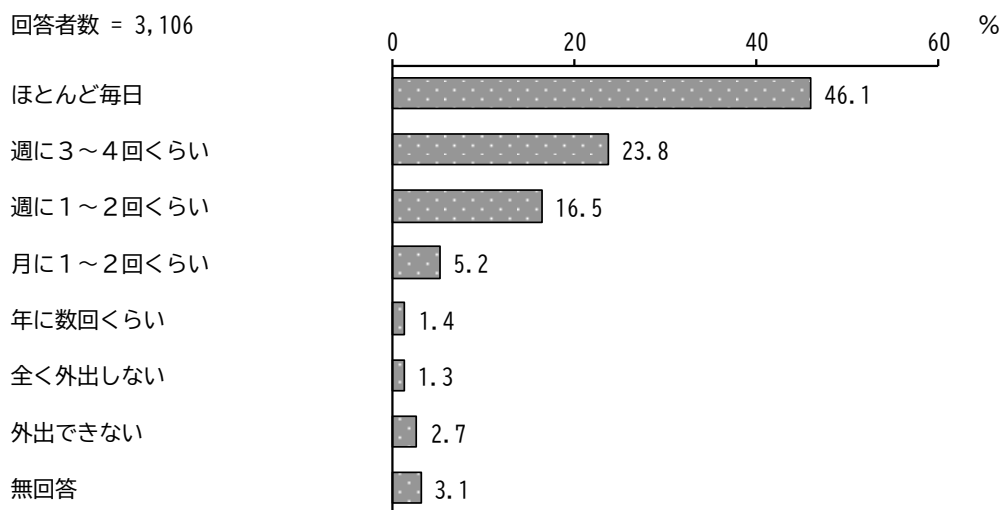
区分	回答者数(件)	家族・親戚、友人・知人	テレビ・ラジオ・新聞・雑誌	インターネット	市の広報紙やパンフレット等	障がい者福祉のてびき	障がい児・者ふくしサービスマップ(監修：小金井市地域自立支援協議会)	小金井市のホームページ	公民館などの市民講座	福祉施設の窓口・職員等	福祉団体・サークルの活動
全体	3106	24.1	9.6	20.0	30.7	8.9	1.4	11.2	0.3	4.9	1.3
身体障害者手帳所持者	1245	21.9	12.8	13.7	37.1	14.6	1.4	10.7	0.4	4.3	1.5
愛の手帳所持者	267	44.2	5.6	13.5	13.9	14.2	3.0	4.5	—	9.0	3.7
精神障害者保健福祉手帳所持者	209	22.5	4.3	26.3	22.0	6.7	2.4	8.1	—	6.2	1.4
その他	835	24.8	6.3	27.9	27.3	4.3	1.0	13.2	0.1	5.7	0.8

区分	社会福祉協議会	市役所・保健センター・保健師	民生委員・児童委員	学校、職場	保健所	病院	相談支援専門員(計画相談員)	その他	特にない	無回答
全体	1.7	10.5	0.5	2.4	0.4	13.8	5.8	2.2	12.8	11.5
身体障害者手帳所持者	2.0	10.0	0.6	0.2	0.1	9.4	3.9	1.8	13.4	10.9
愛の手帳所持者	0.4	7.5	—	7.5	—	4.9	17.2	2.6	10.1	18.7
精神障害者保健福祉手帳所持者	2.9	13.4	0.5	2.4	—	14.8	6.7	3.3	9.6	15.8
その他	1.7	11.3	0.4	4.6	0.8	21.3	5.9	2.6	11.0	9.1

6 外出について

問18 どれくらい外出していますか。(1つに○)

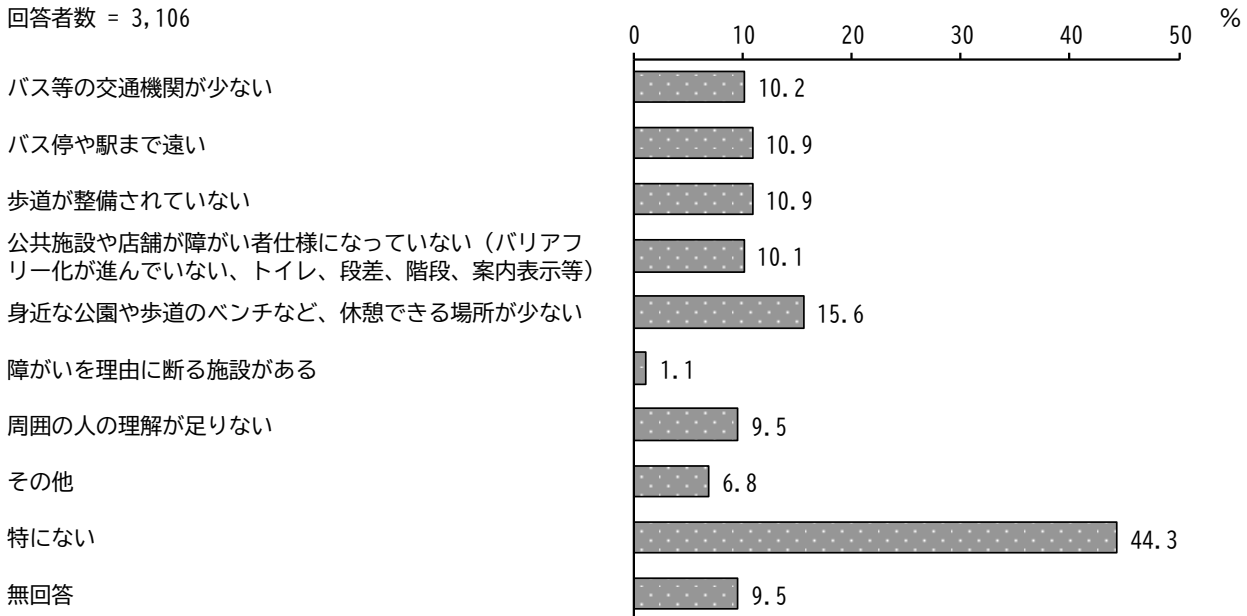
「ほとんど毎日」の割合が46.1%と最も高く、次いで「週に3～4回くらい」の割合が23.8%、「週に1～2回くらい」の割合が16.5%となっています。



問 19 外出のとき、不便に感じたり困ることは何ですか。(いくつでも○)

「特にない」の割合が 44.3%と最も高くなっていますが、「身近な公園や歩道のベンチなど、休憩できる場所が少ない」の割合が 15.6%、「バス停や駅まで遠い」「歩道が整備されていない」の割合が 10.9%となっています。

回答者数 = 3,106



【障がい種別】

障がい種別にみると、他に比べ、身体障害者手帳所持者で「公共施設や店舗が障がい者仕様になっていない (バリアフリー化が進んでいない、トイレ、段差、階段、案内表示等)」「歩道が整備されていない」の割合が高くなっています。

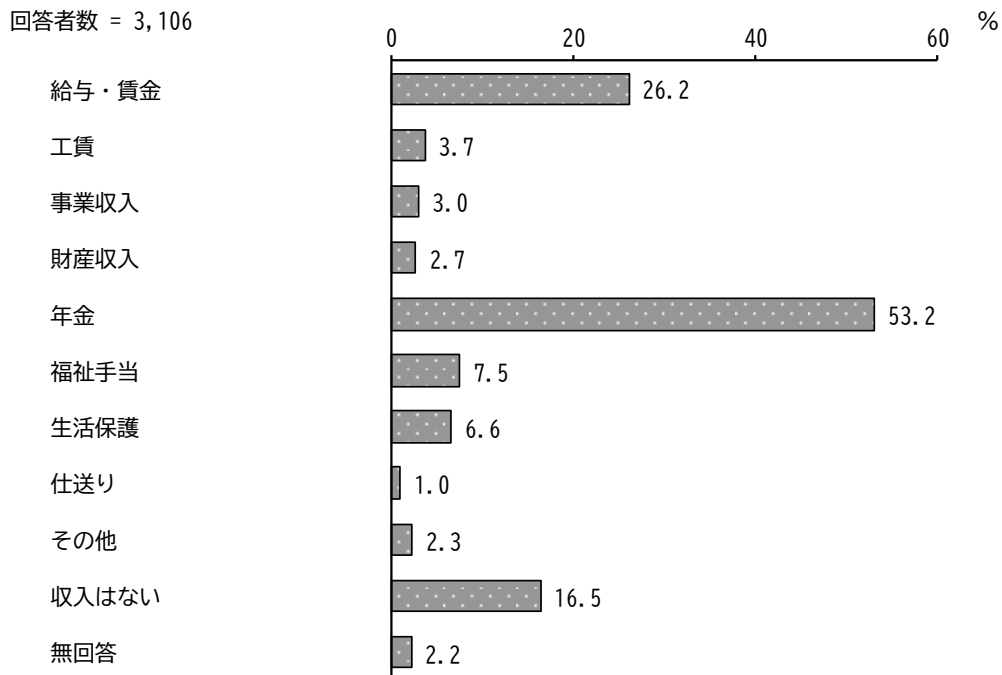
単位：%

区分	回答者数 (件)	バス等の交通機関が少ない	バス停や駅まで遠い	歩道が整備されていない	公共施設や店舗が障がい者仕様になっていない (バリアフリー化が進んでいない、トイレ、段差、階段、案内表示等)	身近な公園や歩道のベンチなど、休憩できる場所が少ない	障がいを理由に断る施設がある	周囲の人の理解が足りない	その他	特にない	無回答
全体	3106	10.2	10.9	10.9	10.1	15.6	1.1	9.5	6.8	44.3	9.5
身体障害者手帳所持者	1245	11.0	11.7	15.9	15.3	19.8	1.0	6.3	7.8	35.3	11.1
愛の手帳所持者	267	10.1	5.6	10.5	11.6	9.0	4.1	26.6	7.1	36.7	8.2
精神障害者保健福祉手帳所持者	209	12.0	12.4	3.8	4.3	13.9	1.9	12.4	7.2	47.4	8.6
その他	835	9.5	13.3	7.3	5.3	14.0	0.6	11.5	7.2	52.0	6.1

7 収入や仕事について

問 20 あなたの収入は次のどれですか。(いくつでも○)

「年金」の割合が 53.2%と最も高く、次いで「給与・賃金」の割合が 26.2%、「収入はない」の割合が 16.5%となっています。



【障がい種別】

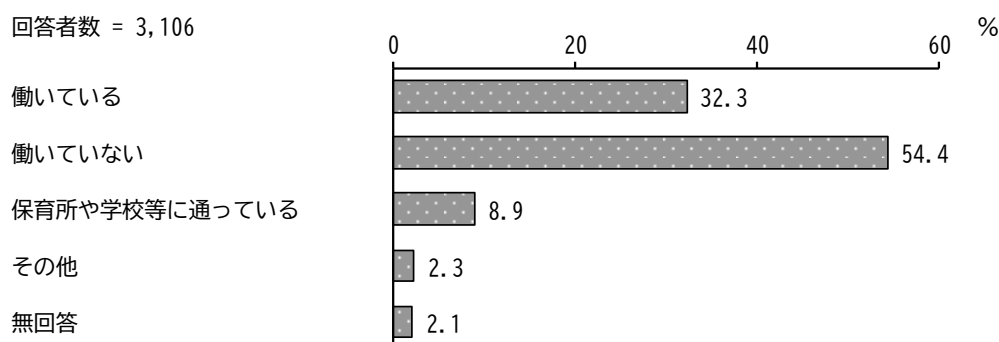
障がい種別にみると、他に比べ、身体障害者手帳所持者で「年金」の割合が、愛の手帳所持者で「収入はない」の割合が、精神障害者保健福祉手帳所持者で「給与・賃金」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	給与・賃金	工賃	事業収入	財産収入	年金	福祉手当	生活保護	仕送り	その他	収入はない	無回答
全 体	3106	26.2	3.7	3.0	2.7	53.2	7.5	6.6	1.0	2.3	16.5	2.2
身体障害者手帳所持者	1245	18.6	0.9	4.0	3.8	75.5	8.4	3.9	0.5	2.0	6.0	2.0
愛の手帳所持者	267	21.7	18.0	0.4	0.4	47.2	25.1	—	—	0.7	34.1	1.1
精神障害者保健福祉手帳所持者	209	31.6	9.6	—	1.9	48.8	4.8	13.9	1.4	4.3	14.4	1.0
その他	835	32.8	4.2	2.2	2.4	30.8	4.2	12.9	2.3	2.6	25.3	1.8

問 21 あなたは現在、働いていますか（施設も含む）。（1つに〇）

「働いていない」の割合が54.4%と最も高く、次いで「働いている」の割合が32.3%となっています。



【障がい種別】

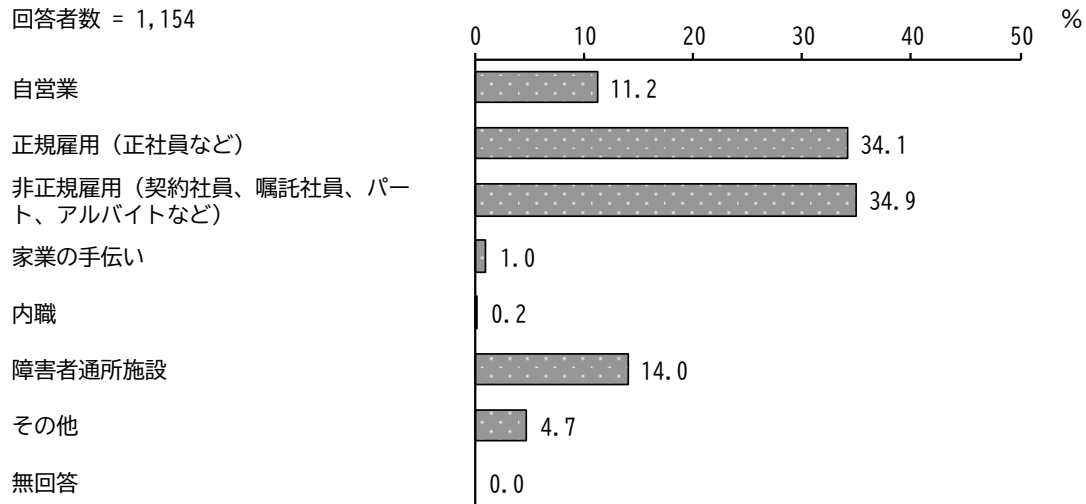
障がい種別にみると、他に比べ、愛の手帳所持者、精神障害者保健福祉手帳所持者で「働いている」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	働いている	働いていない	保育所や学校等に通っている	その他	無回答
全 体	3106	32.3	54.4	8.9	2.3	2.1
身体障害者手帳所持者	1245	23.3	70.8	2.0	1.8	2.1
愛の手帳所持者	267	42.3	23.2	28.5	3.7	2.2
精神障害者保健福祉手帳所持者	209	40.7	47.4	6.7	3.8	1.4
その他	835	36.9	45.0	13.9	2.6	1.6

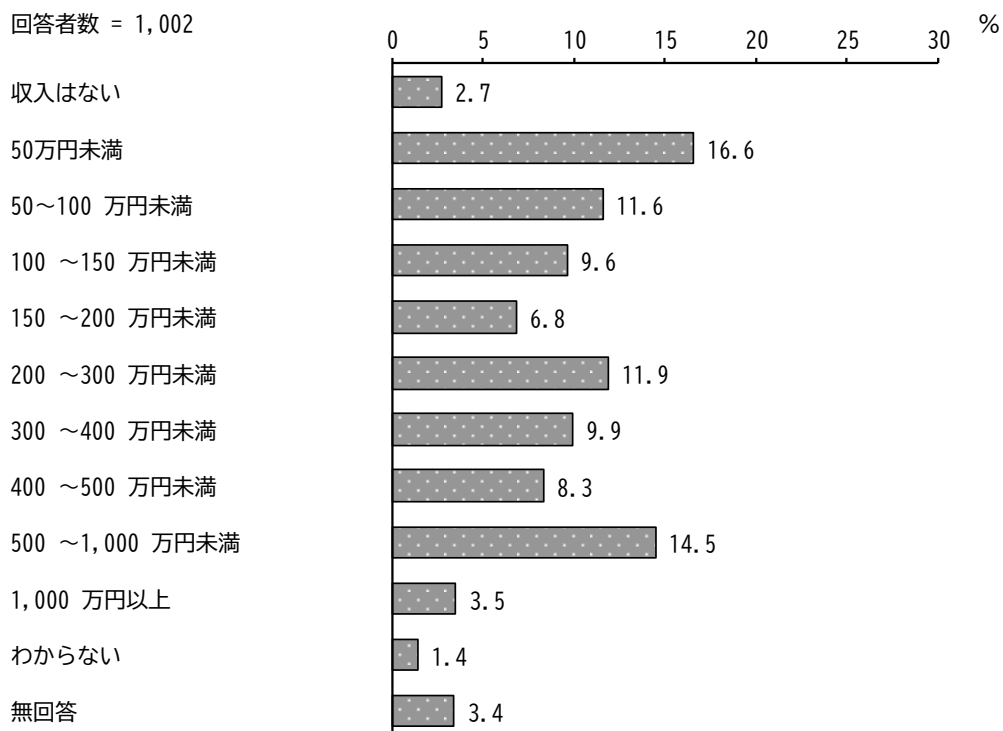
問 22 現在働いている方、または令和3（2021）年8月以降に働いていた経験がある方におたずねします。お勤めの形態や場所は次のどれですか、またはどれでしたか。（1つに〇）

「非正規雇用（契約社員、嘱託社員、パート、アルバイトなど）」の割合が34.9%と最も高く、次いで「正規雇用（正社員など）」の割合が34.1%、「障害者通所施設」の割合が14.0%となっています。



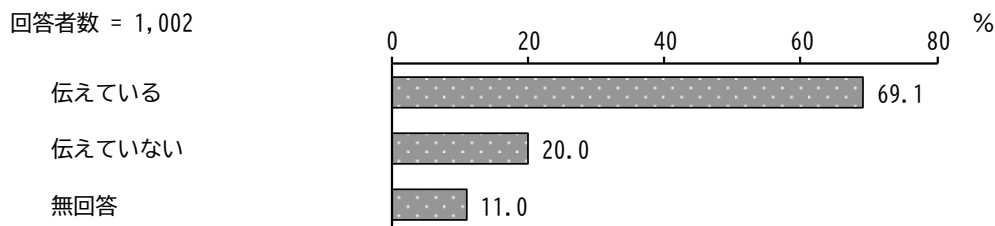
問 23 現在の仕事による年収はおよそどのくらいですか。（1つに〇）

「50万円未満」の割合が16.6%と最も高く、次いで「500～1,000万円未満」の割合が14.5%、「200～300万円未満」の割合が11.9%となっています。



問 24 勤務先へ障がいや病気であることを伝えていきますか。(1つに○)

「伝えている」の割合が 69.1%、「伝えていない」の割合が 20.0%となっています。



【障がい種別】

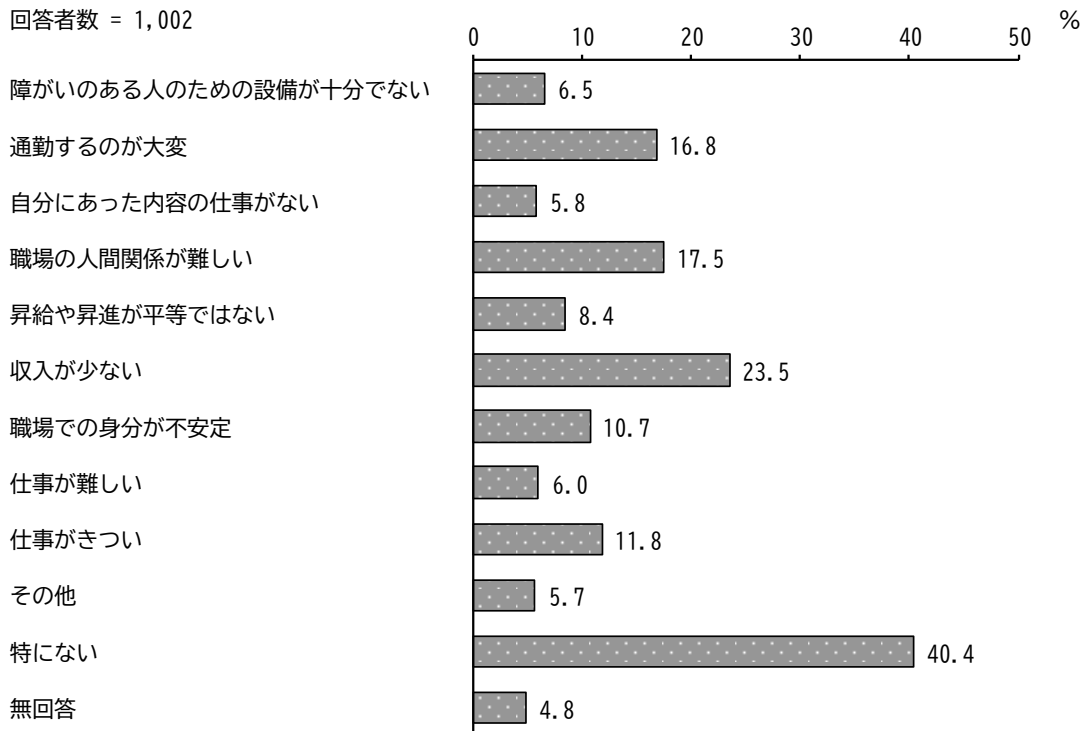
障がい種別にみると、他に比べ、精神障害者保健福祉手帳所持者で「伝えていない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	伝えている	伝えていない	無回答
全 体	1002	69.1	20.0	11.0
身体障害者手帳所持者	290	79.0	7.9	13.1
愛の手帳所持者	113	77.9	2.7	19.5
精神障害者保健福祉手帳所持者	85	78.8	16.5	4.7
その他	308	58.1	36.7	5.2

問 25 仕事をするうえで不安や不満を感じることがありますか。(いくつでも○)

「特にない」の割合が 40.4%と最も高くなっていますが、「収入が少ない」の割合が 23.5%、「職場の人間関係が難しい」の割合が 17.5%となっています。



【障がい種別】

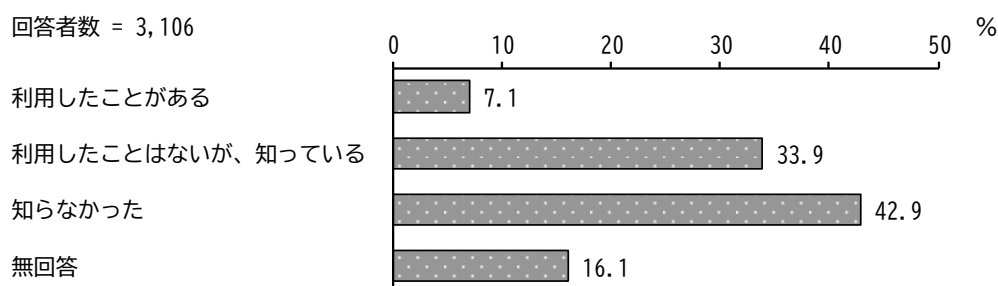
障がい種別にみると、他に比べ、精神障害者保健福祉手帳所持者で「収入が少ない」「通勤するのが大変」「職場での身分が不安定」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	障がいのある人のための設備が十分でない	通勤するのが大変	自分にあつた内容の仕事がない	職場の人間関係が難しい	昇給や昇進が平等ではない	収入が少ない	職場での身分が不安定	仕事が多い	仕事がかた	その他	特にない	無回答
全体	1002	6.5	16.8	5.8	17.5	8.4	23.5	10.7	6.0	11.8	5.7	40.4	4.8
身体障害者手帳所持者	290	7.9	17.2	4.5	9.3	6.6	16.9	5.5	4.1	9.0	5.9	47.9	6.9
愛の手帳所持者	113	7.1	10.6	9.7	17.7	3.5	28.3	5.3	6.2	7.1	3.5	41.6	7.1
精神障害者保健福祉手帳所持者	85	4.7	27.1	9.4	23.5	12.9	41.2	18.8	4.7	10.6	11.8	25.9	—
その他	308	6.5	18.2	7.5	29.2	12.3	26.9	17.5	10.1	15.6	3.9	29.9	2.9

問 26 あなたは「障害者就労支援センター」を知っていますか。(1つに○)

「知らなかった」の割合が 42.9%と最も高く、次いで「利用したことはないが、知っている」の割合が 33.9%となっています。



【障がい種別】

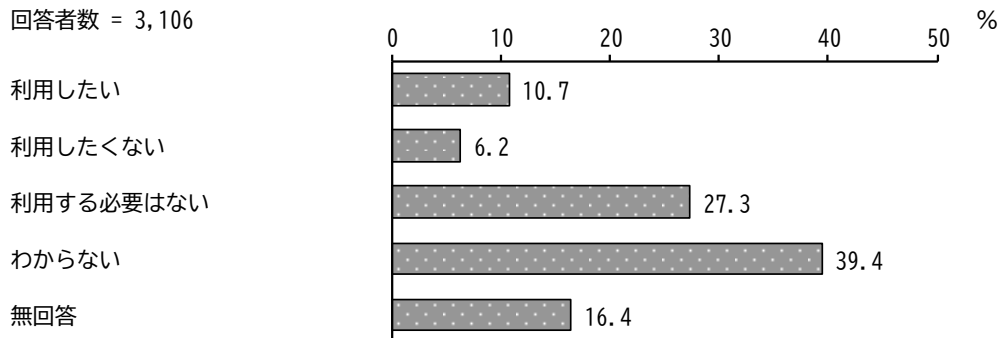
障がい種別にみると、他に比べ、精神障害者保健福祉手帳所持者で「利用したことがある」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	利用したことがある	利用したことはないが、知っている	知らなかった	無回答
全 体	3106	7.1	33.9	42.9	16.1
身体障害者手帳所持者	1245	2.7	33.3	41.2	22.8
愛の手帳所持者	267	15.4	33.7	37.5	13.5
精神障害者保健福祉手帳所持者	209	25.4	36.4	30.6	7.7
その他	835	10.5	32.2	49.6	7.7

問 27 あなたは「障害者就労支援センター」を利用したいと思いますか。(1つに○)

「わからない」の割合が39.4%と最も高く、次いで「利用する必要はない」の割合が27.3%、「利用したい」の割合が10.7%となっています。



【障がい種別】

障がい種別にみると、他に比べ、愛の手帳所持者で「利用したい」の割合が、精神障害者保健福祉手帳所持者で「わからない」「利用したい」の割合が高くなっています。

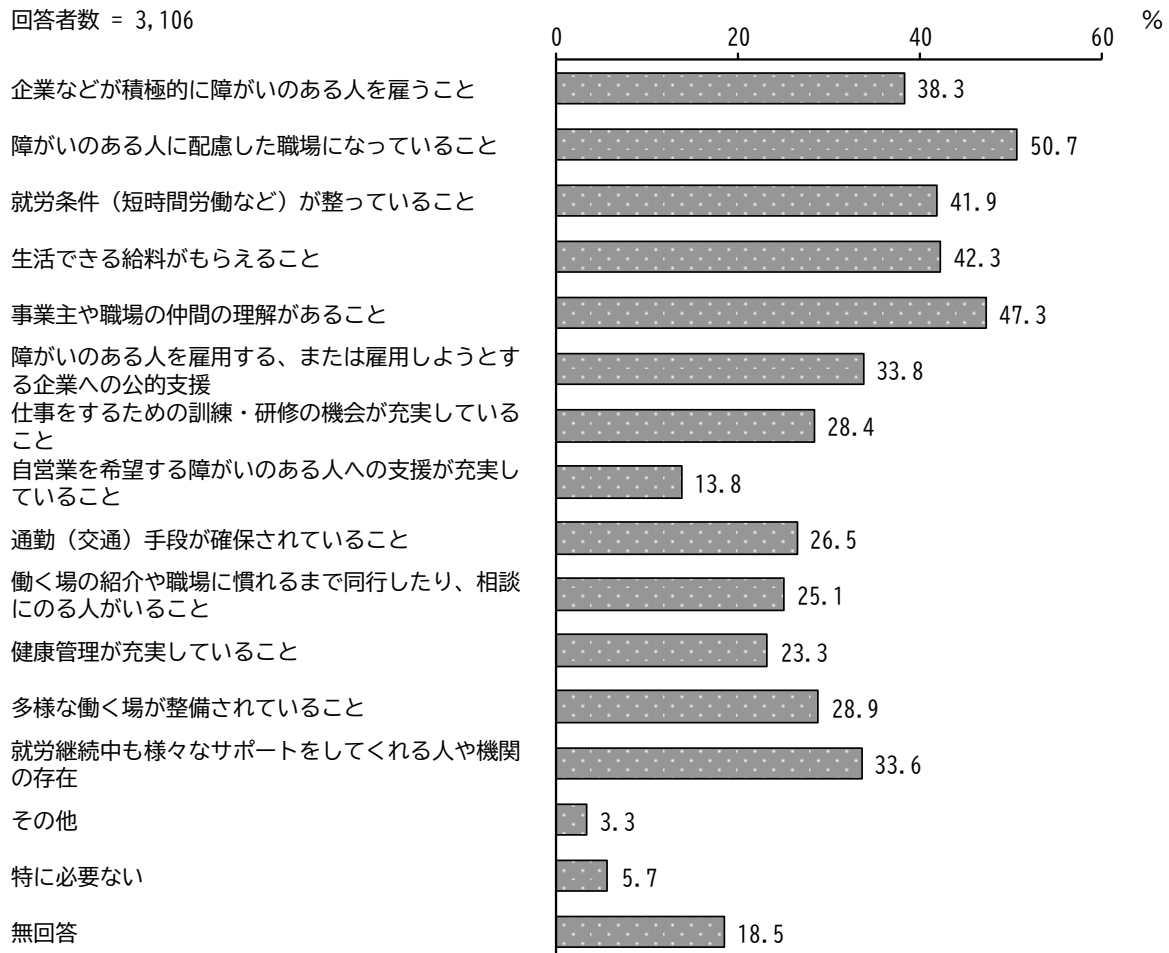
単位：%

区分	回答者数(件)	利用したい	利用したくない	利用する必要はない	わからない	無回答
全 体	3106	10.7	6.2	27.3	39.4	16.4
身体障害者手帳所持者	1245	6.4	6.3	28.4	36.3	22.6
愛の手帳所持者	267	24.7	4.5	17.6	38.2	15.0
精神障害者保健福祉手帳所持者	209	19.6	8.6	14.4	48.8	8.6
その他	835	14.9	7.2	25.9	44.4	7.7

問 28 障がいのある人が働くためには、どのようなことが必要だと思いますか。(いくつでも○)

「障がいのある人に配慮した職場になっていること」の割合が 50.7%と最も高く、次いで「事業主や職場の仲間の理解があること」の割合が 47.3%、「生活できる給料がもらえること」の割合が 42.3%となっています。

回答者数 = 3,106



【障がい種別】

障がい種別にみると、他に比べ、精神障害者保健福祉手帳所持者で「生活できる給料がもらえること」の割合が、愛の手帳所持者で「就労継続中も様々なサポートをしてくれる人や機関の存在」「働く場の紹介や職場に慣れるまで同行したり、相談にのる人がいること」の割合が高くなっています。

単位：%

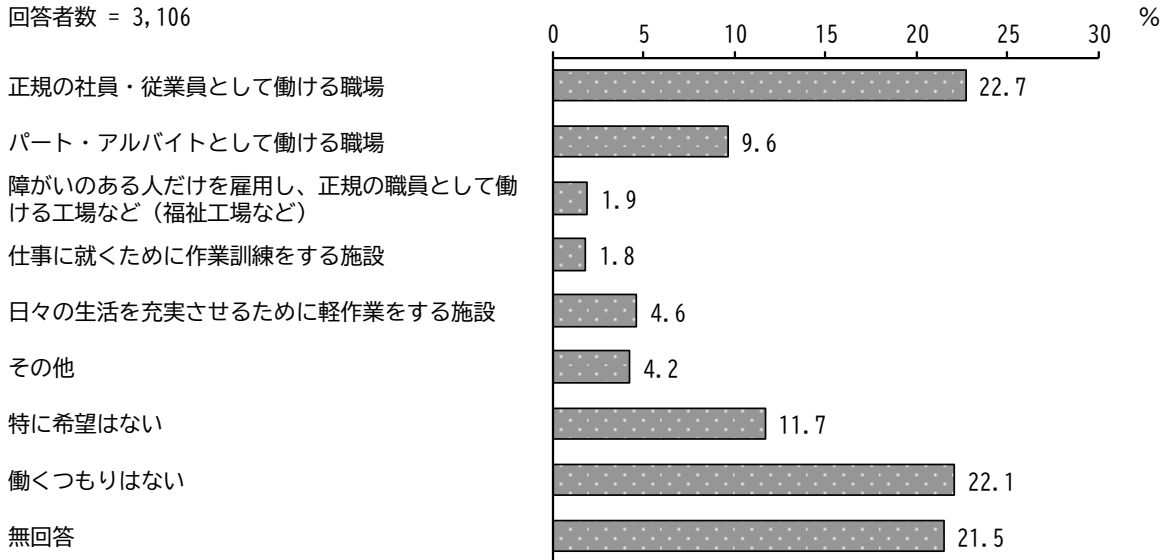
区分	回答者数(件)	企業が積極的に障がいのある人を雇うこと	障がいのある人に配慮した職場になっていること	就労条件(短時間労働など)が整っていること	生活できる給料がもらえること	事業主や職場の仲間の理解があること	障がいのある人を雇用する、または雇用しようとする企業への公的支援	仕事をするための訓練・研修の機会が充実していること	自営業を希望する障がいのある人への支援が充実していること
全体	3106	38.3	50.7	41.9	42.3	47.3	33.8	28.4	13.8
身体障害者手帳所持者	1245	35.3	43.1	34.2	30.5	38.1	30.3	21.1	12.9
愛の手帳所持者	267	40.1	61.4	41.9	43.4	55.8	41.6	34.5	12.4
精神障害者保健福祉手帳所持者	209	40.2	59.3	52.6	60.8	55.0	32.5	34.9	12.9
その他	835	44.1	58.8	50.4	57.1	56.5	37.7	36.2	16.8

区分	通勤(交通)手段が確保されていること	働く場の紹介や職場に慣れるまで同行したり、相談にのる人がいること	健康管理が充実していること	多様な働く場が整備されていること	就労継続中も様々なサポートをしてくれる人や機関の存在	その他	特に必要ない	無回答
全体	26.5	25.1	23.3	28.9	33.6	3.3	5.7	18.5
身体障害者手帳所持者	25.1	17.3	20.6	22.2	24.6	2.7	7.5	25.6
愛の手帳所持者	28.1	40.1	26.6	36.0	49.4	4.1	3.7	15.0
精神障害者保健福祉手帳所持者	26.3	37.3	27.3	30.1	41.6	4.3	2.9	10.0
その他	29.8	33.5	27.1	36.3	43.0	4.8	4.2	10.4

問 29 あなたは今後、「働く場」として、どのようなところを希望されますか。(1つに○)

「正規の社員・従業員として働ける職場」の割合が 22.7%と最も高く、次いで「働くつもりはない」の割合が 22.1%、「特に希望はない」の割合が 11.7%となっています。

回答者数 = 3,106



【障がい種別】

障がい種別にみると、他に比べ、身体障害者手帳所持者で「働くつもりはない」の割合が、愛の手帳所持者で「日々の生活を充実させるために軽作業をする施設」の割合が、精神障害者保健福祉手帳所持者で「正規の社員・従業員として働ける職場」の割合が高くなっています。

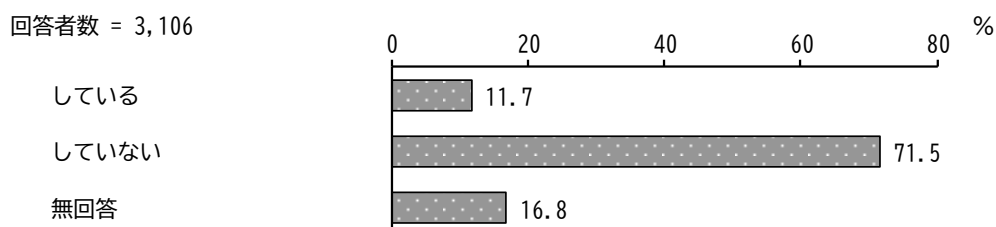
単位：%

区分	回答者数 (件)	正規の社員・従業員として働ける職場	パート・アルバイトとして働ける職場	障がいのある人だけを雇用し、正規の職員として働ける工場など (福祉工場など)	仕事に就くために作業訓練をする施設	日々の生活を充実させるために軽作業をする施設	その他	特に希望はない	働くつもりはない	無回答
全体	3106	22.7	9.6	1.9	1.8	4.6	4.2	11.7	22.1	21.5
身体障害者手帳所持者	1245	13.1	6.7	0.6	1.6	3.1	2.2	11.8	34.5	26.3
愛の手帳所持者	267	18.0	4.5	9.4	4.5	15.0	7.1	10.5	11.2	19.9
精神障害者保健福祉手帳所持者	209	34.0	15.3	1.9	1.9	5.3	6.7	11.5	8.1	15.3
その他	835	33.9	12.7	2.0	1.8	4.8	6.3	11.1	11.0	16.3

8 保育・教育について

問 30 あなたは、現在、幼稚園・保育所・学校に通園・通学していますか。(1つに○)

「している」の割合が11.7%、「していない」の割合が71.5%となっています。



【障がい種別】

障がい種別にみると、他に比べ、**身体障害者手帳所持者**、**精神障害者保健福祉手帳所持者**で「していない」の割合が高くなっています。

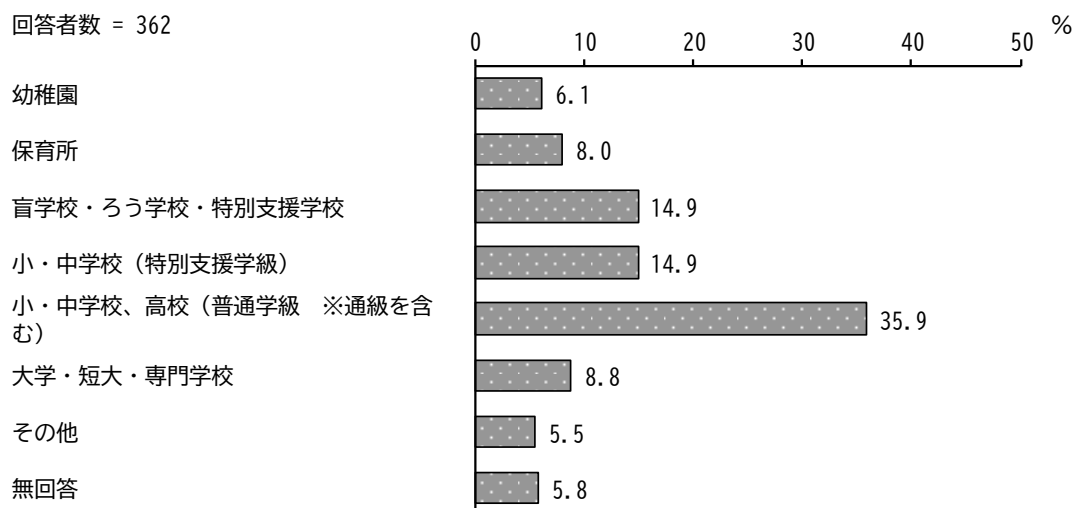
単位：%

区分	回答者数 (件)	している	していない	無回答
全 体	3106	11.7	71.5	16.8
身体障害者手帳所持者	1245	4.0	72.3	23.7
愛の手帳所持者	267	36.7	54.3	9.0
精神障害者保健福祉手帳所持者	209	8.6	80.4	11.0
その他	835	16.9	73.3	9.8

問 30 で「している」を選択した方にお聞きします。

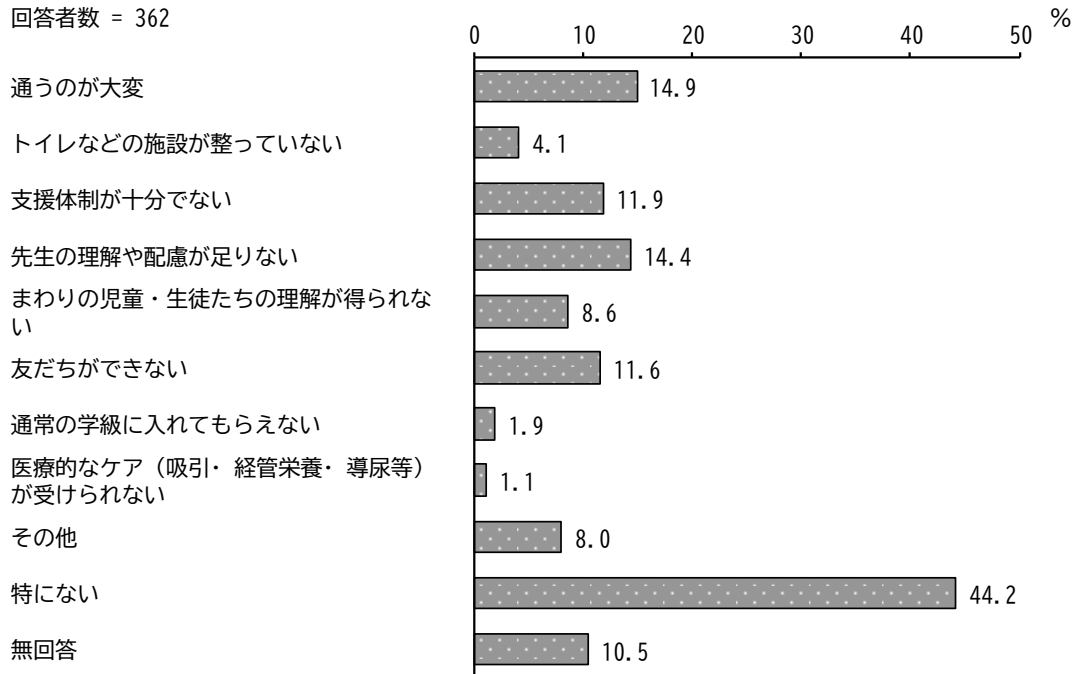
問 30-1 通園・通学先は次のどれにあたりますか。(1つに○)

「小・中学校、高校（普通学級 ※通級を含む）」の割合が 35.9%と最も高く、次いで「盲学校・ろう学校・特別支援学校」、「小・中学校（特別支援学級）」の割合が 14.9%となっています。



問 30-2 幼稚園・保育所・学校などに通っていて困っていることは何ですか。(いくつかでも○)

「特にない」の割合が 44.2%と最も高くなっていますが、「通うのが大変」の割合が 14.9%、「先生の理解や配慮が足りない」の割合が 14.4%となっています。



【障がい種別】

障がい種別にみると、他に比べ、精神障害者保健福祉手帳所持者で「友だちができない」の割合が、愛の手帳所持者で「通うのが大変」の割合が高くなっています。

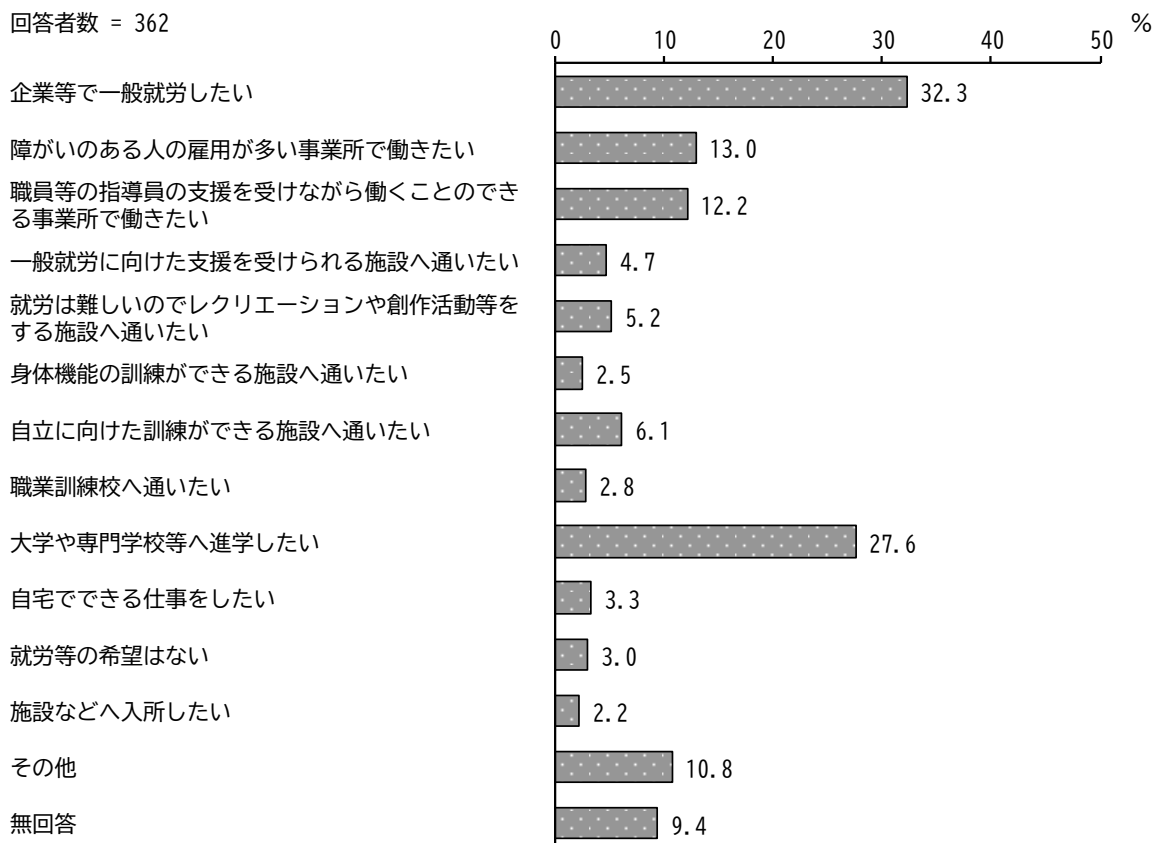
単位：%

区分	回答者数(件)	通うのが大変	トイレなどの施設が整っていない	支援体制が十分でない	先生の理解や配慮が足りない	まわりの児童・生徒たちの理解が得られない	友だちができない	通常の学級に入れてもらえない	医療的なケア（吸引・経管栄養・導尿等）が受けられない	その他	特にない	無回答
全体	362	14.9	4.1	11.9	14.4	8.6	11.6	1.9	1.1	8.0	44.2	10.5
身体障害者手帳所持者	50	12.0	12.0	8.0	4.0	2.0	4.0	—	—	2.0	40.0	32.0
愛の手帳所持者	98	24.5	4.1	6.1	11.2	5.1	6.1	3.1	2.0	9.2	49.0	7.1
精神障害者保健福祉手帳所持者	18	11.1	—	16.7	16.7	16.7	22.2	5.6	—	5.6	27.8	11.1
その他	141	12.8	2.8	19.1	19.9	12.8	16.3	2.1	1.4	9.2	38.3	7.8

問 30-3 今後、どのような進路を希望しますか。(2つまで〇)

「企業等で一般就労したい」の割合が 32.3%と最も高く、次いで「大学や専門学校等へ進学したい」の割合が 27.6%、「障がいのある人の雇用が多い事業所で働きたい」の割合が 13.0%となっています。

回答者数 = 362



【障がい種別】

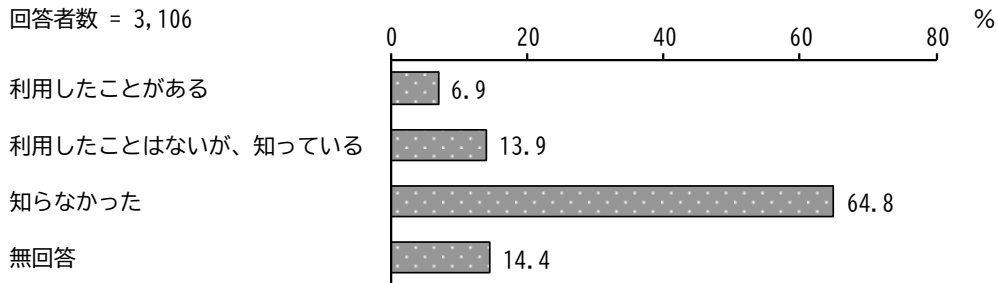
障がい種別にみると、他に比べ、**身体障害者手帳所持者で「企業等で一般就労したい」の割合が、精神障害者保健福祉手帳所持者で「障がいのある人の雇用が多い事業所で働きたい」の割合が、愛の手帳所持者で「職員等の指導員の支援を受けながら働くことのできる事業所で働きたい」「障がいのある人の雇用が多い事業所で働きたい」の割合が高くなっています。**

単位：％

区分	回答者数(件)	企業等で一般就労したい	障がいのある人の雇用が多い事業所で働きたい	職員等の指導員の支援を受けながら働くことのできる事業所で働きたい	一般就労に向けた支援を受けられる施設へ通いたい	就労は難しいのでレクリエーションや創作活動等をする施設へ通いたい	身体機能の訓練ができる施設へ通いたい	自立に向けた訓練ができる施設へ通いたい	職業訓練校へ通いたい	大学や専門学校等へ進学したい	自宅のできる仕事をしたい	就労等の希望はない	施設などへ入所したい	その他	無回答
全体	362	32.3	13.0	12.2	4.7	5.2	2.5	6.1	2.8	27.6	3.3	3.0	2.2	10.8	9.4
身体障害者手帳所持者	50	38.0	8.0	2.0	4.0	—	8.0	—	—	28.0	8.0	6.0	—	2.0	26.0
愛の手帳所持者	98	18.4	20.4	25.5	7.1	13.3	3.1	8.2	1.0	8.2	—	2.0	7.1	20.4	6.1
精神障害者保健福祉手帳所持者	18	16.7	27.8	5.6	5.6	—	—	11.1	11.1	22.2	5.6	—	—	11.1	11.1
その他	141	37.6	12.8	11.3	4.3	4.3	1.4	8.5	5.0	34.8	4.3	2.1	0.7	8.5	5.0

問 31 すべての方におたずねします。あなたは「小金井市児童発達支援センターきらり」を知っていますか。(1つに○)

「知らなかった」の割合が 64.8%と最も高く、次いで「利用したことはないが、知っている」の割合が 13.9%となっています。



【障がい種別】

障がい種別にみると、他に比べ、愛の手帳所持者で「利用したことはないが、知っている」の割合が、精神障害者保健福祉手帳所持者で「知らなかった」の割合が高くなっています。

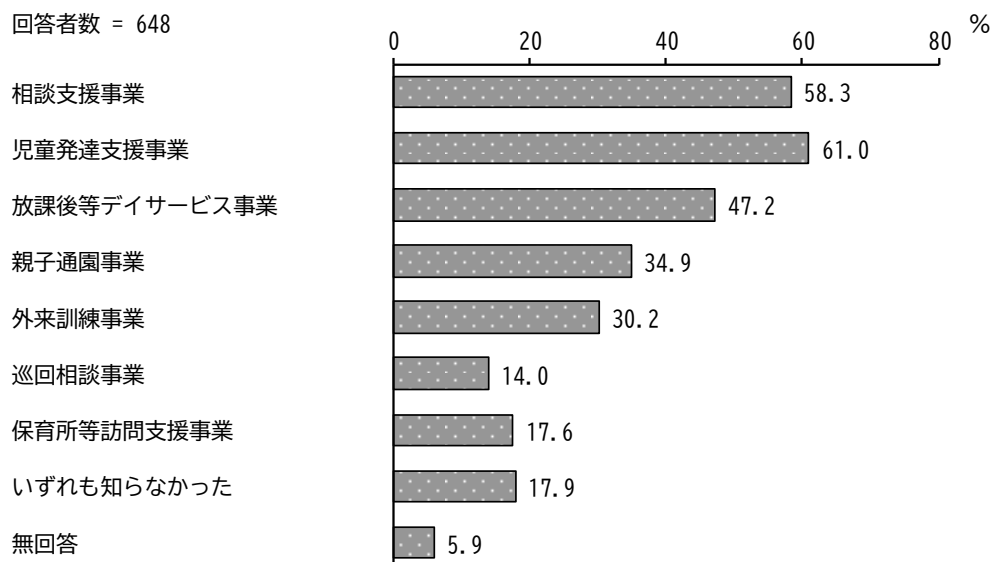
単位：%

区分	回答者数 (件)	利用したことがある	利用したことはないが、知っている	知らなかった	無回答
全 体	3106	6.9	13.9	64.8	14.4
身体障害者手帳所持者	1245	1.3	10.3	68.4	20.1
愛の手帳所持者	267	25.5	34.8	29.6	10.1
精神障害者保健福祉手帳所持者	209	4.8	10.5	74.6	10.0
その他	835	10.4	14.5	66.6	8.5

問 31 で「利用したことがある」、「利用したことはないが、知っている」を選んだ方にお聞きします。

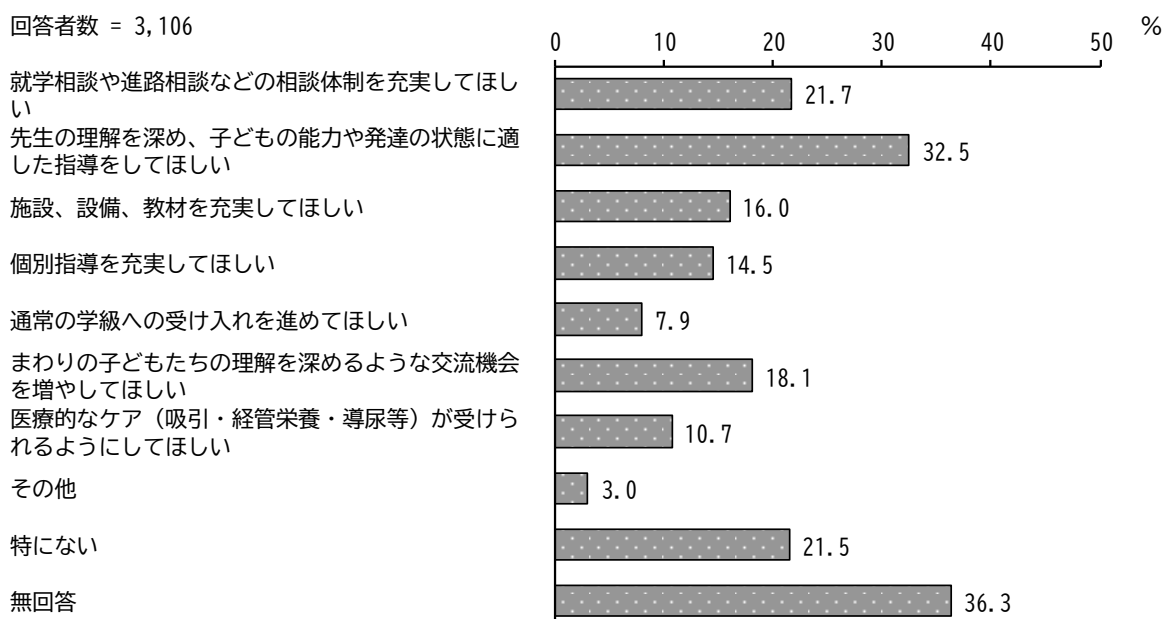
問 31-1 下記の事業を行っていることを知っていますか。(いくつでも○)

「児童発達支援事業」の割合が 61.0%と最も高く、次いで「相談支援事業」の割合が 58.3%、「放課後等デイサービス事業」の割合が 47.2%となっています。



問 32 幼稚園・保育所・学校に望むことは、どのようなことですか。(いくつでも○)

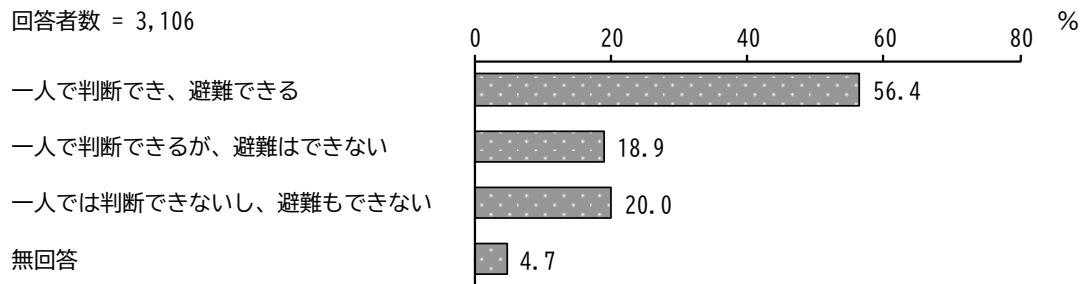
「先生の理解を深め、子どもの能力や発達の状態に適した指導をしてほしい」の割合が 32.5%と最も高く、次いで「就学相談や進路相談などの相談体制を充実してほしい」の割合が 21.7%、「特にない」の割合が 21.5%となっています。



9 災害時の避難等について

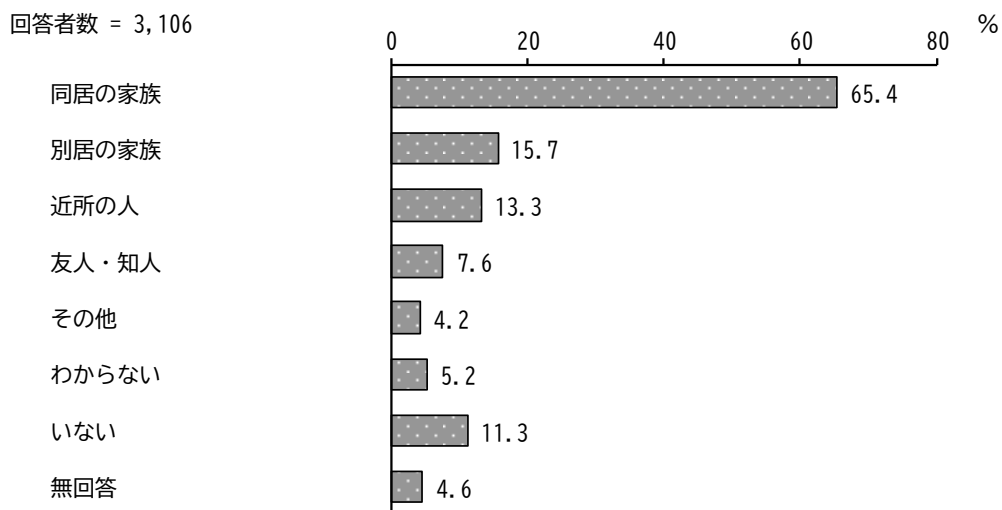
問 33 あなたは、火事や地震等の災害が起こったときに一人で避難できますか。(1つに○)

「一人で判断でき、避難できる」の割合が 56.4%と最も高く、次いで「一人では判断できないし、避難もできない」の割合が 20.0%、「一人で判断できるが、避難はできない」の割合が 18.9%となっています。



問 34 災害や火災などの緊急時に避難する際に、手助けを頼める人はいますか。(いくつでも○)

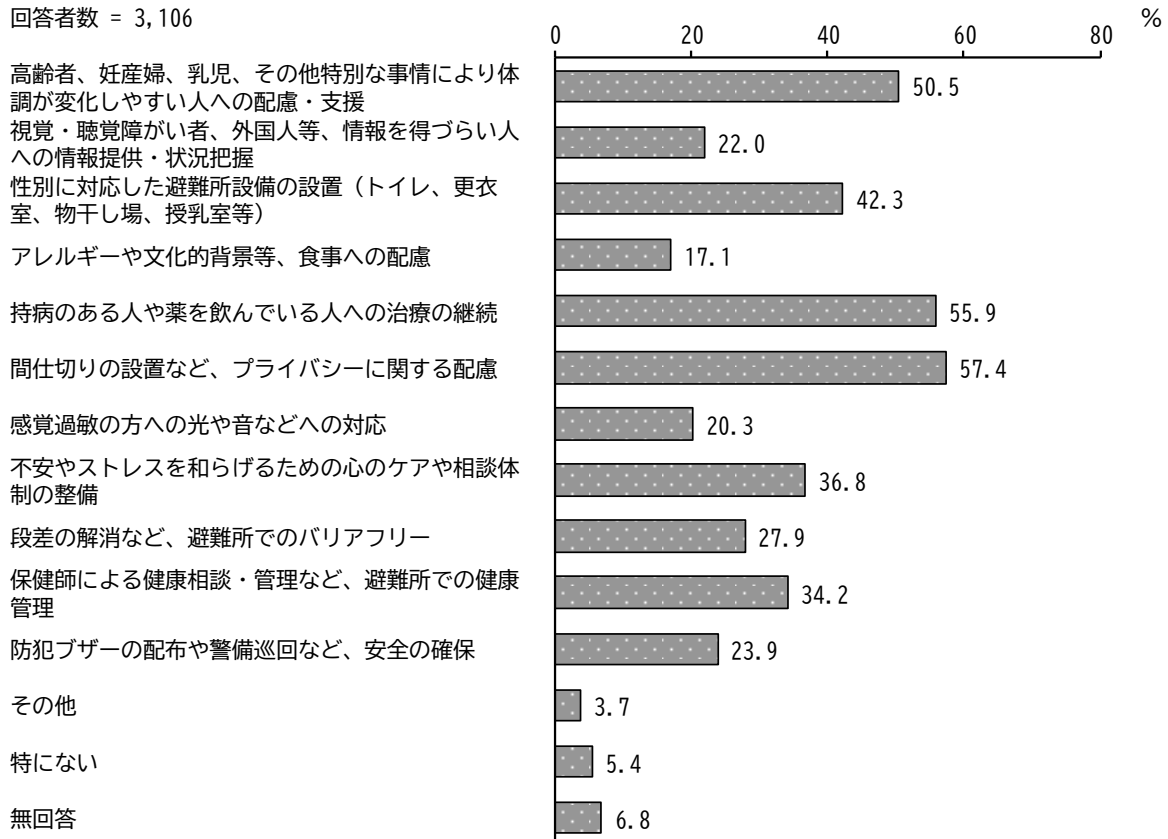
「同居の家族」の割合が 65.4%と最も高く、次いで「別居の家族」の割合が 15.7%、「近所の人」の割合が 13.3%となっています。



問 35 災害が起きたときに、あなたやあなたの家族が、避難所で配慮してほしいことはありますか。(いくつでも○)

「間仕切りの設置など、プライバシーに関する配慮」の割合が 57.4%と最も高く、次いで「持病のある人や薬を飲んでいる人への治療の継続」の割合が 55.9%、「高齢者、妊産婦、乳児、その他特別な事情により体調が変化しやすい人への配慮・支援」の割合が 50.5%となっています。

回答者数 = 3,106



【障がい種別】

障がい種別にみると、他に比べ、精神障害者保健福祉手帳所持者で「不安やストレスを和らげるための心のケアや相談体制の整備」の割合が、身体障害者手帳所持者で「段差の解消など、避難所でのバリアフリー」の割合が、愛の手帳所持者で「間仕切りの設置など、プライバシーに関する配慮」「感覚過敏の方への光や音などへの対応」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	高齢者、妊産婦、乳児、その他特別な事情により体調が変化しやすい人への配慮・支援	視覚・聴覚障がい者、外国人等、情報を得づらい人への情報提供・状況把握	性別に対応した避難所設備の設置(トイレ、更衣室、物干し場、授乳室等)	アレルギーや文化的背景等、食事への配慮	持病のある人や薬を飲んでいる人への治療の継続	間仕切りの設置など、プライバシーに関する配慮	感覚過敏の方への光や音などへの対応
全体	3106	50.5	22.0	42.3	17.1	55.9	57.4	20.3
身体障害者手帳所持者	1245	56.2	26.9	41.4	12.9	54.5	53.8	11.2
愛の手帳所持者	267	44.9	18.7	39.3	17.6	35.2	67.0	31.1
精神障害者保健福祉手帳所持者	209	44.5	18.2	38.3	20.6	57.9	57.4	31.1
その他	835	44.1	18.2	44.4	21.8	60.2	61.8	31.0

区分	不安やストレスを和らげるための心のケアや相談体制の整備	段差の解消など、避難所でのバリアフリー	保健師による健康相談・管理など、避難所での健康管理	防犯ブザーの配布や警備巡回など、安全の確保	その他	特になし	無回答
全体	36.8	27.9	34.2	23.9	3.7	5.4	6.8
身体障害者手帳所持者	24.5	39.5	34.1	20.5	3.3	5.1	8.0
愛の手帳所持者	43.8	18.7	29.6	20.6	7.1	6.4	4.9
精神障害者保健福祉手帳所持者	59.8	14.8	32.1	26.8	2.4	4.3	7.7
その他	50.8	17.7	33.7	28.9	4.3	5.4	4.1

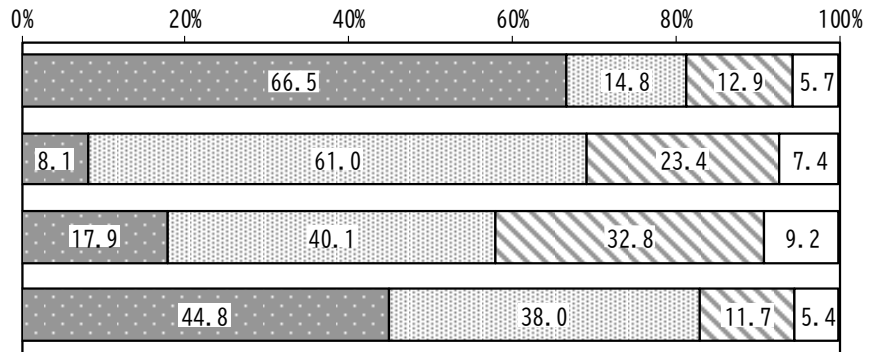
問 36 あなたの防災に対する日ごろからの取り組みや、災害などの緊急時のことについてお答えください。

『① 災害時の避難場所を知っていますか』で「はい」の割合が高くなっています。『② 避難行動要支援者名簿を知っていますか』で「いいえ」の割合が高くなっています。

■ はい ■ いいえ ■ わからない □ 無回答

回答者数 = 3,106

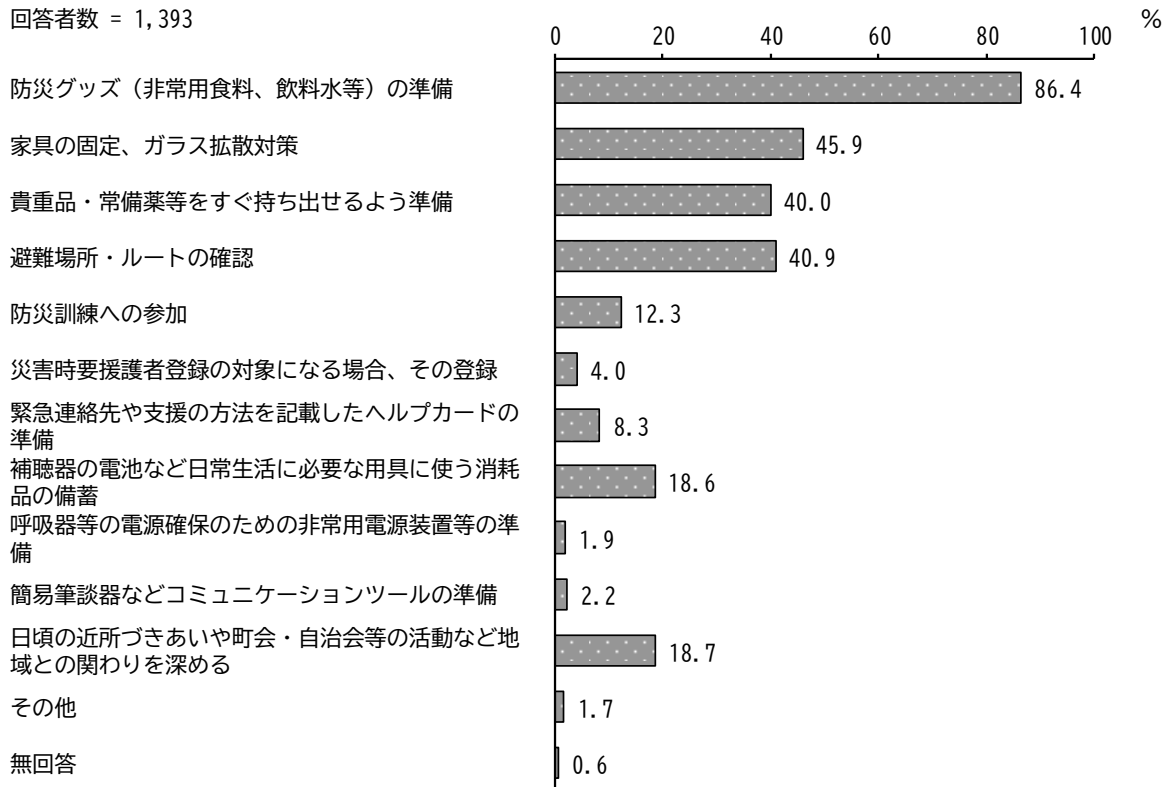
- ① 災害時の避難場所を知っていますか
- ② 避難行動要支援者名簿を知っていますか
- ③ 避難行動要支援者名簿に登録を希望しますか
- ④ 災害に備えて日頃から準備していますか



問 36-1 あなたが災害に備えて日頃からしているのはどんなことですか。(いくつでも○)

「防災グッズ（非常用食料、飲料水等）の準備」の割合が86.4%と最も高く、次いで「家具の固定、ガラス拡散対策」の割合が45.9%、「避難場所・ルートの確認」の割合が40.9%となっています。

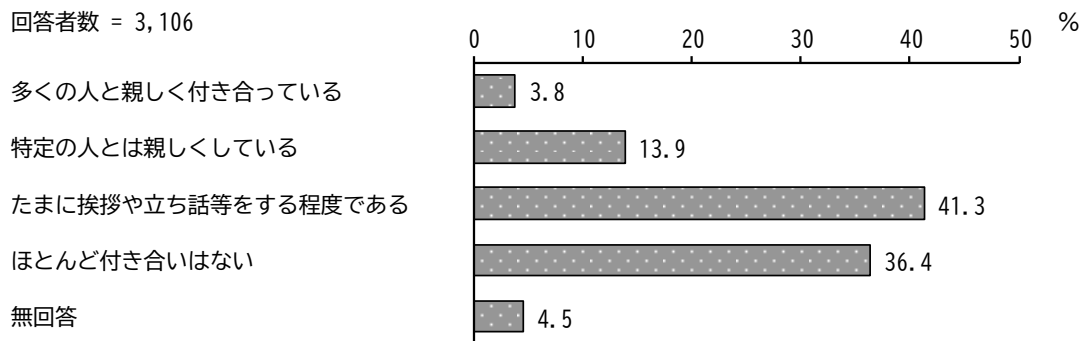
回答者数 = 1,393



10 地域社会について

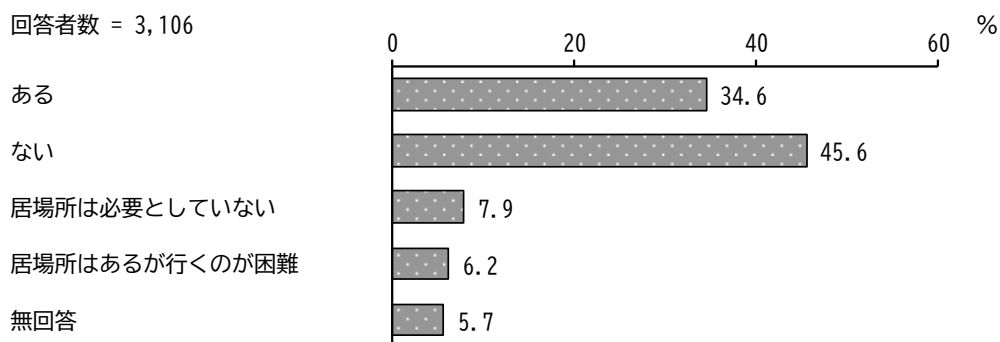
問 37 あなたは、隣近所の人とはどの程度お付き合いをしていますか。(1つに○)

「たまに挨拶や立ち話等をする程度である」の割合が41.3%と最も高く、次いで「ほとんど付き合いはない」の割合が36.4%、「特定の人とは親しくしている」の割合が13.9%となっています。



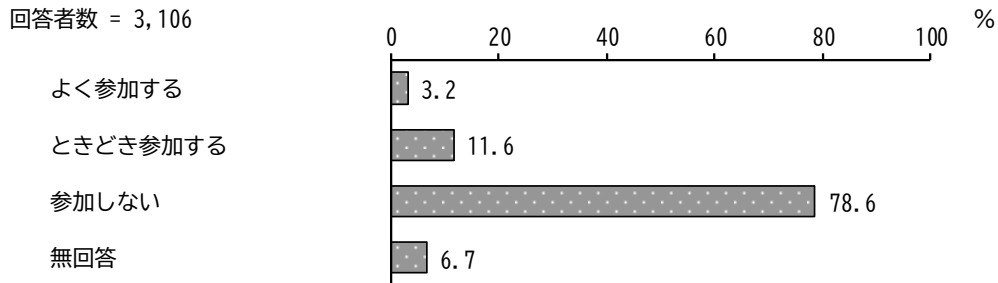
問 38 あなたにとって、自宅以外に気軽に行ける「居場所」はありますか。(1つに○)

「ない」の割合が45.6%と最も高く、次いで「ある」の割合が34.6%となっています。



問 39 あなたは、地域社会での活動（公民館・町会・自治会・子供会・ママさんグループやおやじの会・商店会などの行事等）に参加していますか。（1つに○）

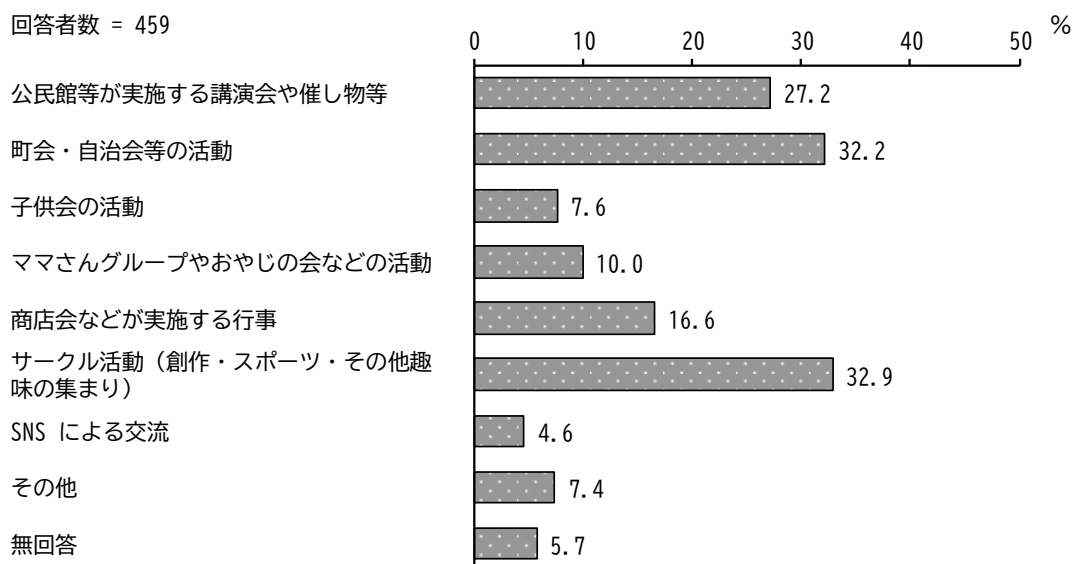
「参加しない」の割合が78.6%と最も高く、次いで「ときどき参加する」の割合が11.6%となっています。



問 39 で「よく参加する」、「ときどき参加する」を選んだ方にお聞きします。

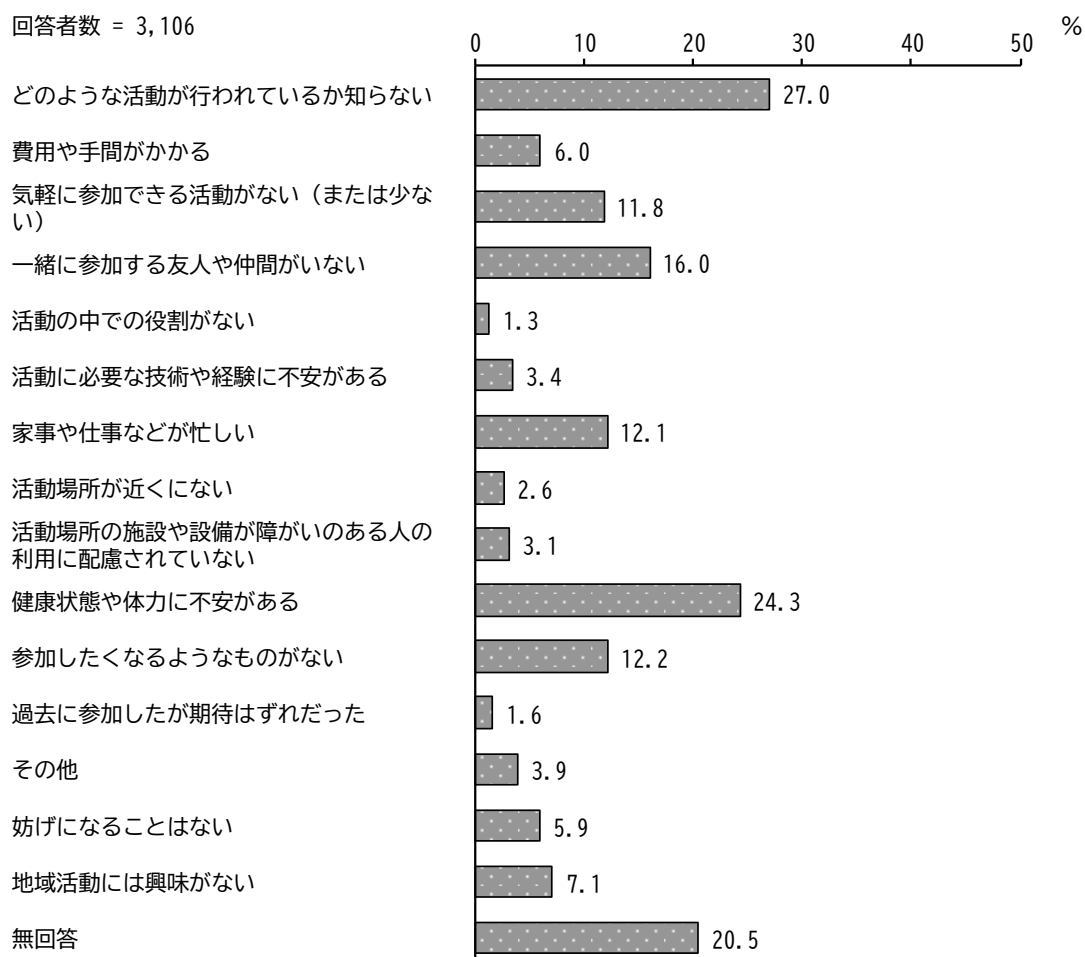
問 39-1 あなたは、どんな地域活動に参加していますか。（いくつでも○）

「サークル活動（創作・スポーツ・その他趣味の集まり）」の割合が32.9%と最も高く、次いで「町会・自治会等の活動」の割合が32.2%、「公民館等が実施する講演会や催し物等」の割合が27.2%となっています。



問 39-2 あなたが地域活動に参加しようとした場合、その妨げとなることは何ですか。(3つまで〇)

「どのような活動が行われているか知らない」の割合が27.0%と最も高く、次いで「健康状態や体力に不安がある」の割合が24.3%、「一緒に参加する友人や仲間がいない」の割合が16.0%となっています。



【障がい種別】

障がい種別にみると、他に比べ、愛の手帳所持者で「気軽に参加できる活動がない（または少ない）」「参加したくなるようなものがない」の割合が、身体障害者手帳所持者で「健康状態や体力に不安がある」の割合が高くなっています。

単位：％

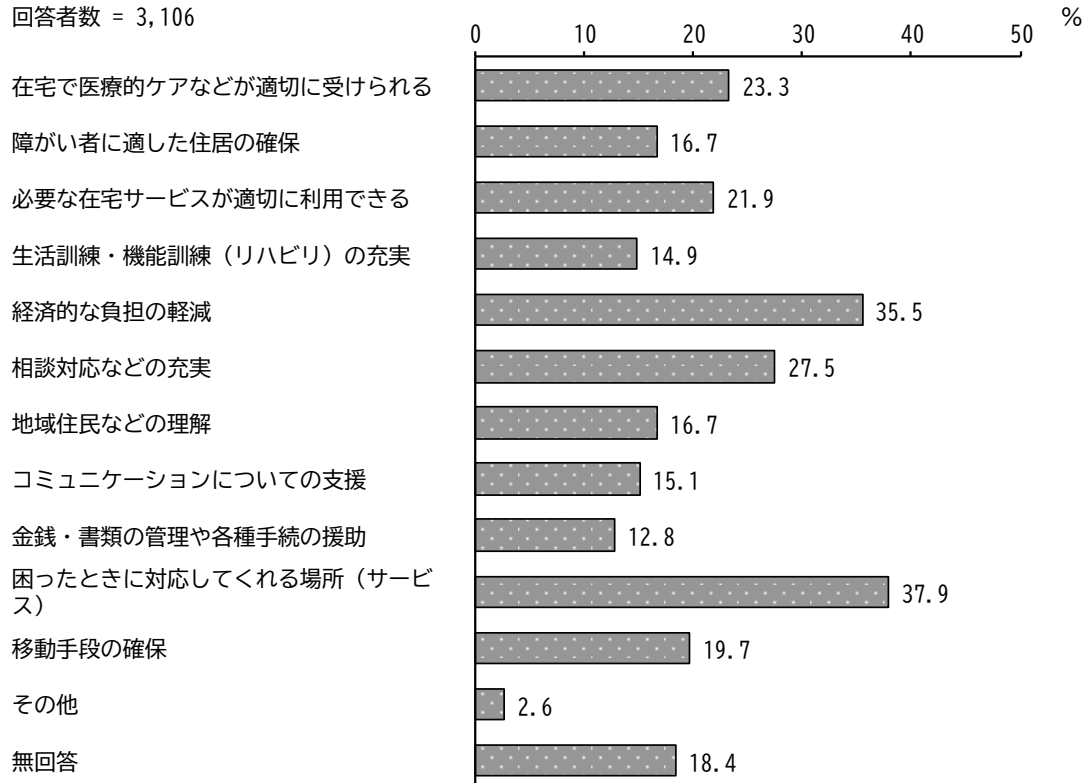
区分	回答者数(件)	どのような活動が行われているか知らない	費用や手間がかかる	気軽に参加できる活動がない(または少ない)	一緒に参加する友人や仲間がない	活動の中での役割がない	活動に必要な技術や経験に不安がある	家事や仕事などが忙しい	活動場所が近くにない
全体	3106	27.0	6.0	11.8	16.0	1.3	3.4	12.1	2.6
身体障害者手帳所持者	1245	22.3	2.7	9.9	11.3	1.4	2.4	8.8	2.7
愛の手帳所持者	267	27.0	4.1	21.0	19.5	2.2	7.1	6.7	5.2
精神障害者保健福祉手帳所持者	209	30.6	9.1	9.6	19.6	1.9	4.8	12.4	2.4
その他	835	33.4	11.3	13.2	22.3	1.3	3.7	15.8	2.3

区分	活動場所の施設や設備が障がいのある人の利用に配慮されていない	健康状態や体力に不安がある	参加したくなるようなものがない	過去に参加したが期待はずれだった	その他	妨げになることはない	地域活動には興味がない	無回答
全体	3.1	24.3	12.2	1.6	3.9	5.9	7.1	20.5
身体障害者手帳所持者	3.1	29.6	11.0	1.7	3.9	6.6	6.1	22.9
愛の手帳所持者	9.0	7.1	18.4	3.0	6.0	3.7	8.2	19.5
精神障害者保健福祉手帳所持者	1.0	23.4	17.2	2.9	4.8	4.3	10.0	18.7
その他	2.5	22.5	12.9	1.1	4.1	4.6	7.8	16.6

問 40 地域で生活するためには、どのような支援があればよいと思いますか。(いくつかでも○)

「困ったときに対応してくれる場所（サービス）」の割合が 37.9%と最も高く、次いで「経済的な負担の軽減」の割合が 35.5%、「相談対応などの充実」の割合が 27.5%となっています。

回答者数 = 3,106



【障がい種別】

障がい種別にみると、他に比べ、愛の手帳所持者で「地域住民などの理解」「コミュニケーションについての支援」の割合が、精神障害者保健福祉手帳所持者で「経済的な負担の軽減」の割合が高くなっています。

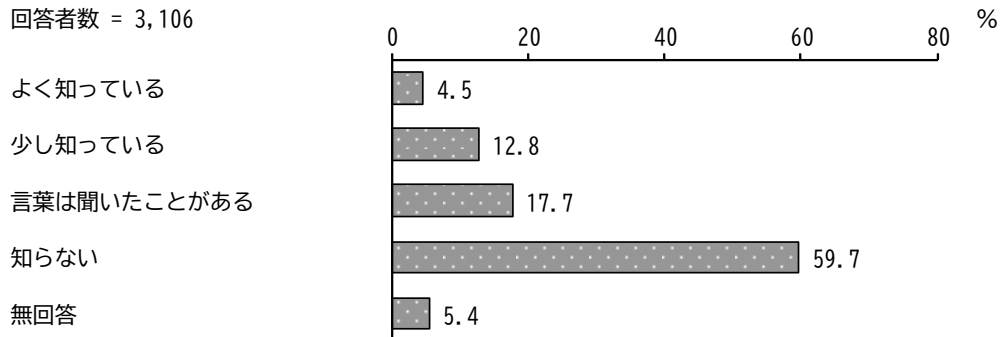
単位：％

区分	回答者数(件)	在宅で医療的ケアなどが適切に受けられる	障がい者に適した住居の確保	必要な在宅サービスが適切に利用できる	生活訓練・機能訓練(リハビリ)の充実	経済的な負担の軽減	相談対応などの充実
全 体	3106	23.3	16.7	21.9	14.9	35.5	27.5
身体障害者手帳所持者	1245	26.4	13.8	22.2	15.1	26.0	21.1
愛の手帳所持者	267	19.1	27.7	27.3	17.2	31.1	34.8
精神障害者保健福祉手帳所持者	209	14.8	24.4	17.7	11.0	53.6	40.7
その他	835	21.8	20.8	21.8	16.0	50.4	33.9

区分	地域住民などの理解	コミュニケーションについての支援	金銭・書類の管理や各種手続の援助	困ったときに対応してくれる場所(サービス)	移動手段の確保	その他	無回答
全 体	16.7	15.1	12.8	37.9	19.7	2.6	18.4
身体障害者手帳所持者	10.0	8.7	6.0	32.7	21.8	2.1	22.4
愛の手帳所持者	39.7	30.7	27.0	50.6	22.8	3.7	13.1
精神障害者保健福祉手帳所持者	23.4	25.4	24.9	44.0	13.4	1.9	11.0
その他	22.9	21.3	17.2	42.6	18.1	3.6	12.1

問 41 平成 28（2016）年 4 月 1 日に「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）」が施行されたことを知っていますか。（1 つに○）

「知らない」の割合が 59.7%と最も高く、次いで「言葉は聞いたことがある」の割合が 17.7%、「少し知っている」の割合が 12.8%となっています。



【障がい種別】

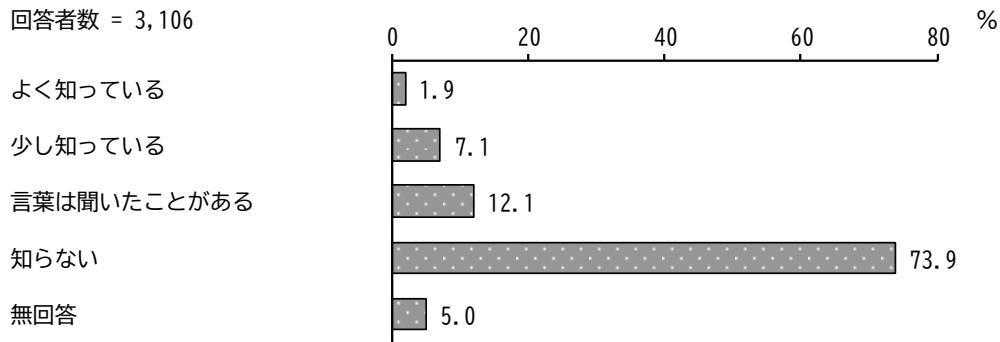
障がい種別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	よく 知っ てい る	少 し 知 っ て い る	言 葉 は 聞 い た こ と あ る	知 ら な い	無 回 答
全 体	3106	4.5	12.8	17.7	59.7	5.4
身体障害者手帳所持者	1245	4.3	13.3	18.3	58.0	6.1
愛の手帳所持者	267	8.6	13.5	18.0	55.1	4.9
精神障害者保健福祉手帳 所持者	209	5.3	15.8	20.6	55.5	2.9
その他	835	4.4	12.5	16.9	63.0	3.2

問 42 平成 30 (2018) 年 10 月 1 日に「障害のある人もない人も共に学び共に生きる社会を目指す小金井市条例 (小金井市障害者差別解消条例)」が施行されたことを知っていますか。(1つに○)

「知らない」の割合が 73.9%と最も高く、次いで「言葉は聞いたことがある」の割合が 12.1%となっています。



【障がい種別】

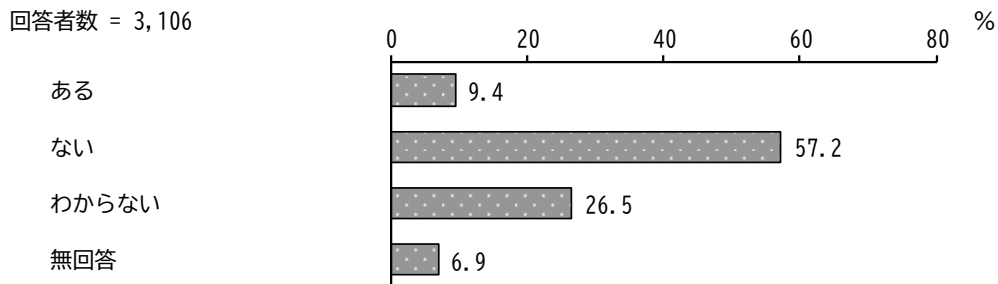
障がい種別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	よく知っている	少し知っている	言葉は聞いたことがある	知らない	無回答
全 体	3106	1.9	7.1	12.1	73.9	5.0
身体障害者手帳所持者	1245	1.8	8.6	14.0	70.8	4.8
愛の手帳所持者	267	4.9	12.4	14.2	63.7	4.9
精神障害者保健福祉手帳所持者	209	1.9	6.7	13.4	72.7	5.3
その他	835	1.3	4.8	9.5	81.4	3.0

問 43 市内で生活している中で、「これは差別している」「差別された」と感じた経験がありますか。(1つに〇)

「ない」の割合が57.2%と最も高く、次いで「わからない」の割合が26.5%となっています。



【障がい種別】

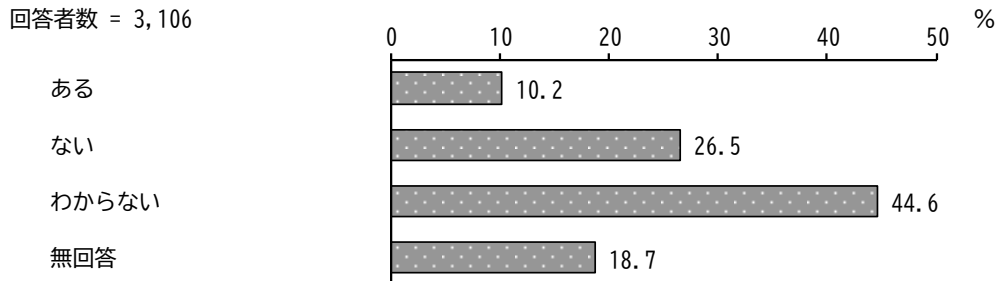
障がい種別にみると、他に比べ、愛の手帳所持者で「わからない」の割合が、身体障害者手帳所持者、**精神障害者保健福祉手帳所持者**で「ない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	ある	ない	わからない	無回答
全 体	3106	9.4	57.2	26.5	6.9
身体障害者手帳所持者	1245	5.5	64.0	23.0	7.6
愛の手帳所持者	267	22.5	28.8	41.6	7.1
精神障害者保健福祉手帳 所持者	209	16.7	45.9	30.1	7.2
その他	835	13.5	52.6	29.8	4.1

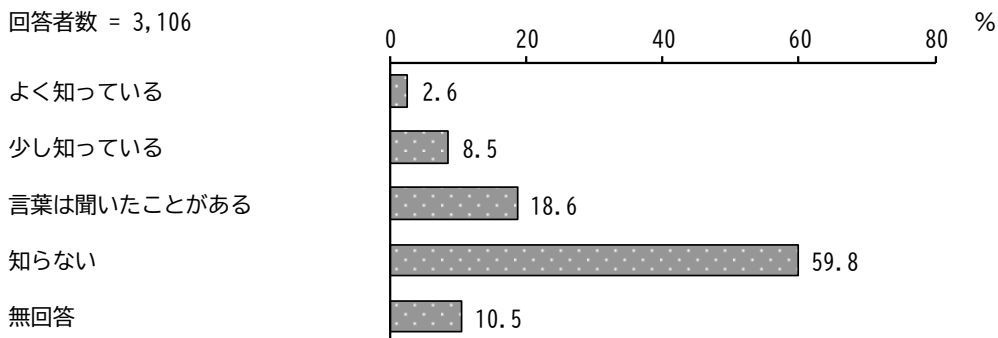
問 44 市内で生活をしていて、障がいがある人に対して「配慮されているな」と感じたことはありますか。(1つに○)

「わからない」の割合が44.6%と最も高く、次いで「ない」の割合が26.5%、「ある」の割合が10.2%となっています。



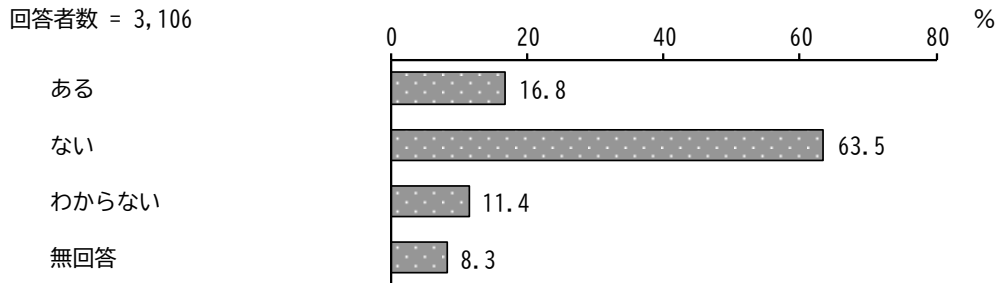
問 45 「障害者権利条約」について知っていますか。(1つに○)

「知らない」の割合が59.8%と最も高く、次いで「言葉は聞いたことがある」の割合が18.6%となっています。



問 46 これまでに虐待（暴言・暴力・嫌がらせ・お金をとられた・無視されたなど）を受けたと感じたことがありますか。（1つに〇）

「ない」の割合が63.5%と最も高く、次いで「ある」の割合が16.8%、「わからない」の割合が11.4%となっています。



【障がい種別】

障がい種別にみると、他に比べ、精神障害者保健福祉手帳所持者で「ある」の割合が、愛の手帳所持者で「わからない」の割合が、身体障害者手帳所持者で「ない」の割合が高くなっています。

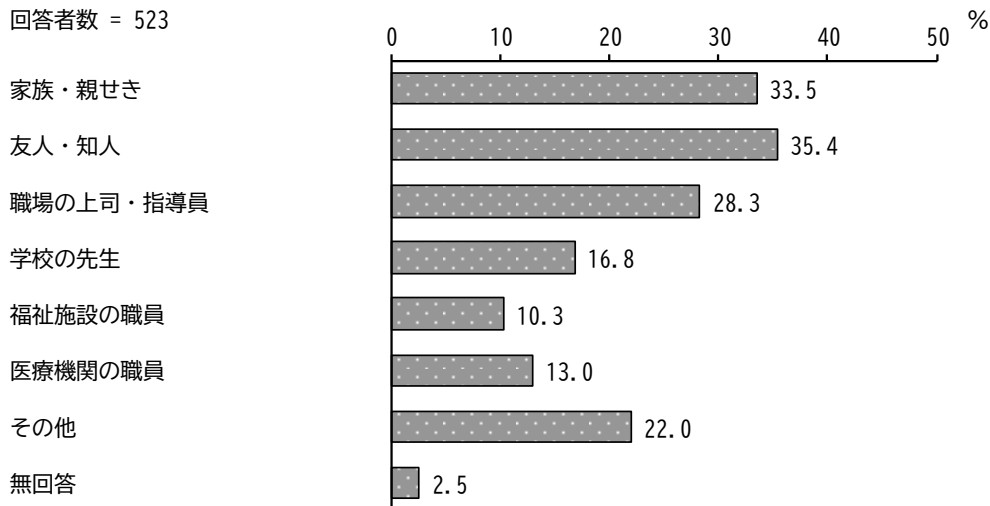
単位：%

区分	回答者数 (件)	ある	ない	わからない	無回答
全 体	3106	16.8	63.5	11.4	8.3
身体障害者手帳所持者	1245	7.1	75.7	7.2	9.9
愛の手帳所持者	267	17.2	48.7	26.6	7.5
精神障害者保健福祉手帳所持者	209	42.6	37.3	12.9	7.2
その他	835	30.8	50.2	14.7	4.3

問 46 で「ある」を選択した方にお聞きします。

問 46-1 それは、だれにされましたか。(いくつでも○)

「友人・知人」の割合が 35.4%と最も高く、次いで「家族・親せき」の割合が 33.5%、「職場の上司・指導員」の割合が 28.3%となっています。



【障がい種別】

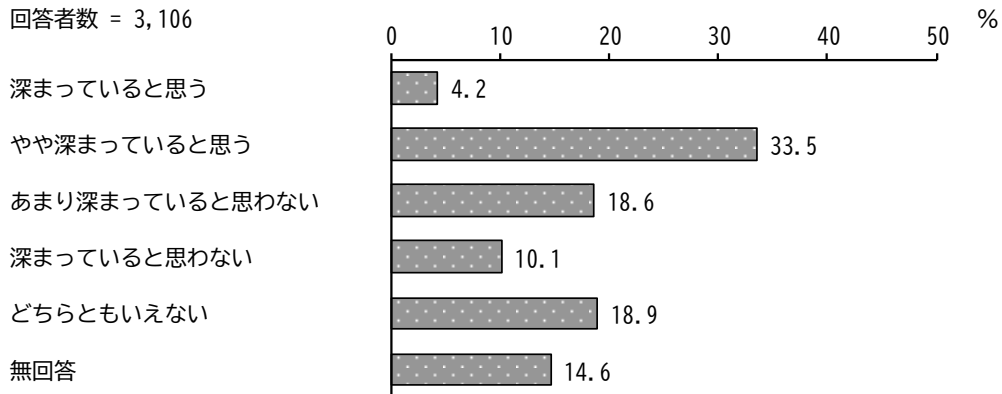
障がい種別にみると、他に比べ、身体障害者手帳所持者で「医療機関の職員」の割合が、愛の手帳所持者で「学校の先生」の割合が、精神障害者保健福祉手帳所持者で「家族・親せき」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	家族・親せき	友人・知人	職場の上司・指導員	学校の先生	福祉施設の職員	医療機関の職員	その他	無回答
全 体	523	33.5	35.4	28.3	16.8	10.3	13.0	22.0	2.5
身体障害者手帳所持者	89	18.0	22.5	22.5	6.7	10.1	22.5	36.0	3.4
愛の手帳所持者	46	30.4	37.0	13.0	26.1	10.9	13.0	19.6	—
精神障害者保健福祉手帳所持者	89	39.3	36.0	24.7	14.6	12.4	10.1	20.2	2.2
その他	257	36.2	41.2	33.9	19.8	9.7	12.5	20.2	1.9

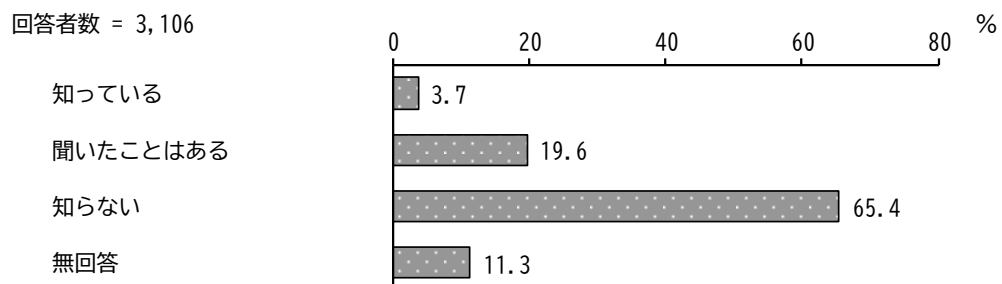
問 47 あなたは障がいのある人の地域活動や就職などの社会参加について、一般の理解が深まってきていると思いますか。(1つに○)

「やや深まっていると思う」の割合が33.5%と最も高く、次いで「どちらともいえない」の割合が18.9%、「あまり深まっていると思わない」の割合が18.6%となっています。



問 48 「小金井市地域自立支援協議会」を知っていますか。(1つに○)

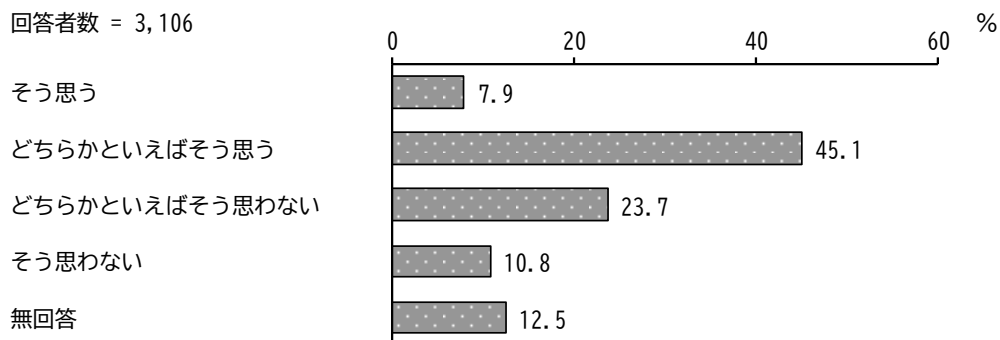
「知らない」の割合が65.4%と最も高く、次いで「聞いたことはある」の割合が19.6%となっています。



11 今後の暮らし方や障がい福祉施策全般について

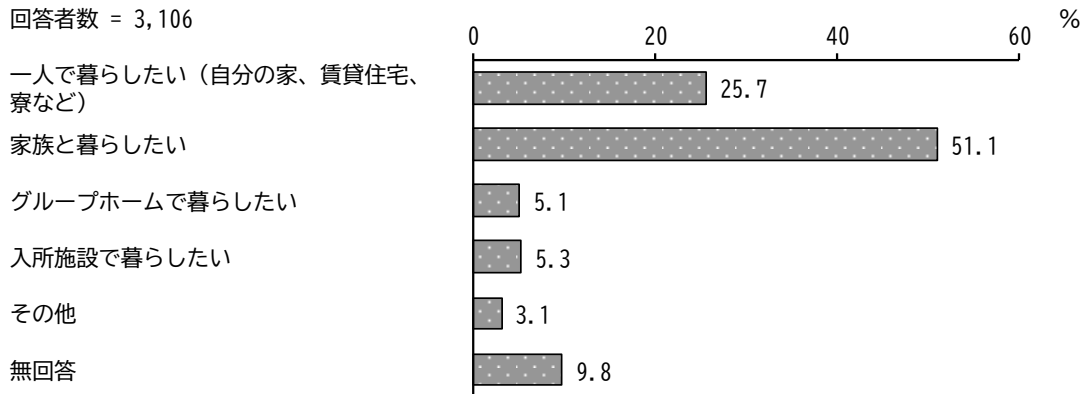
問 50 小金井市では、「誰もがいきいきと暮らすことのできるまち」の実現をめざしています。あなたは、小金井市は「誰もがいきいきと暮らすことのできるまち」だと思えますか。(1つに○)

「どちらかといえばそう思う」の割合が45.1%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」の割合が23.7%、「そう思わない」の割合が10.8%となっています。



問 51 あなたは将来、どのように暮らしたいですか。(最もあてはまるものに1つだけ○)

「家族と暮らしたい」の割合が51.1%と最も高く、次いで「一人で暮らしたい(自分の家、賃貸住宅、寮など)」の割合が25.7%となっています。



【障がい種別】

障がい種別にみると、他に比べ、精神障害者保健福祉手帳所持者で「一人で暮らしたい(自分の家、賃貸住宅、寮など)」の割合が、身体障害者手帳所持者で「家族と暮らしたい」の割合が、愛の手帳所持者で「グループホームで暮らしたい」の割合が高くなっています。

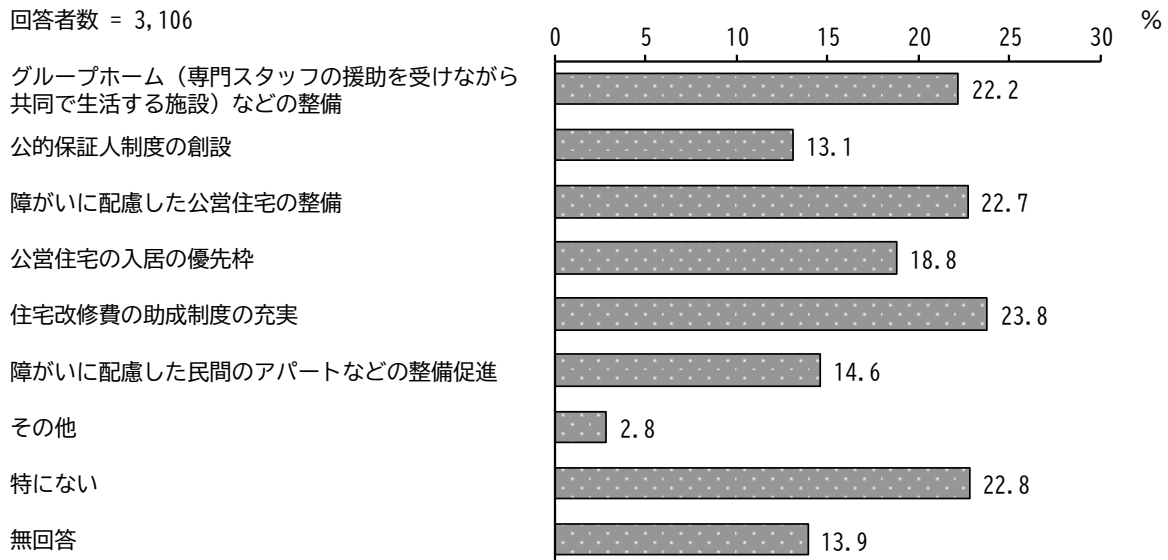
単位：%

区分	回答者数(件)	一人で暮らしたい (自分の家、賃貸住宅、寮など)	家族と暮らしたい	グループホームで暮らしたい	入所施設で暮らしたい	その他	無回答
全体	3106	25.7	51.1	5.1	5.3	3.1	9.8
身体障害者手帳所持者	1245	21.3	56.1	1.8	7.6	2.2	11.0
愛の手帳所持者	267	10.9	36.3	31.1	6.0	6.4	9.4
精神障害者保健福祉手帳所持者	209	39.7	41.1	2.4	3.3	4.3	9.1
その他	835	35.3	46.1	4.7	3.4	3.4	7.2

問 52 市の住宅対策として、今後特に望むことは何ですか。(3つまで○)

「住宅改修費の助成制度の充実」の割合が 23.8%と最も高く、次いで「特にない」の割合が 22.8%、「障がいに配慮した公営住宅の整備」の割合が 22.7%となっています。

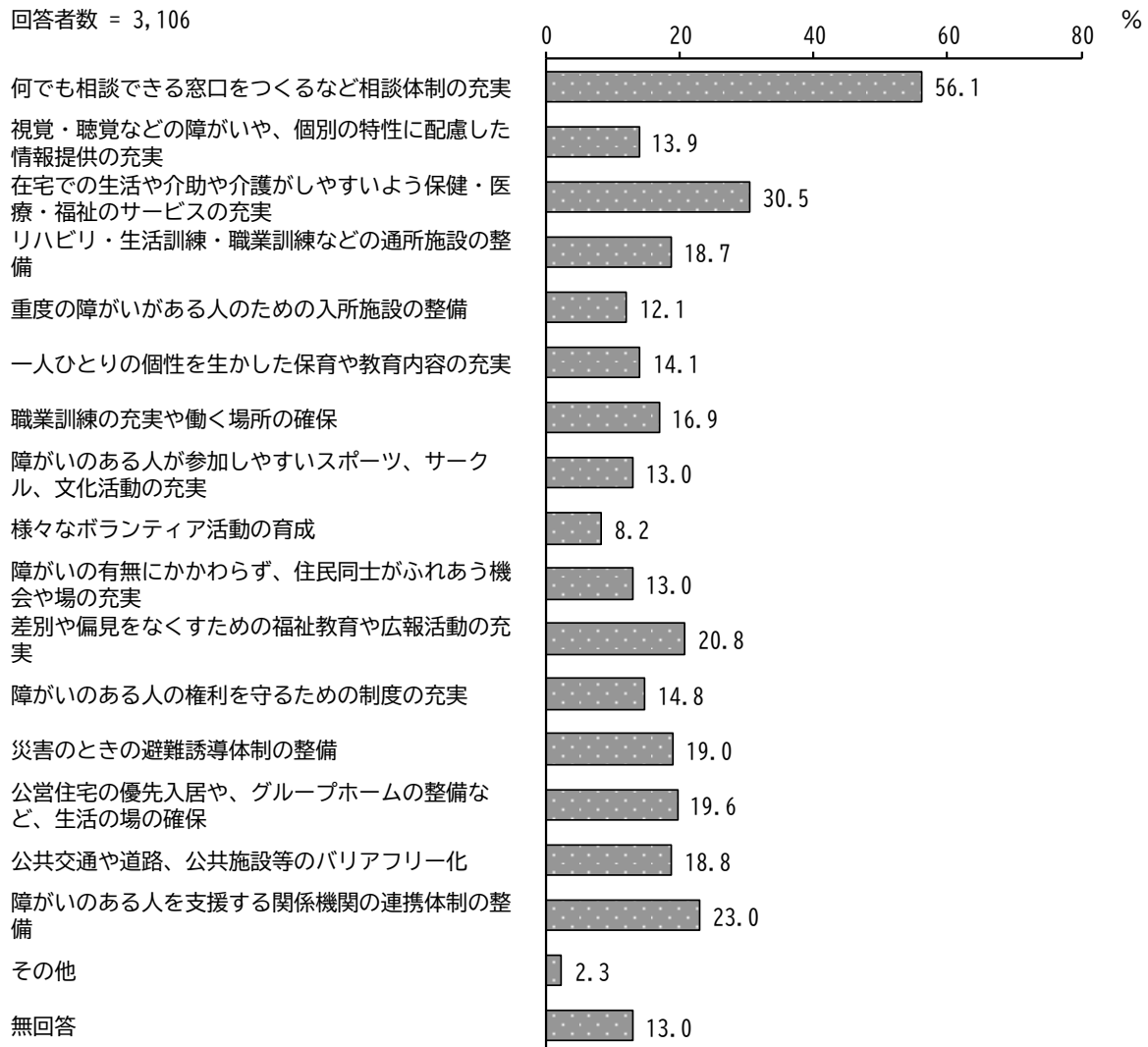
回答者数 = 3,106



問 53 障がいのある人にとって暮らしよいまちづくりのためには、どのようなことが必要だと考えますか。(5つまで〇)

「何でも相談できる窓口をつくるなど相談体制の充実」の割合が 56.1%と最も高く、次いで「在宅での生活や介助や介護がしやすいよう保健・医療・福祉のサービスの充実」の割合が 30.5%、「障がいのある人を支援する関係機関の連携体制の整備」の割合が 23.0%となっています。

回答者数 = 3,106



【障がい種別】

障がい種別にみると、他に比べ、愛の手帳所持者で「公営住宅の優先入居や、グループホームの整備など、生活の場の確保」「障がいのある人を支援する関係機関の連携体制の整備」「重度の障がいがある人のための入所施設の整備」の割合が、**精神障害者保健福祉手帳所持者で「差別や偏見をなくすための福祉教育や広報活動の充実」「障がいのある人の権利を守るための制度の充実」の割合が高くなっています。**

単位：%

区分	回答者数(件)	何でも相談できる窓口をつくるなど相談体制の充実	視覚・聴覚などの障がいや、個別の特性に配慮した情報提供の充実	在宅での生活や介助や介護がしやすいよう保健・医療・福祉のサービスの充実	リハビリ・生活訓練・職業訓練などの通所施設の整備	重度の障がいがある人のための入所施設の整備	一人ひとりの個性を生かした保育や教育内容の充実	職業訓練の充実や働く場所の確保	障がいのある人が参加しやすいスポーツ、サークル、文化活動の充実	様々なボランティア活動の育成
全体	3106	56.1	13.9	30.5	18.7	12.1	14.1	16.9	13.0	8.2
身体障害者手帳所持者	1245	53.0	17.2	36.1	19.3	13.3	6.7	9.2	13.1	7.6
愛の手帳所持者	267	50.6	9.0	22.8	16.1	23.6	17.2	23.6	22.5	10.1
精神障害者保健福祉手帳所持者	209	58.4	11.5	18.2	12.4	5.7	13.9	24.9	12.0	4.8
その他	835	61.8	12.1	23.8	18.7	9.3	23.1	25.1	12.8	7.7

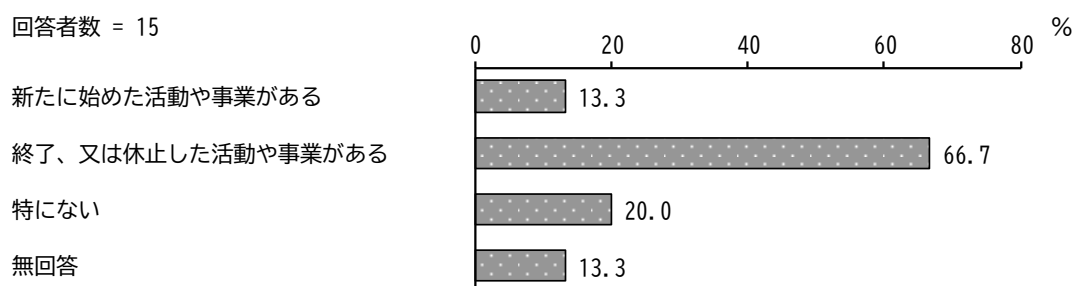
区分	障がいのある人が参加しやすい機会や場の充実	差別や偏見をなくすための福祉教育や広報活動の充実	障がいのある人の権利を守るための制度の充実	災害のときの避難誘導体制の整備	公営住宅の優先入居や、グループホームの整備など、生活の場の確保	公共交通や道路、公共施設等のバリアフリー化	障がいのある人を支援する関係機関の連携体制の整備	その他	無回答
全体	13.0	20.8	14.8	19.0	19.6	18.8	23.0	2.3	13.0
身体障害者手帳所持者	15.3	14.5	11.8	23.5	16.1	23.9	19.9	1.9	14.7
愛の手帳所持者	9.7	24.3	19.5	15.7	35.6	6.4	36.3	3.4	9.4
精神障害者保健福祉手帳所持者	11.5	29.7	25.4	10.5	22.5	8.6	33.5	2.9	15.8
その他	12.5	26.7	18.2	15.1	20.8	12.6	24.1	3.1	9.8

関係団体

1 団体活動の状況について

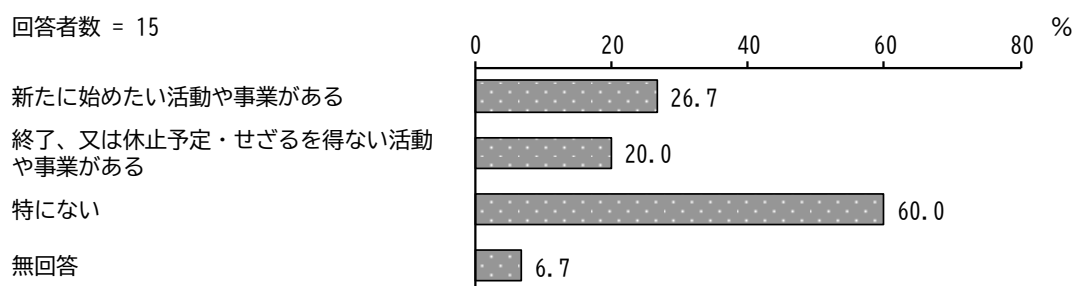
問2 貴団体において、この3年間（概ね令和2（2020）年以降）、新たに始めた活動や事業はありますか。一方、終了又は休止している活動や事業はありましたか。（いくつでも○）

「終了、又は休止した活動や事業がある」の割合が66.7%と最も高く、次いで「特にない」の割合が20.0%、「新たに始めた活動や事業がある」の割合が13.3%となっています。



問3 貴団体において今後3年程度の間で新たに取り組みたい活動や事業、一方、終了又は休止を検討している活動や事業はありますか。（いくつでも○）

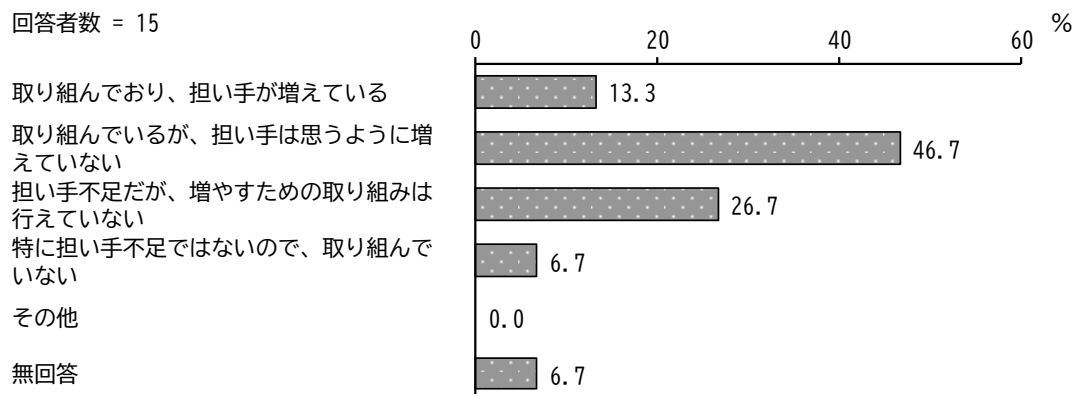
「特にない」の割合が60.0%と最も高くなっていますが、「新たに始めたい活動や事業がある」の割合が26.7%、「終了、又は休止予定・せざるを得ない活動や事業がある」の割合が20.0%となっています。



問4 貴団体では担い手を増やすための取り組みを行っていますか。(1つに○)

「取り組んでいるが、担い手は思うように増えていない」の割合が46.7%と最も高く、次いで「担い手不足だが、増やすための取り組みは行えていない」の割合が26.7%、「取り組んでおり、担い手が増えている」の割合が13.3%となっています。

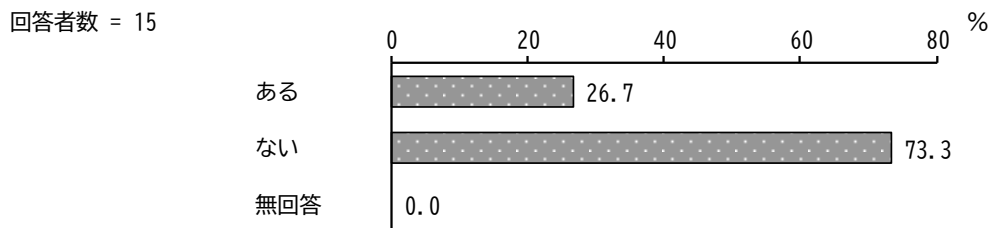
回答者数 = 15



2 障がい者の権利擁護について

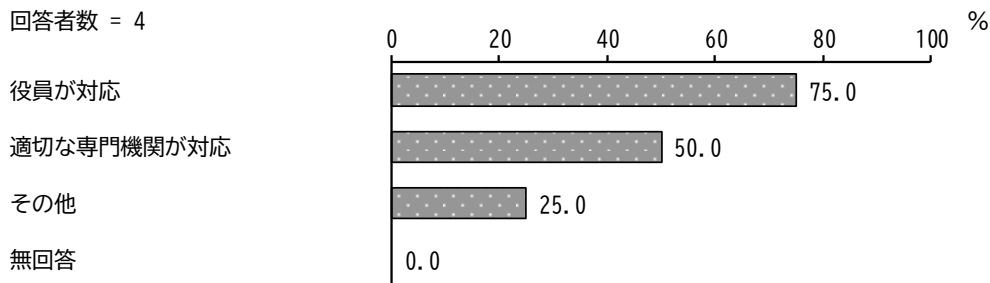
問5 平成28(2016)年4月1日に「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律(障害者差別解消法)」が施行され、平成30(2018)年10月1日に「障害のある人もない人も共に学び共に生きる社会を目指す小金井市条例(小金井市差別解消条例)」が施行されましたが、貴団体では会員やメンバー等から差別に関する相談を受けましたことがありますか。(1つに○)

「ある」の割合が26.7%、「ない」の割合が73.3%となっています。



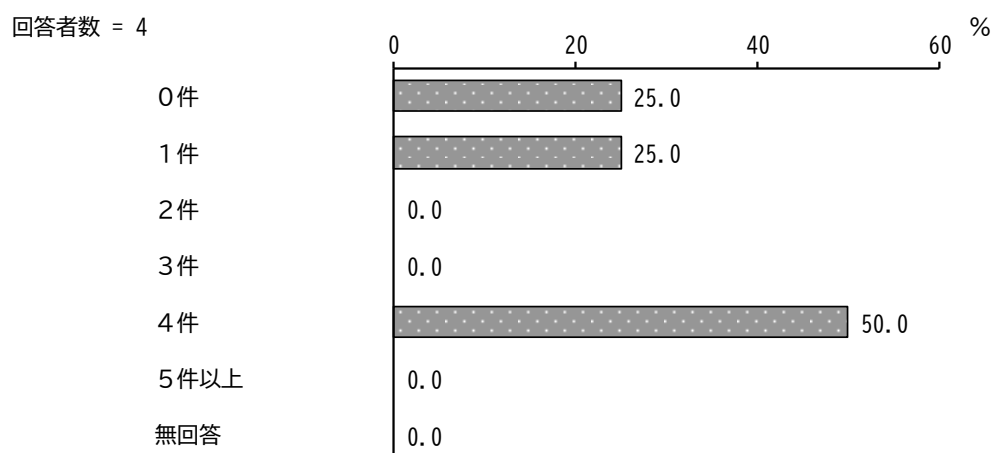
問5-1 差別に関する相談に関してどのように対応していますか。(いくつでも○)

「役員が対応」が3件、「適切な専門機関が対応」が2件となっています。



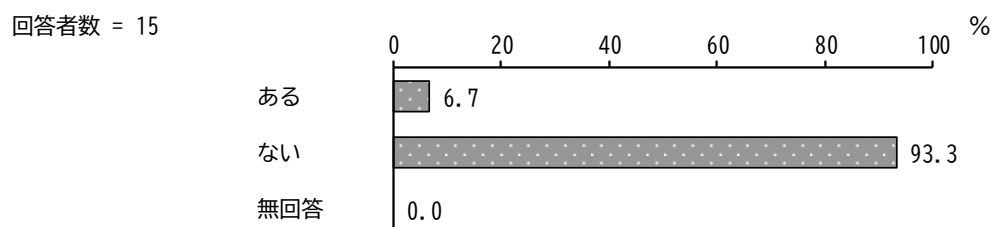
問5-2 この3年間（令和2（2020）年1月～令和4（2022）年12月）の差別に関する相談は何件（実件数）ありましたか。（数値で記入）

「4件」が2件、「0件」、「1件」が1件となっています。



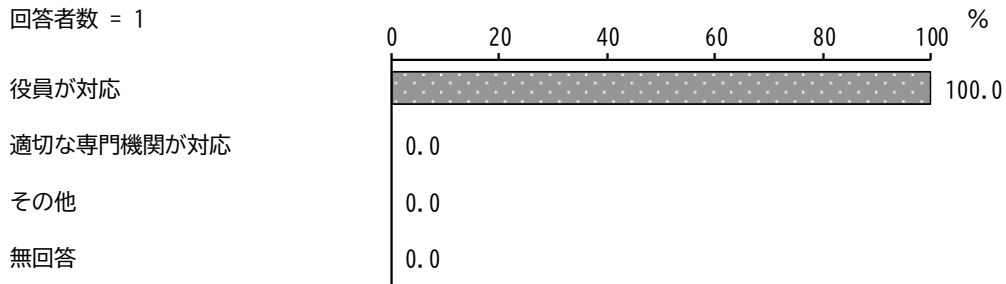
問6 貴団体では会員やメンバー等から虐待に関する相談を受けたことがありますか。（1つに○）

「ある」の割合が6.7%、「ない」の割合が93.3%となっています。



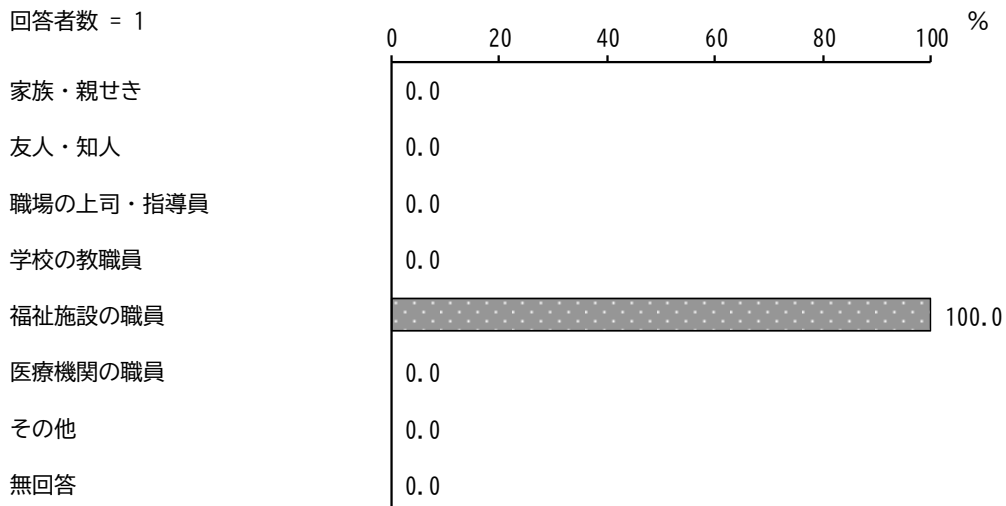
問6-1 虐待に関する相談に関してどのように対応していますか。(いくつでも○)

「役員が対応」が1件となっています。



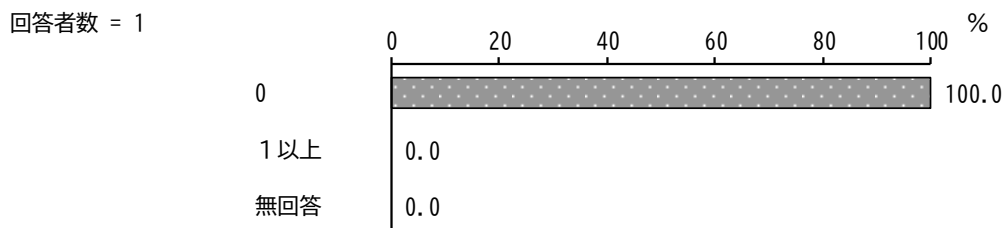
問6-2 相談は誰からの虐待でしたか。(いくつでも○)

「福祉施設の職員」が1件となっています。



問6-3 この3年間（令和2（2020）年1月～令和4（2022）年12月）の虐待に関する相談は何件（実件数）ありましたか。(数値で記入)

「0」が1件となっています。この3年間ではありませんでした。

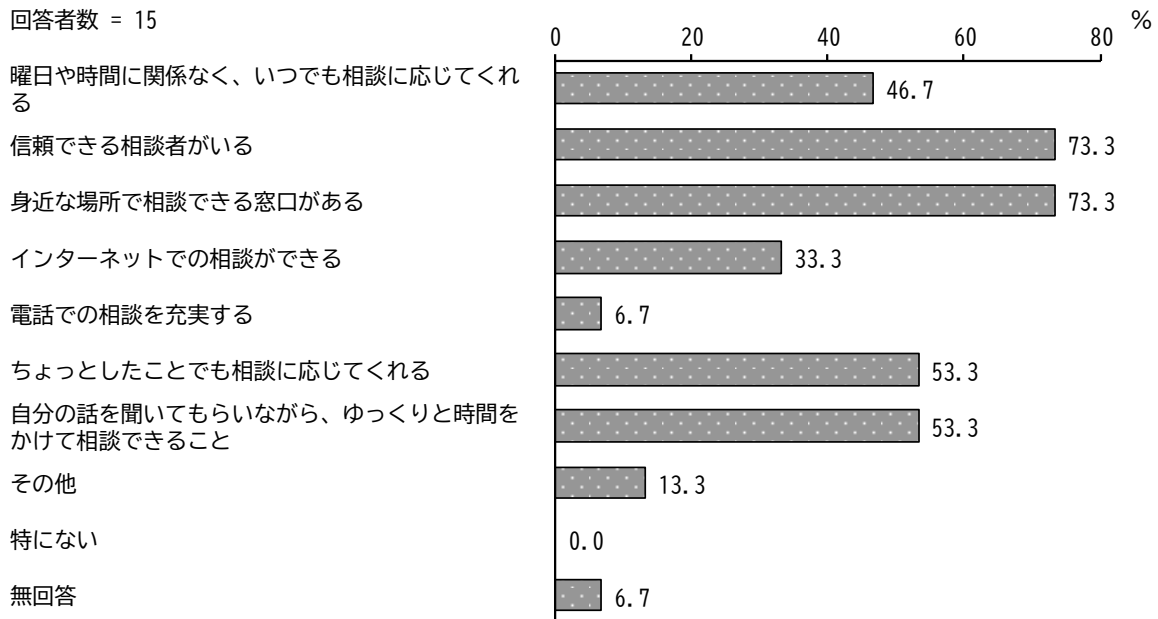


3 障がい者福祉施策について

問7 障がいのある方が相談しやすい体制をつくるためには、どのようなことが必要だと思いますか。(いくつでも○)

「信頼できる相談者がいる」、「身近な場所で相談できる窓口がある」の割合が73.3%と最も高く、次いで「ちょっとしたことでも相談に応じてくれる」、「自分の話を聞いてもらいながら、ゆっくりと時間をかけて相談できること」の割合が53.3%となっています。

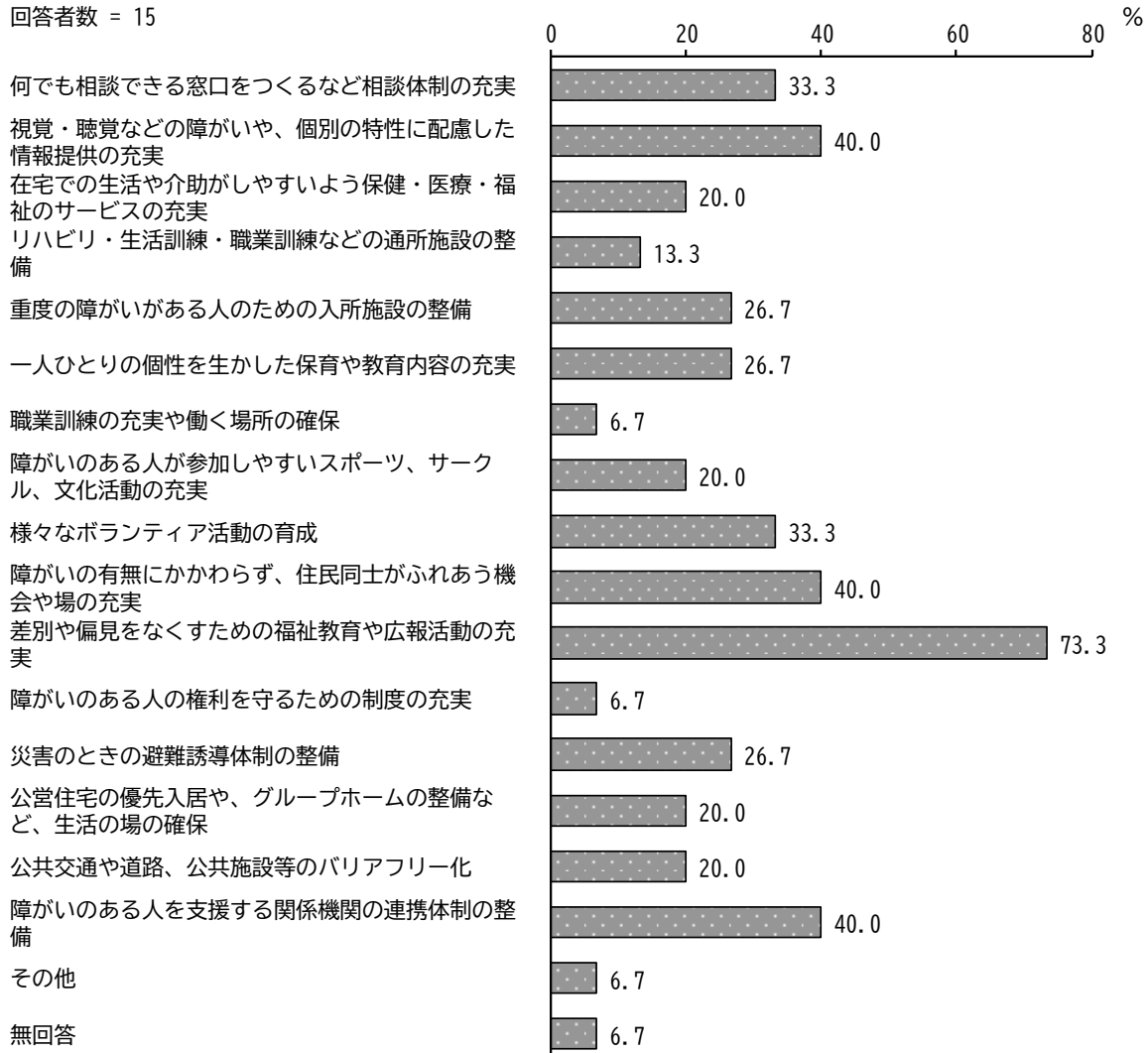
回答者数 = 15



問8 障がいのある人にとって暮らしよいまちづくりのためには、どのようなことが必要だと考えますか。(5つまで○)

「差別や偏見をなくすための福祉教育や広報活動の充実」の割合が73.3%と最も高く、次いで「視覚・聴覚などの障がいや、個別の特性に配慮した情報提供の充実」、「障がいの有無にかかわらず、住民同士がふれあう機会や場の充実」、「障がいのある人を支援する関係機関の連携体制の整備」の割合が40.0%となっています。

回答者数 = 15

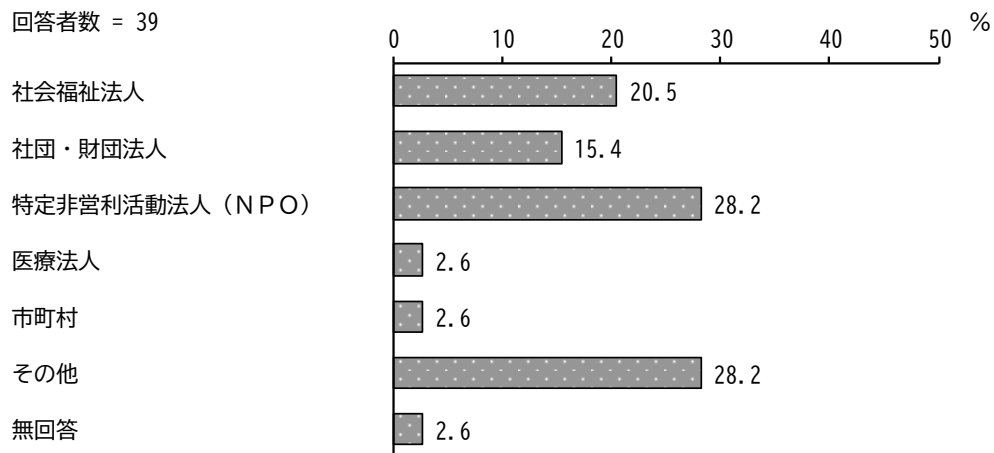


事業所

1 事業所について

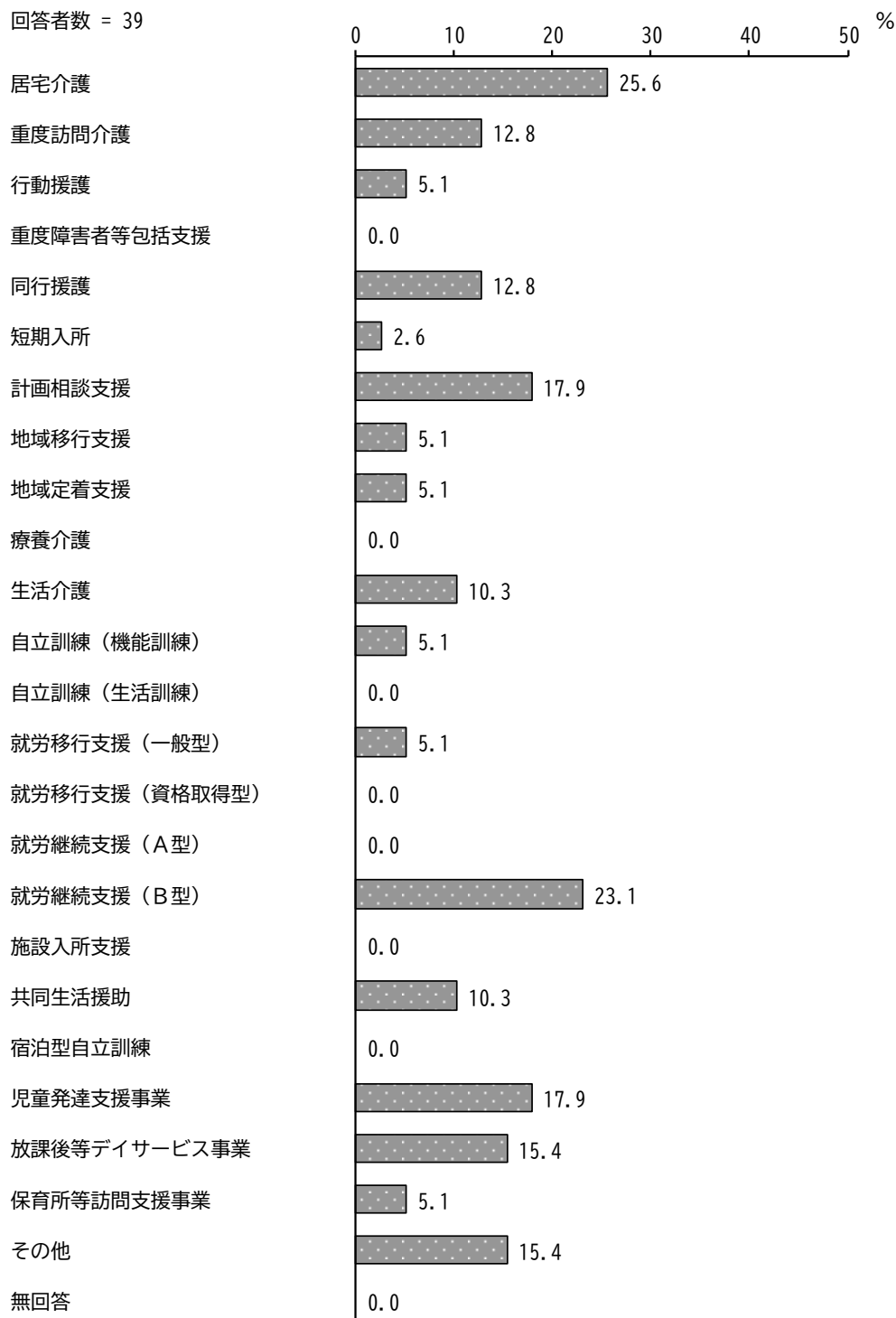
問1 貴事業所の運営主体は次のどれですか。(1つに○)

「特定非営利活動法人（NPO）」の割合が 28.2%と最も高く、次いで「社会福祉法人」の割合が 20.5%、「社団・財団法人」の割合が 15.4%となっています。



問2 貴事業所で実施している障がい福祉サービスは次のどれですか。(いくつでも○)

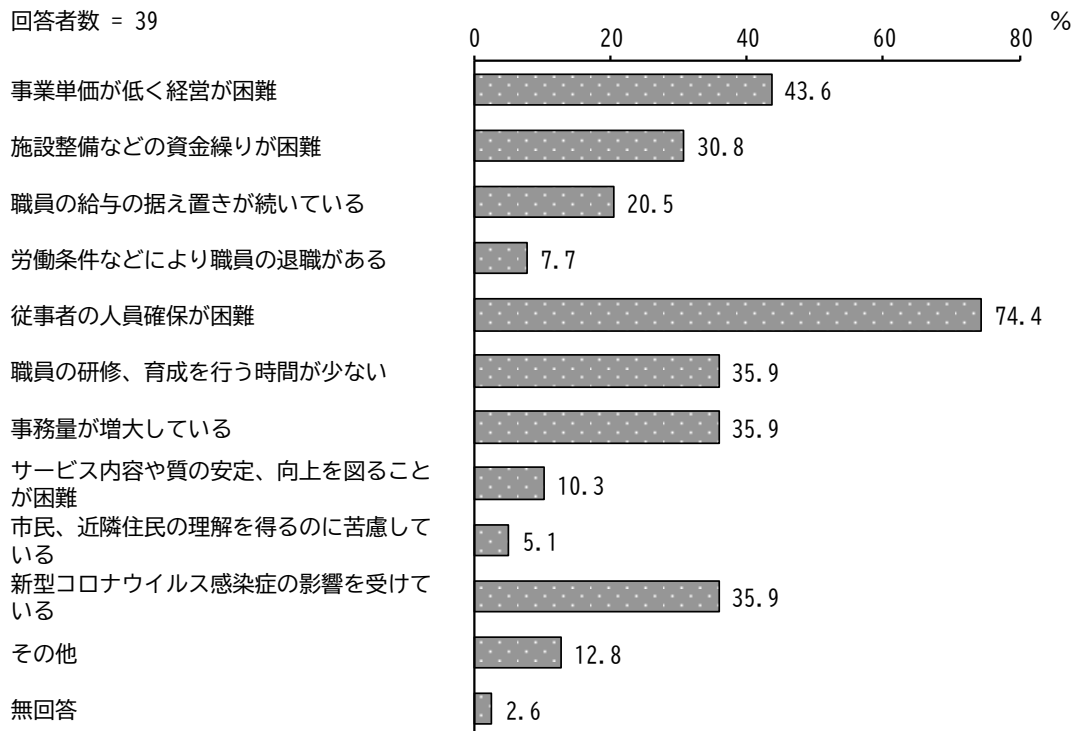
「居宅介護」の割合が 25.6%と最も高く、次いで「就労継続支援（B型）」の割合が 23.1%、「計画相談支援」、「児童発達支援事業」の割合が 17.9%となっています。



2 運営やサービス提供について

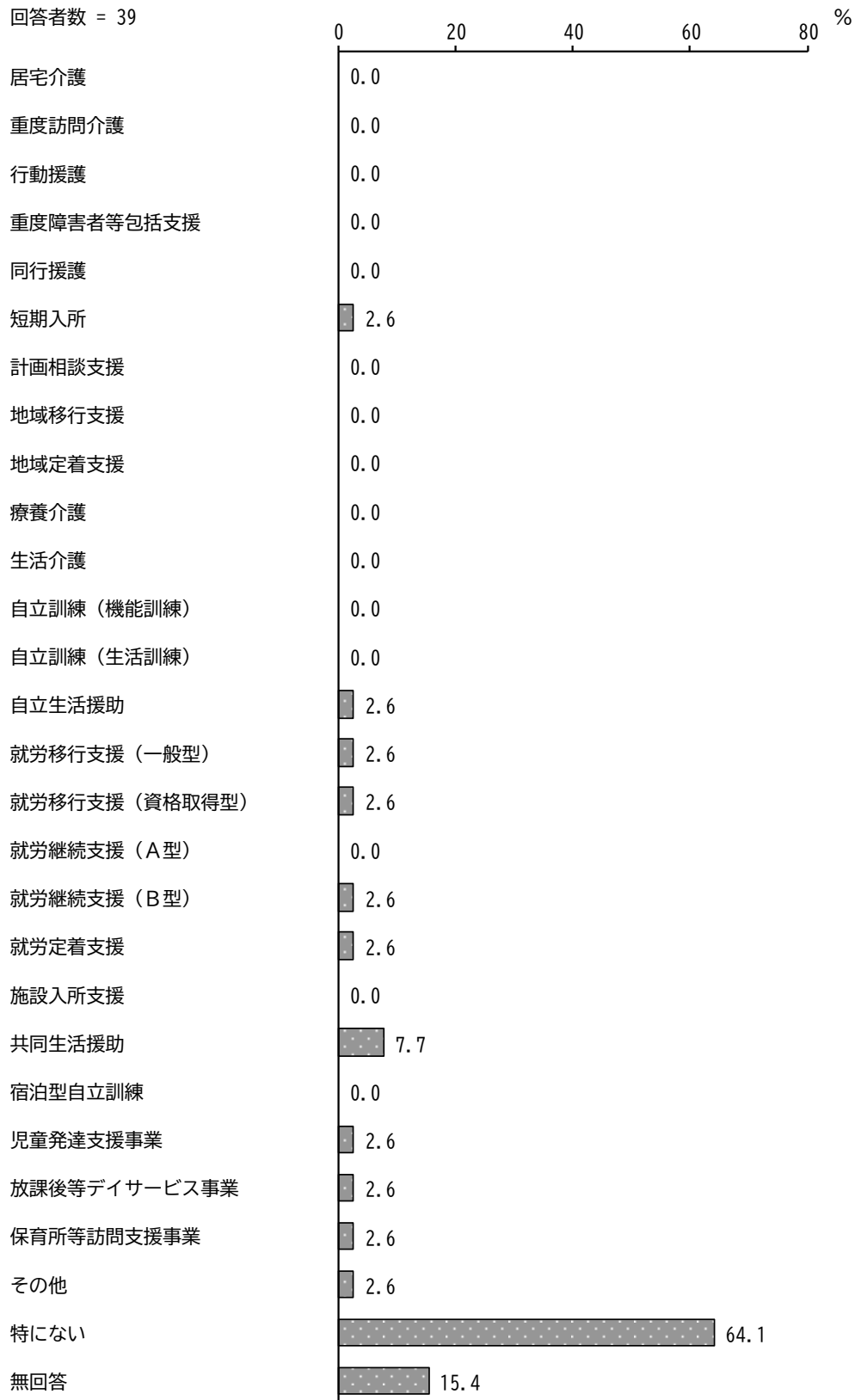
問3 貴施設・事業所の経営状況はどのような状況ですか。(いくつでも○)

「従事者の人員確保が困難」の割合が74.4%と最も高く、次いで「事業単価が低く経営が困難」の割合が43.6%、「職員の研修、育成を行う時間が少ない」、「事務量が増大している」の割合が35.9%となっています。



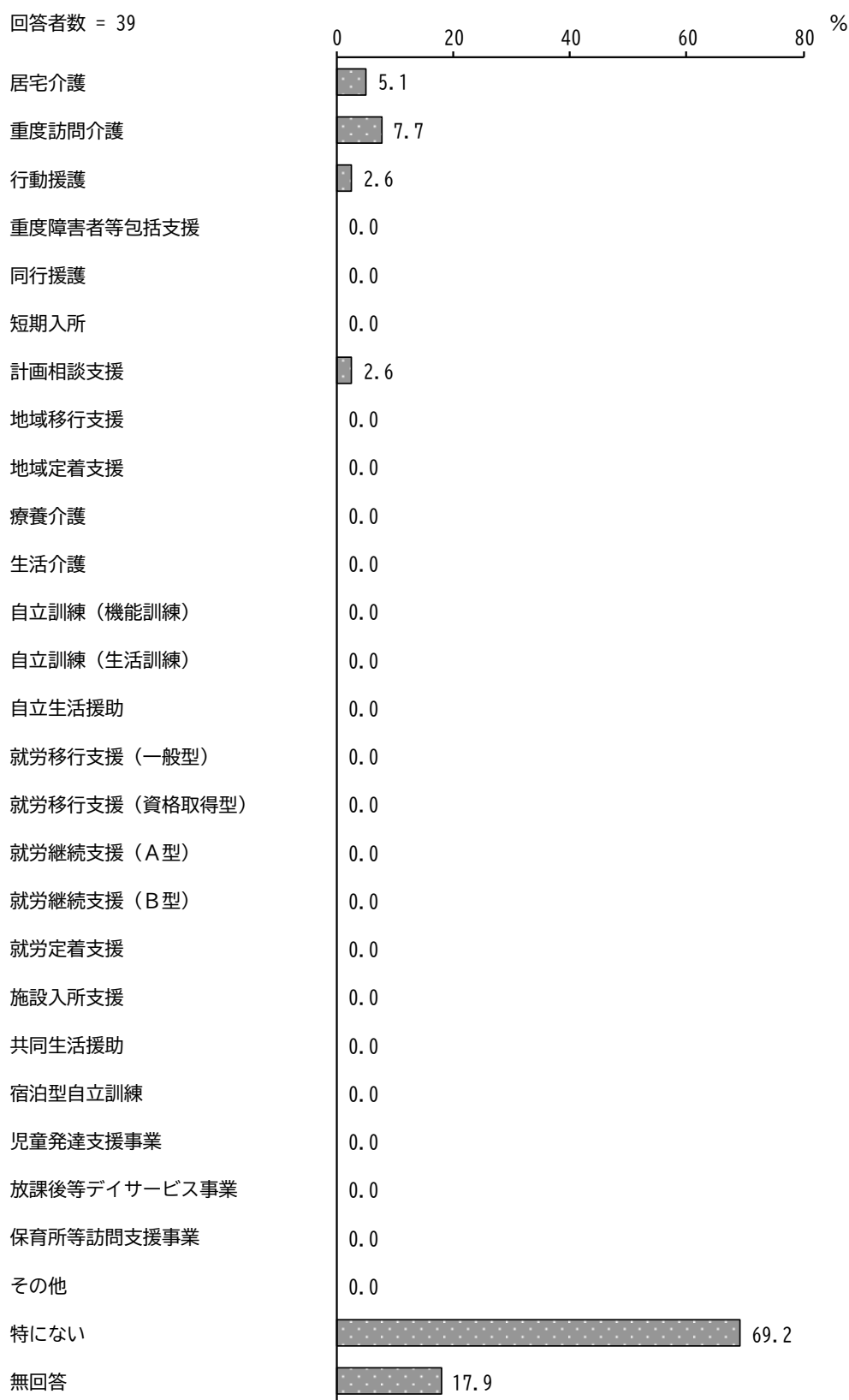
問4 貴事業所において、今後3年程度の間で新たな事業を検討している障害福祉サービスはありますか。(いくつでも○)

「特にない」の割合が64.1%と最も高くなっています。



問5 貴事業所において、今後3年程度の間で休止を検討している障害福祉サービスはありますか。(いくつでも○)

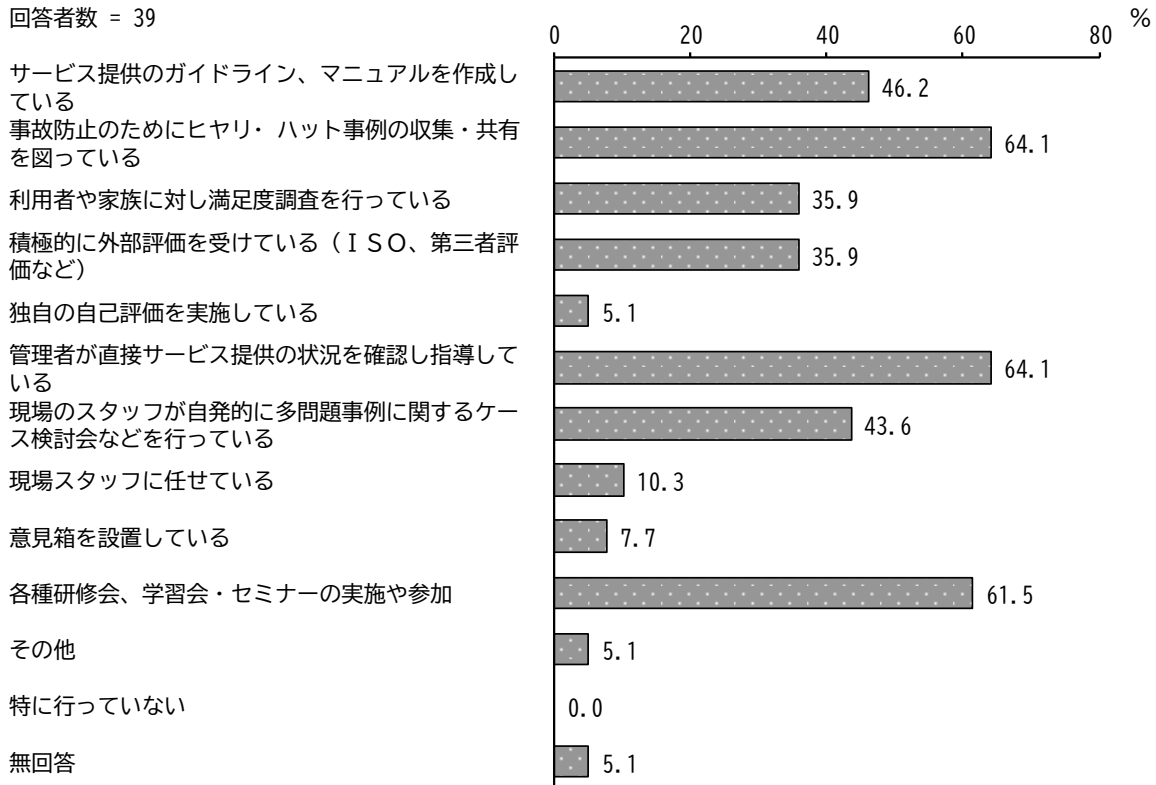
「特にない」の割合が69.2%と最も高くなっています。



問6 貴事業所ではサービスの質の向上のために、どのような取り組みを行っていますか。（いくつでも○）

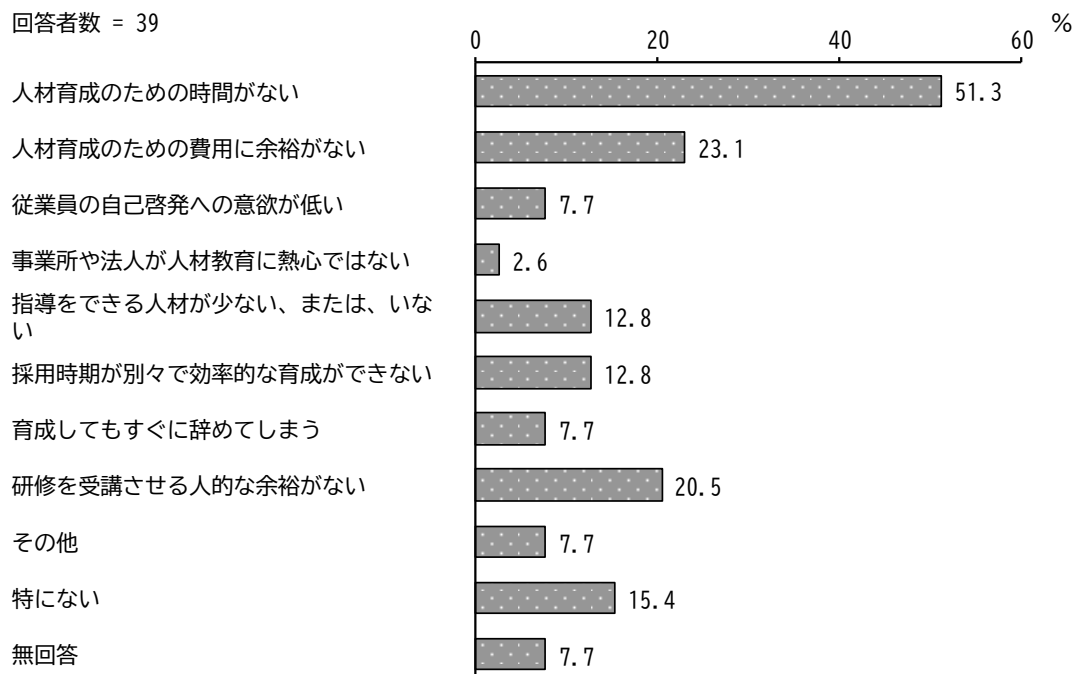
「事故防止のためにヒヤリ・ハット事例の収集・共有を図っている」、「管理者が直接サービス提供の状況を確認し指導している」の割合が64.1%と最も高く、次いで「各種研修会、学習会・セミナーの実施や参加」の割合が61.5%となっています。

回答者数 = 39



問7 スタッフの研修・教育等に関して困っていることは何ですか。(いくつでも○)

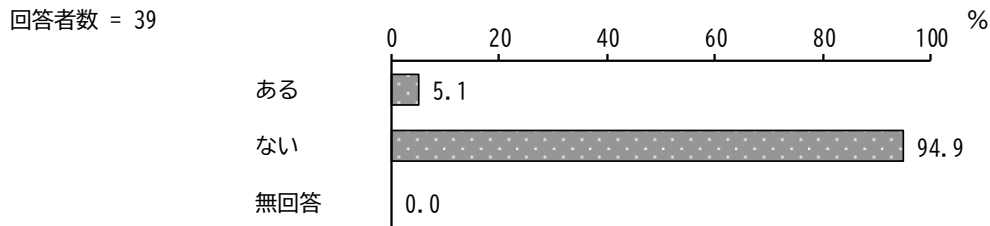
「人材育成のための時間がない」の割合が51.3%と最も高く、次いで「人材育成のための費用に余裕がない」の割合が23.1%、「研修を受講させる人的な余裕がない」の割合が20.5%となっています。



3 権利擁護・相談支援について

問8 平成28(2016)年4月1日に「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律(障害者差別解消法)」が施行され、平成30(2018)年10月1日に「障害のある人もない人も共に学び共に生きる社会を目指す小金井市条例(小金井市差別解消条例)」が施行されましたが、貴事業所では利用者等から差別に関する相談を受けたことがありますか。

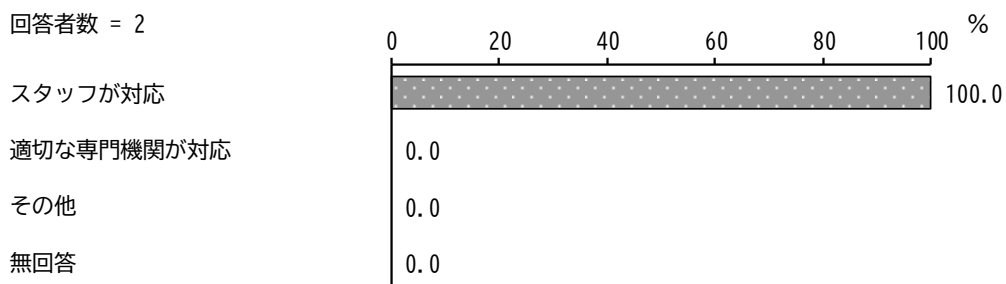
「ある」の割合が5.1%、「ない」の割合が94.9%となっています。



問8で「ある」と回答した方に伺います。

問8-1 差別に関する相談に関してどのように対応していますか。(いくつでも○)

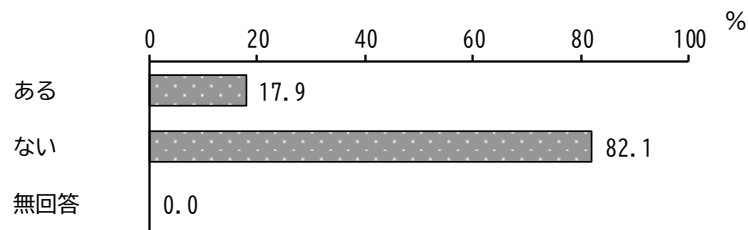
回答があった「スタッフが対応」が2件となっています。



問9 貴事業所では利用者等から虐待に関する相談を受けたことがありますか。(1つに○)

「ある」の割合が17.9%、「ない」の割合が82.1%となっています。

回答者数 = 39

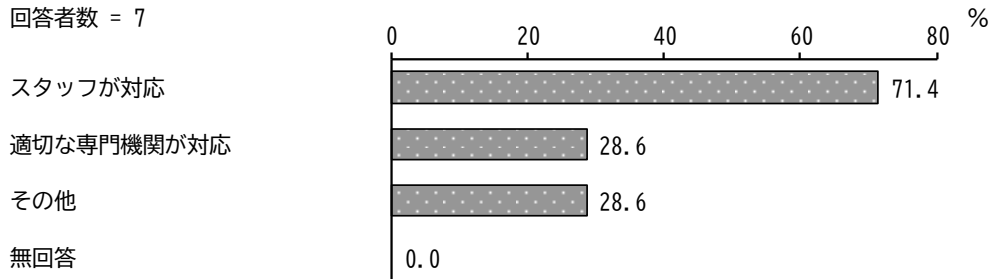


問9で「ある」と回答した方に伺います。

問9-1 虐待に関する相談に関してどのように対応していますか。(いくつでも○)

「スタッフが対応」が5件、「適切な専門機関が対応」が2件となっています。

回答者数 = 7

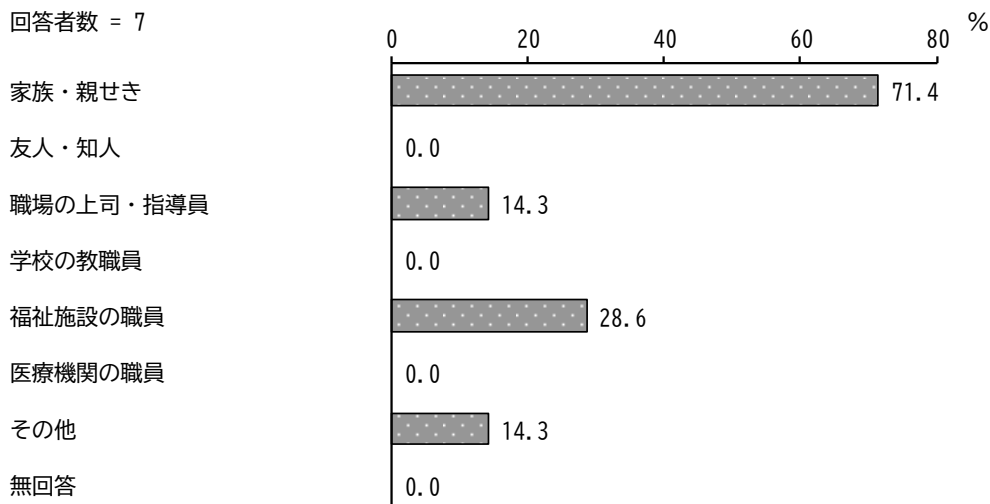


問9で「ある」と回答した方に伺います。

問9-2 相談は誰からの虐待でしたか。(いくつでも○)

「家族・親せき」が5件となっています。「福祉施設の職員」が2件、「職場の上司・指導員」が1件となっています。

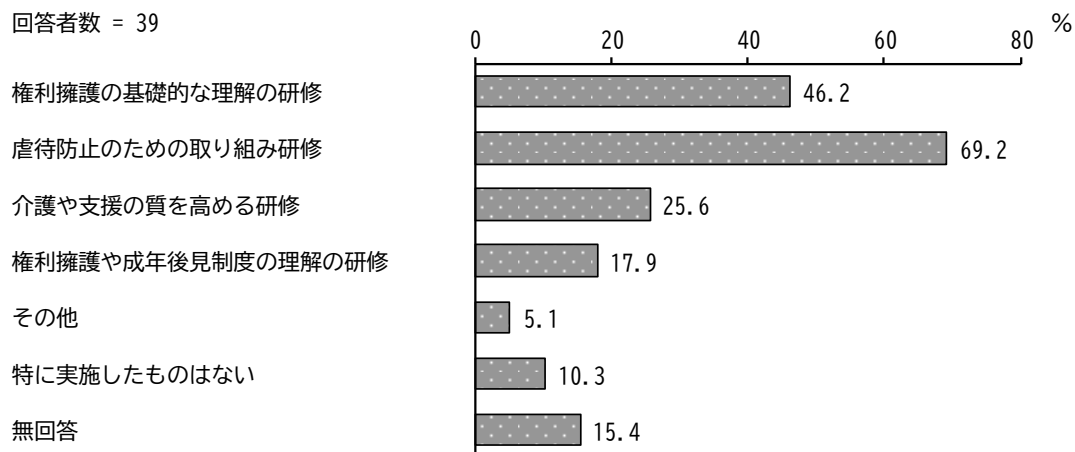
回答者数 = 7



問10 職員に対する権利擁護支援に関する研修として、貴事業所でこれまでに実施したものがありませんか。外部の研修の受講なども含めてください。(いくつでも○)

「虐待防止のための取り組み研修」の割合が69.2%と最も高く、次いで「権利擁護の基礎的な理解の研修」の割合が46.2%、「介護や支援の質を高める研修」の割合が25.6%となっています。

回答者数 = 39

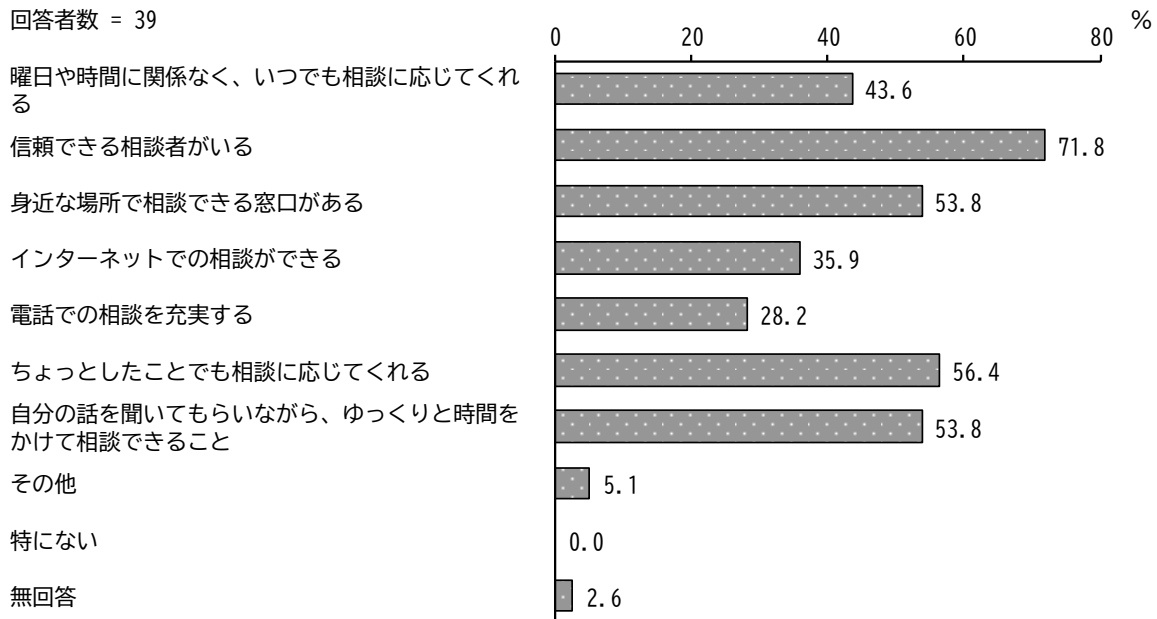


4 障がい者福祉施策について

問 11 障がいのある方が相談しやすい体制をつくるためには、どのようなことが必要だと思いますか。(いくつでも○)

「信頼できる相談者がいる」の割合が 71.8%と最も高く、次いで「ちょっとしたことでも相談に応じてくれる」の割合が 56.4%、「身近な場所で相談できる窓口がある」、「自分の話を聞いてもらいながら、ゆっくりと時間をかけて相談できること」の割合が 53.8%となっています。

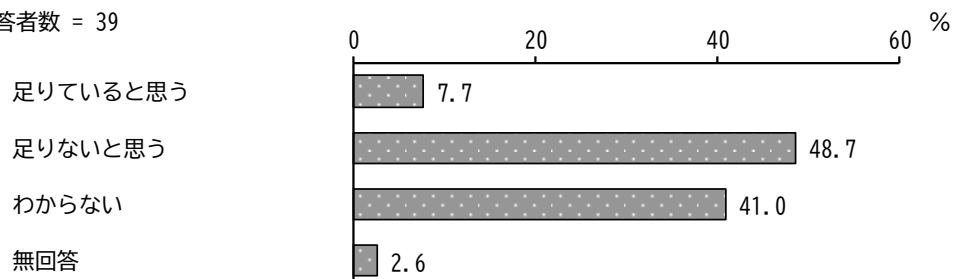
回答者数 = 39



問 12 小金井市で障がいのある人が生活するうえで、障害者総合支援法や児童福祉法によるサービスは足りていると思いますか。(1つに○)

「足りないと思う」の割合が 48.7%と最も高く、次いで「わからない」の割合が 41.0%となっています。

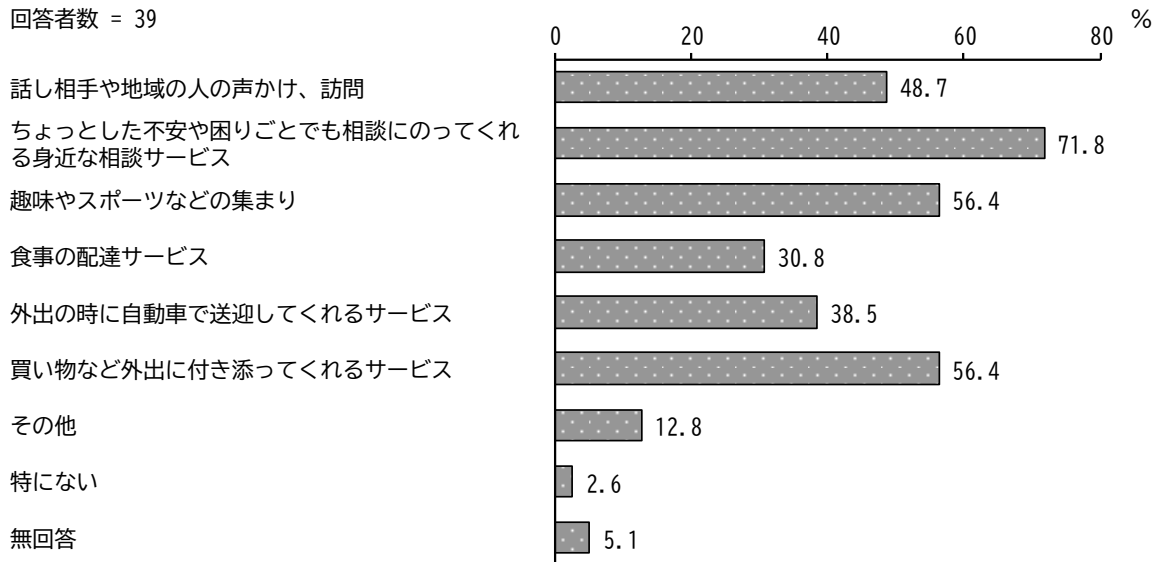
回答者数 = 39



問13 障がいのある人がその人らしく地域で生活するために、障害者総合支援法や児童福祉法によるサービス以外で特に必要と思われる支援はありますか。(いくつでも○)

「ちょっとした不安や困りごとでも相談にのってくれる身近な相談サービス」の割合が71.8%と最も高く、次いで「趣味やスポーツなどの集まり」、「買い物など外出に付き添ってくれるサービス」の割合が56.4%となっています。

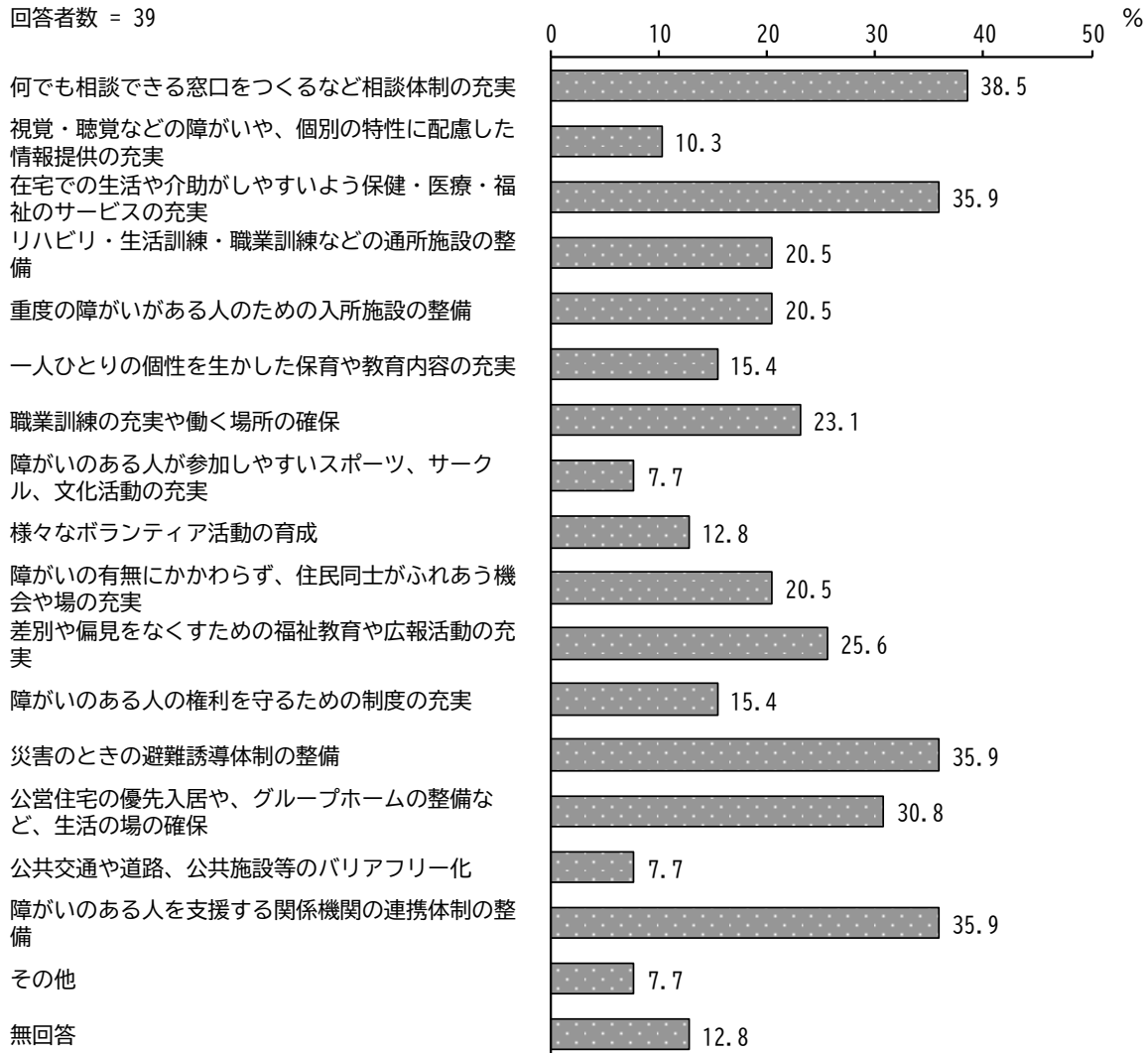
回答者数 = 39



問 14 障がいのある人にとって暮らしよいまちづくりのためには、どのようなことが必要だと考えますか。(5つまで〇)

「何でも相談できる窓口をつくるなど相談体制の充実」の割合が 38.5%と最も高く、次いで「在宅での生活や介助がしやすいよう保健・医療・福祉のサービスの充実」、「災害のときの避難誘導體制の整備」、「障がいのある人を支援する関係機関の連携体制の整備」の割合が 35.9%となっています。

回答者数 = 39



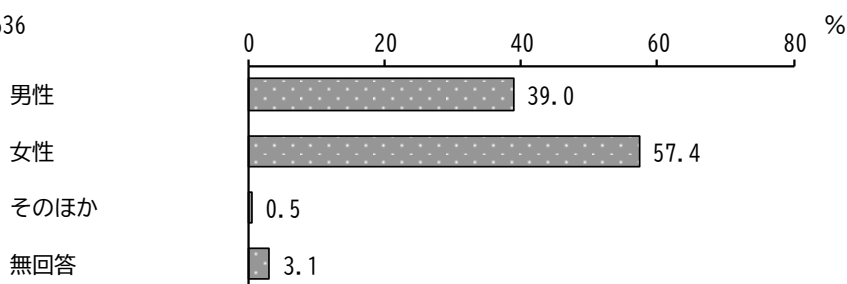
一般市民

1 回答者属性

F 1 あなたの性別はどちらですか。(1つに○)

「女性」の割合が57.4%、「男性」の割合が39.0%となっています。

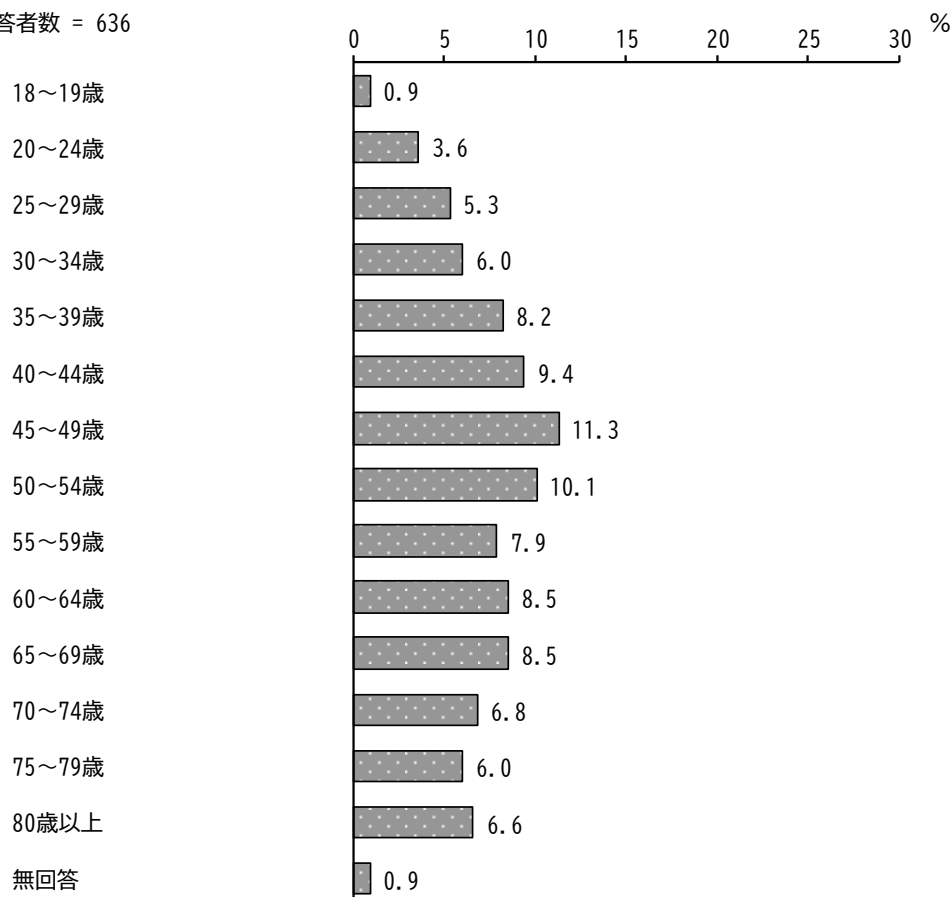
回答者数 = 636



F 2 あなたの年齢（令和4（2022）年12月1日現在）は次のどれですか。(1つに○)

「45～49歳」の割合が11.3%と最も高く、次いで「50～54歳」の割合が10.1%となっています。

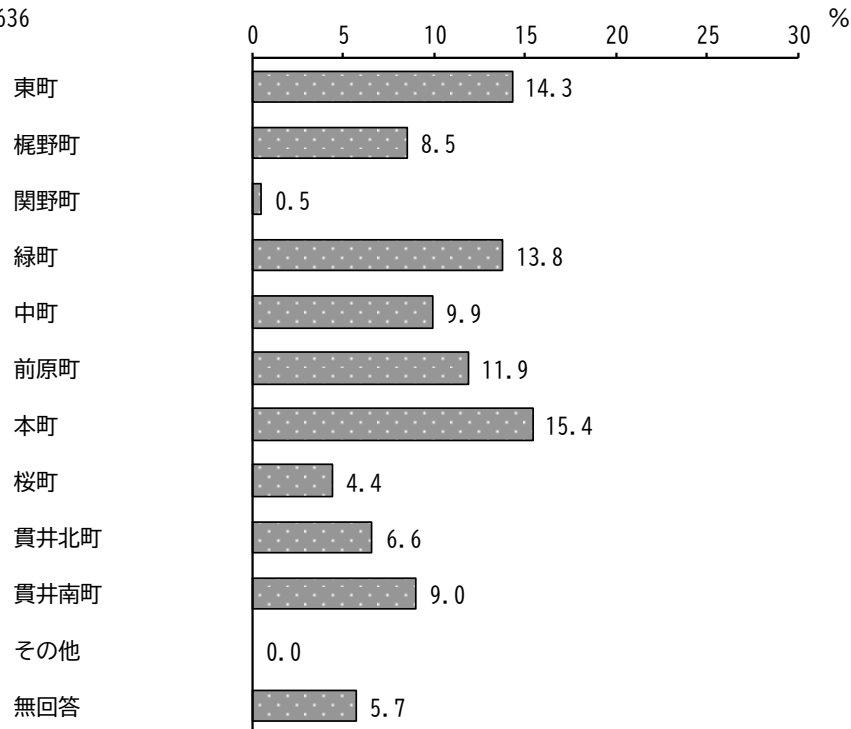
回答者数 = 636



F3 あなたはどちらにお住まいですか。(1つに○) また、丁目を〔 〕内にご記入ください。

「本町」の割合が15.4%と最も高く、次いで「東町」の割合が14.3%、「緑町」の割合が13.8%となっています。

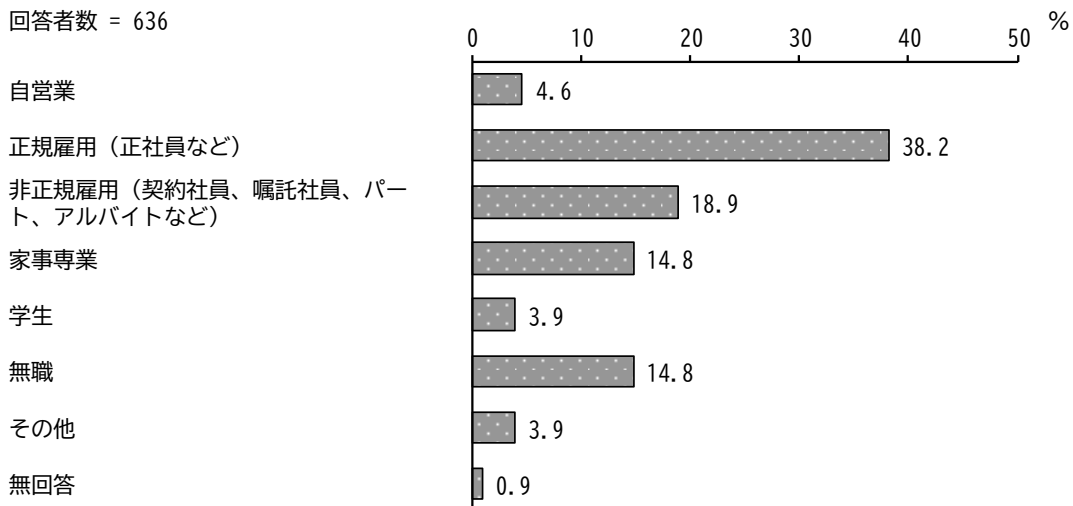
回答者数 = 636



F4 あなたの主な職業は何ですか。(1つに○)

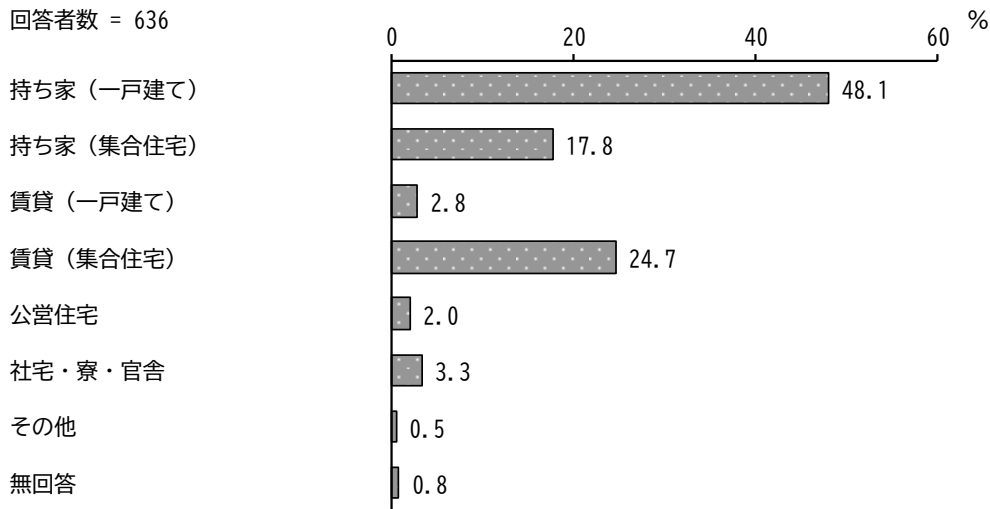
「正規雇用（正社員など）」の割合が38.2%と最も高く、次いで「非正規雇用（契約社員、嘱託社員、パート、アルバイトなど）」の割合が18.9%、「家事専業」、「無職」の割合が14.8%となっています。

回答者数 = 636



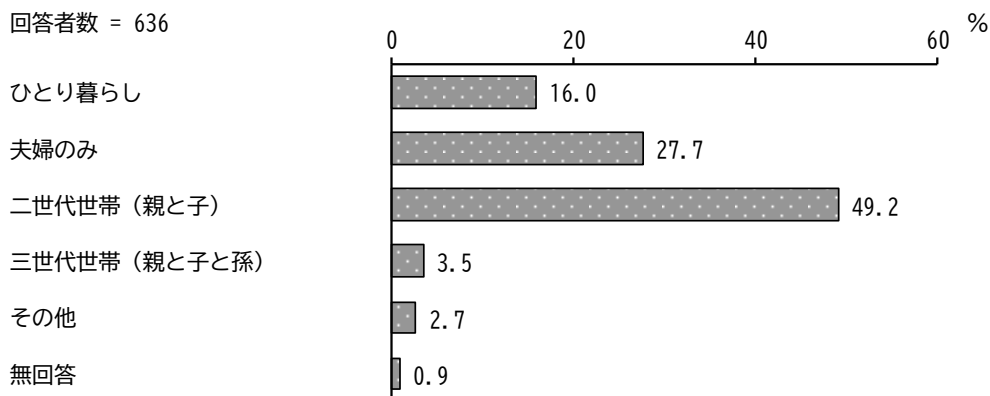
F 5 あなたの住居形態はどれにあたりますか。(1つに○)

「持ち家(一戸建て)」の割合が48.1%と最も高く、次いで「賃貸(集合住宅)」の割合が24.7%、「持ち家(集合住宅)」の割合が17.8%となっています。



F 6 あなたの家族構成はどのようになっていますか。(1つに○)

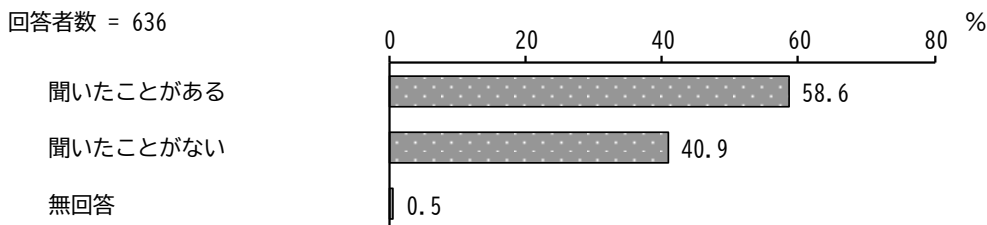
「二世世代世帯(親と子)」の割合が49.2%と最も高く、次いで「夫婦のみ」の割合が27.7%、「ひとり暮らし」の割合が16.0%となっています。



2 ノーマライゼーション等について

問1 あなたは、障がいのある人が社会の構成員として、地域の中で共に生活をおくれるようにすることを目指すという「ノーマライゼーション」または「共生社会」という言葉を聞いたことがありますか。(1つに○)

「聞いたことがある」の割合が 58.6%、「聞いたことがない」の割合が 40.9%となっています。



【福祉の関心度別】

福祉の関心度別にみると、他に比べ、全く関心がない、あまり関心がないで「聞いたことがない」の割合が、**非常に関心がある、ある程度関心がある**で「聞いたことがある」の割合が高くなっています。

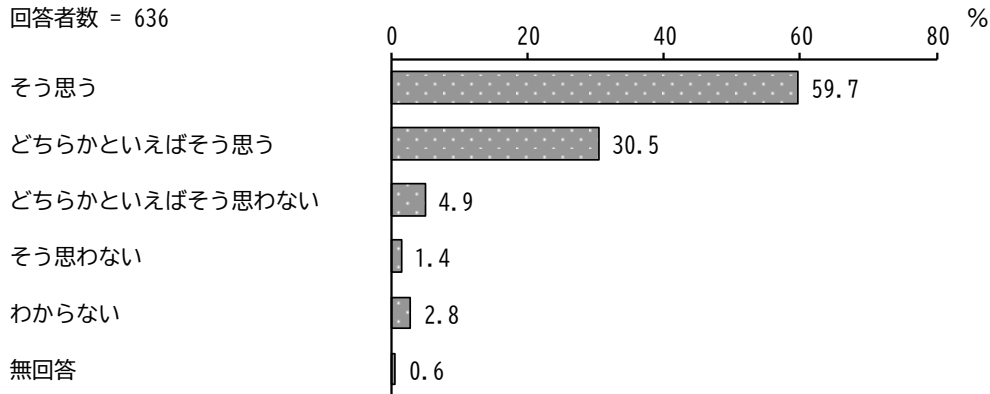
単位：%

区分	回答者数 (件)	聞いたことがある	聞いたことがない	無回答
全体	636	58.6	40.9	0.5
非常に関心がある	63	76.2	23.8	—
ある程度関心がある	312	67.6	32.1	0.3
どちらともいえない	153	45.8	53.6	0.7
あまり関心がない	78	37.2	62.8	—
全く関心がない	10	20.0	80.0	—

問2 あなたは、「障がいのある人が身近で普通に生活しているのが当たり前である」という考え方についてはどう思いますか。(1つに○)

「そう思う」の割合が59.7%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」の割合が30.5%となっています。

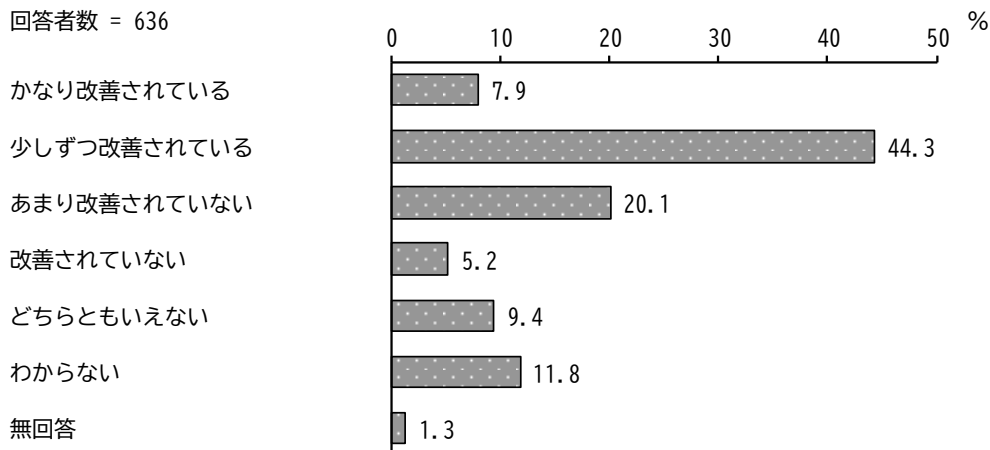
回答者数 = 636



問3 あなたは、5年前と比べて障がいのある人に対する差別や偏見は改善されたと思いますか。(1つに○)

「少しずつ改善されている」の割合が44.3%と最も高く、次いで「あまり改善されていない」の割合が20.1%、「わからない」の割合が11.8%となっています。

回答者数 = 636



3 福祉に対する関心について

問4 あなたは、障がい者等に関する法制度や活動をご存じですか。(①から⑫についてそれぞれ1つに○)

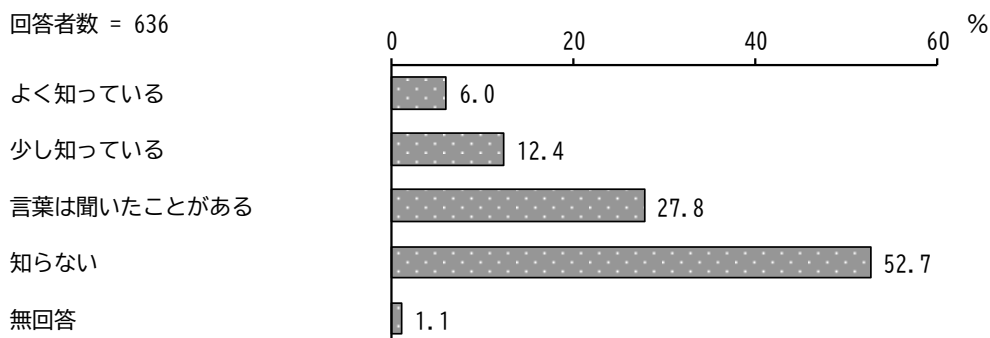
『⑦ ヘルプマーク』で「少し知っている」の割合が高くなっています。『⑧ 小金井市障害者差別解消条例』で「知らない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	よく知っている	少し知っている	言葉は聞いたことがある	知らない	無回答
① 障害者週間 (毎年12月3日～9日)	636	6.0	12.4	27.8	52.7	1.1
② 障害者権利条約	636	5.2	11.8	23.6	57.9	1.6
③ 障害者差別解消法	636	5.3	11.3	20.3	61.6	1.4
④ 障害者虐待防止法	636	5.2	13.5	25.5	53.9	1.9
⑤ 成年後見制度	636	16.4	37.4	24.7	20.1	1.4
⑥ ヘルプカード	636	18.4	31.4	18.7	30.2	1.3
⑦ ヘルプマーク	636	26.7	38.4	14.9	18.1	1.9
⑧ 小金井市障害者差別解消条例	636	0.8	5.2	11.0	80.5	2.5
⑨ 小金井市児童発達支援センター	636	8.2	19.5	23.7	46.9	1.7
⑩ 小金井市地域自立支援協議会	636	3.5	15.1	23.9	55.7	1.9
⑪ 障害者福祉センター	636	9.9	28.6	36.2	23.7	1.6
⑫ 避難行動要支援者名簿	636	3.1	8.0	14.8	72.5	1.6

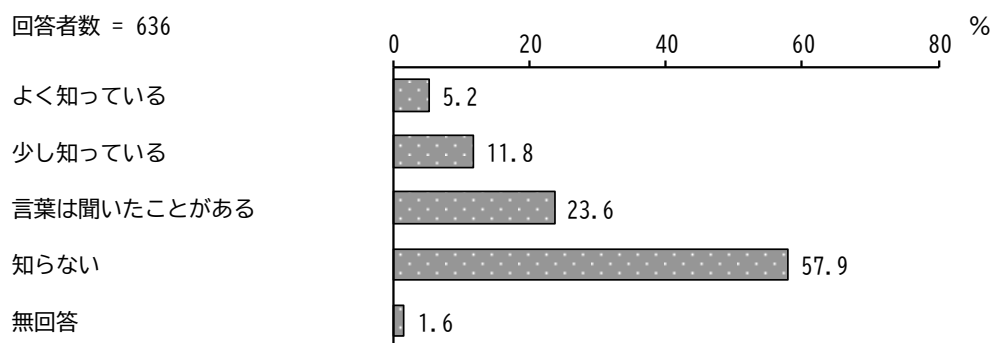
① 障害者週間 (毎年12月3日～9日)

「知らない」の割合が52.7%と最も高く、次いで「言葉は聞いたことがある」の割合が27.8%、「少し知っている」の割合が12.4%となっています。



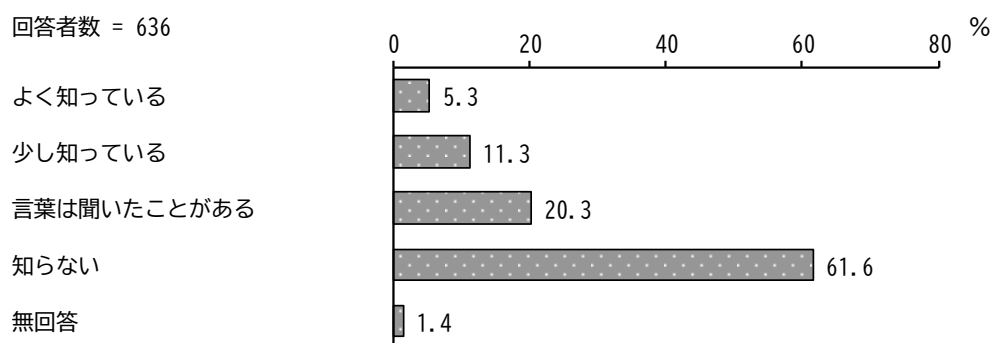
② 障害者権利条約

「知らない」の割合が 57.9%と最も高く、次いで「言葉は聞いたことがある」の割合が 23.6%、「少し知っている」の割合が 11.8%となっています。



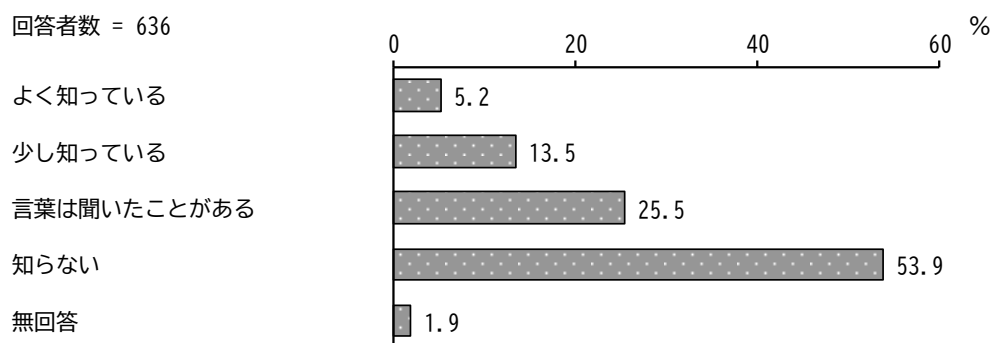
③ 障害者差別解消法（平成 28（2016）年 4 月施行）

「知らない」の割合が 61.6%と最も高く、次いで「言葉は聞いたことがある」の割合が 20.3%、「少し知っている」の割合が 11.3%となっています。



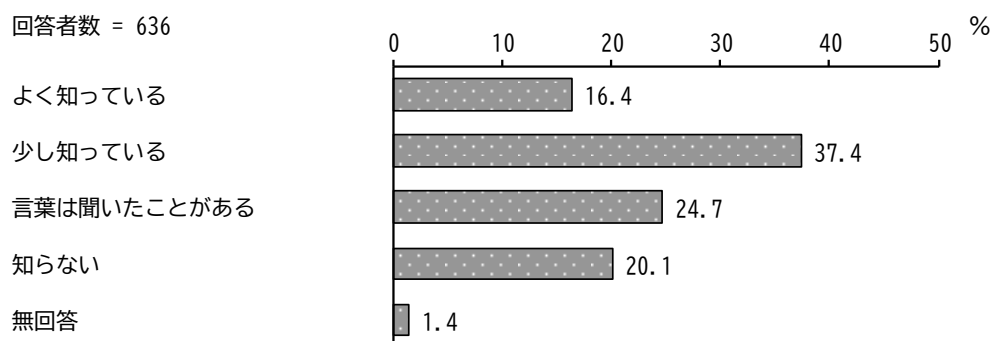
④ 障害者虐待防止法（平成 24（2012）年 10 月施行）

「知らない」の割合が 53.9%と最も高く、次いで「言葉は聞いたことがある」の割合が 25.5%、「少し知っている」の割合が 13.5%となっています。



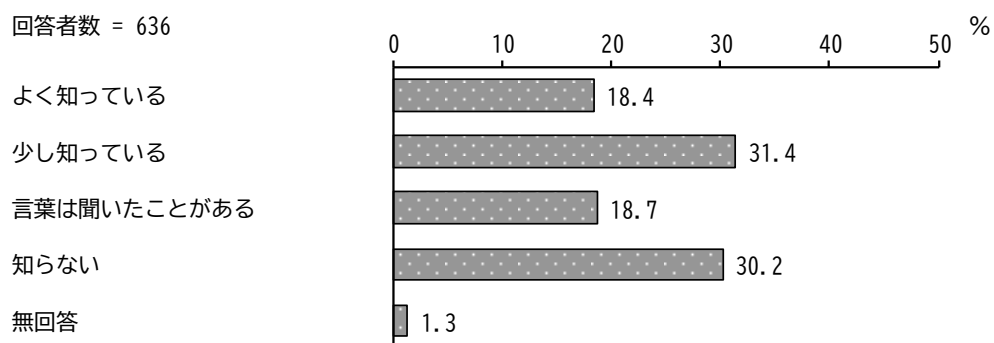
⑤ 成年後見制度

「少し知っている」の割合が 37.4%と最も高く、次いで「言葉は聞いたことがある」の割合が 24.7%、「知らない」の割合が 20.1%となっています。



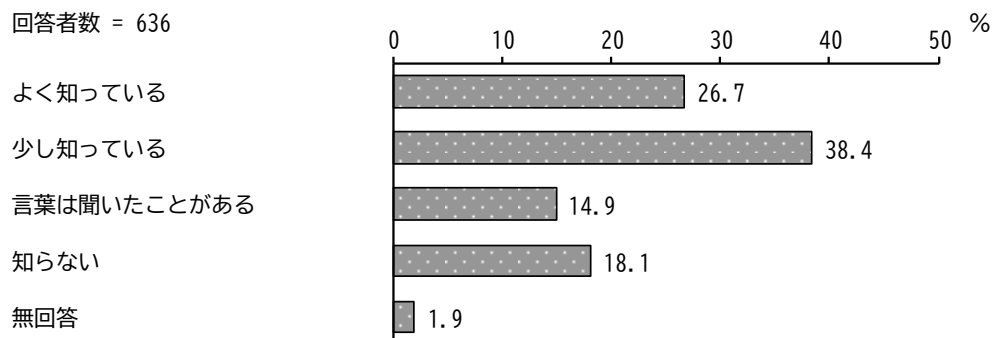
⑥ ヘルプカード

「少し知っている」の割合が31.4%と最も高く、次いで「知らない」の割合が30.2%、「言葉は聞いたことがある」の割合が18.7%となっています。



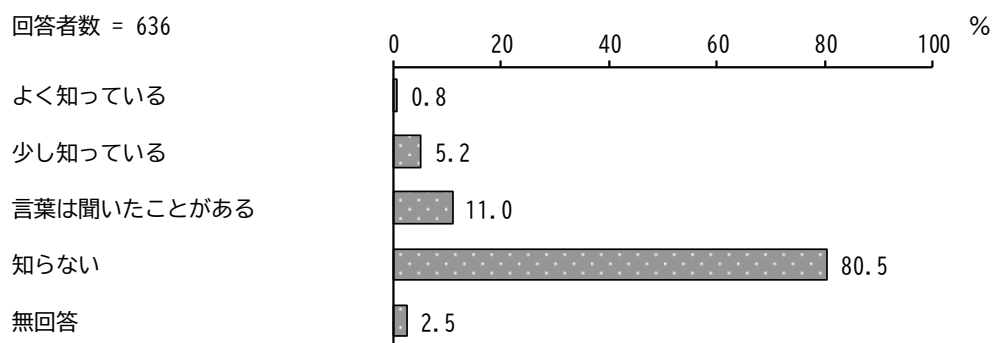
⑦ ヘルプマーク

「少し知っている」の割合が38.4%と最も高く、次いで「よく知っている」の割合が26.7%、「知らない」の割合が18.1%となっています。



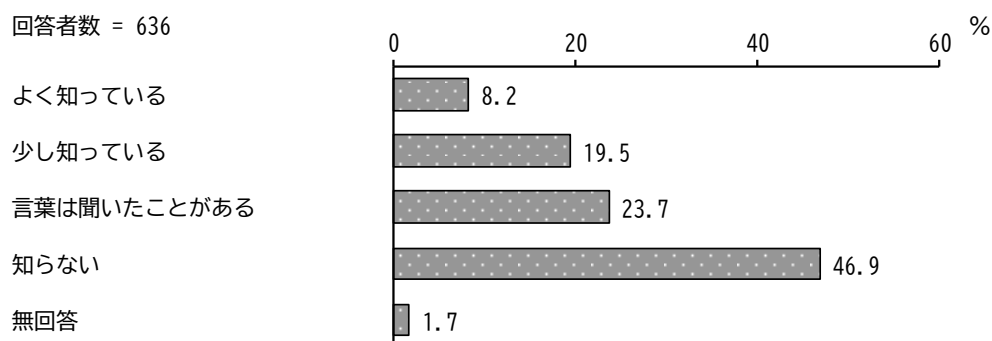
⑧ 小金井市障害者差別解消条例（平成 30（2018）年 10 月施行）

「知らない」の割合が 80.5%と最も高く、次いで「言葉は聞いたことがある」の割合が 11.0%となっています。



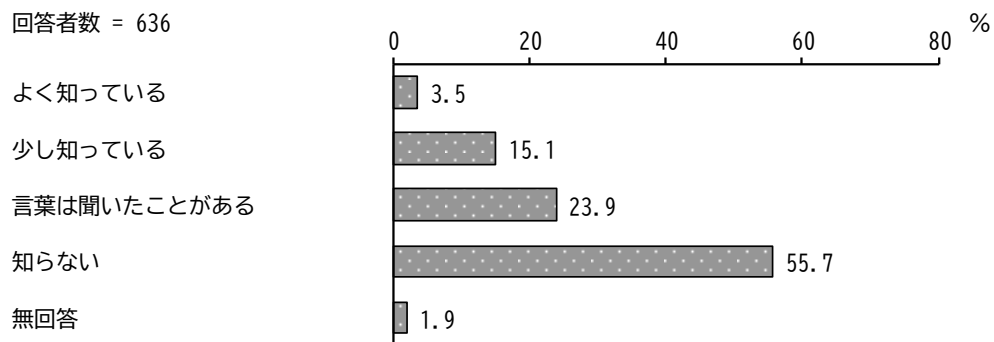
⑨ 小金井市児童発達支援センター

「知らない」の割合が 46.9%と最も高く、次いで「言葉は聞いたことがある」の割合が 23.7%、「少し知っている」の割合が 19.5%となっています。



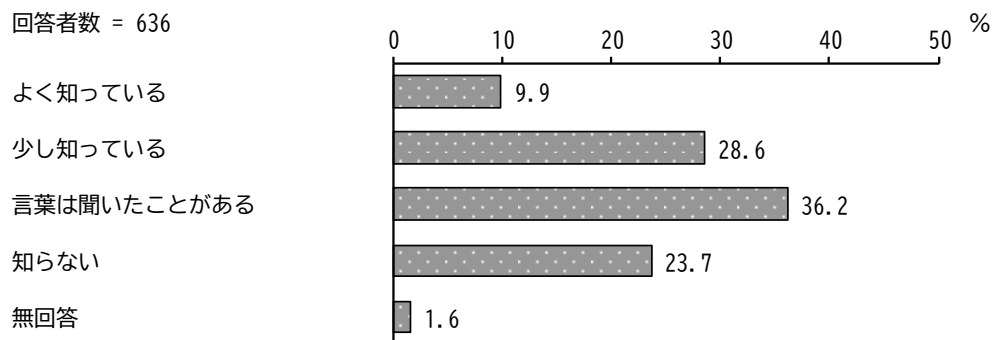
⑩ 小金井市地域自立支援協議会

「知らない」の割合が 55.7%と最も高く、次いで「言葉は聞いたことがある」の割合が 23.9%、「少し知っている」の割合が 15.1%となっています。



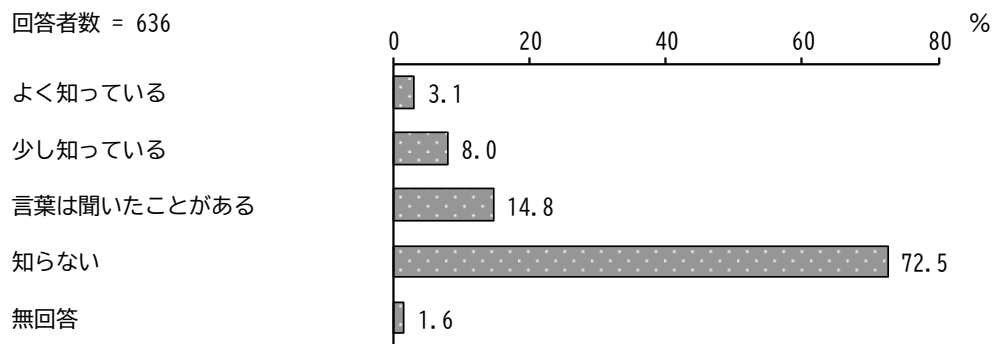
⑪ 障害者福祉センター

「言葉は聞いたことがある」の割合が 36.2%と最も高く、次いで「少し知っている」の割合が 28.6%、「知らない」の割合が 23.7%となっています。



⑫ 避難行動要支援者名簿

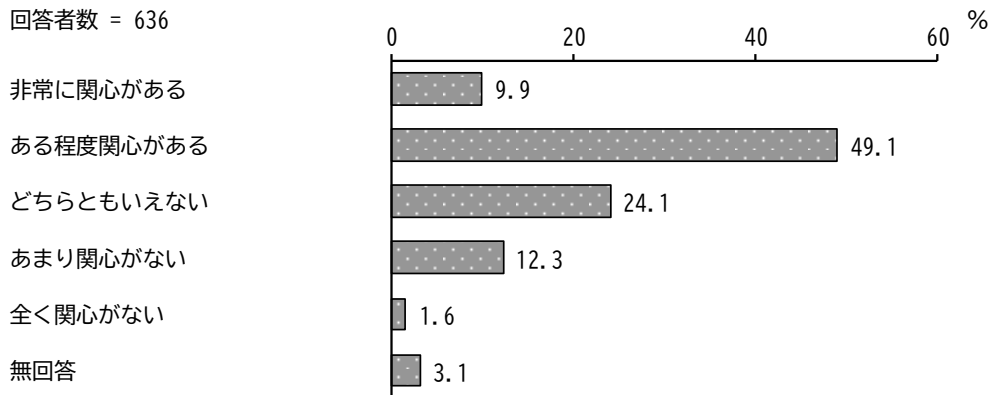
「知らない」の割合が72.5%と最も高く、次いで「言葉は聞いたことがある」の割合が14.8%となっています。



問5 あなたは、障がいのある人の福祉について関心をお持ちですか。(1つに○)

「ある程度関心がある」の割合が49.1%と最も高く、次いで「どちらともいえない」の割合が24.1%、「あまり関心がない」の割合が12.3%となっています。

回答者数 = 636



【年齢別】

年齢別にみると、他に比べ、65歳以上で「ある程度関心がある」の割合が高くなっています。

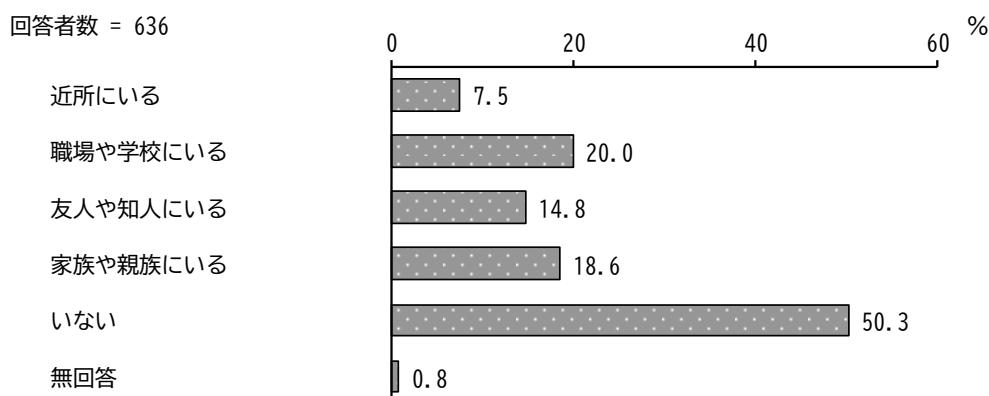
単位：%

区分	回答者数(件)	非常に興味がある	ある程度関心がある	どちらともいえない	あまり関心がない	全く関心がない	無回答
全体	636	9.9	49.1	24.1	12.3	1.6	3.1
18～19歳	6	16.7	33.3	33.3	16.7	—	—
20～24歳	23	8.7	43.5	30.4	13.0	4.3	—
25～29歳	34	5.9	50.0	23.5	17.6	—	2.9
30～34歳	38	10.5	39.5	18.4	18.4	7.9	5.3
35～39歳	52	11.5	40.4	25.0	17.3	1.9	3.8
40～44歳	60	13.3	33.3	31.7	18.3	1.7	1.7
45～49歳	72	4.2	47.2	26.4	18.1	1.4	2.8
50～54歳	64	10.9	40.6	26.6	17.2	4.7	—
55～59歳	50	24.0	52.0	14.0	8.0	—	2.0
60～64歳	54	9.3	48.1	25.9	14.8	—	1.9
65～69歳	54	3.7	61.1	22.2	5.6	—	7.4
70～74歳	43	7.0	69.8	18.6	—	—	4.7
75～79歳	38	—	71.1	23.7	—	—	5.3
80歳以上	42	19.0	54.8	19.0	4.8	—	2.4

4 障がいのある人とのふれあいについて

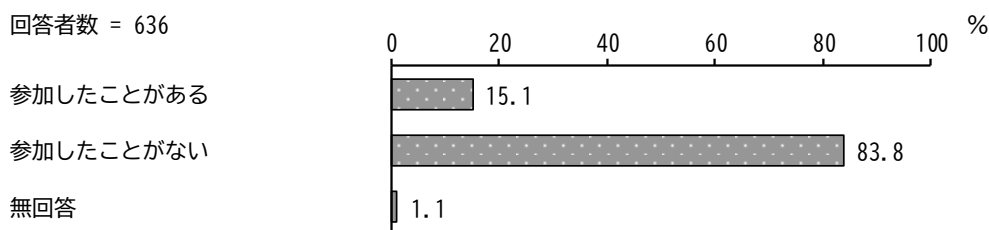
問6 あなたのまわりに、日常的に交流をしている障がいのある人はいますか。(いくつでも○)

「いない」の割合が50.3%と最も高く、次いで「職場や学校にいる」の割合が20.0%、「家族や親族にいる」の割合が18.6%となっています。



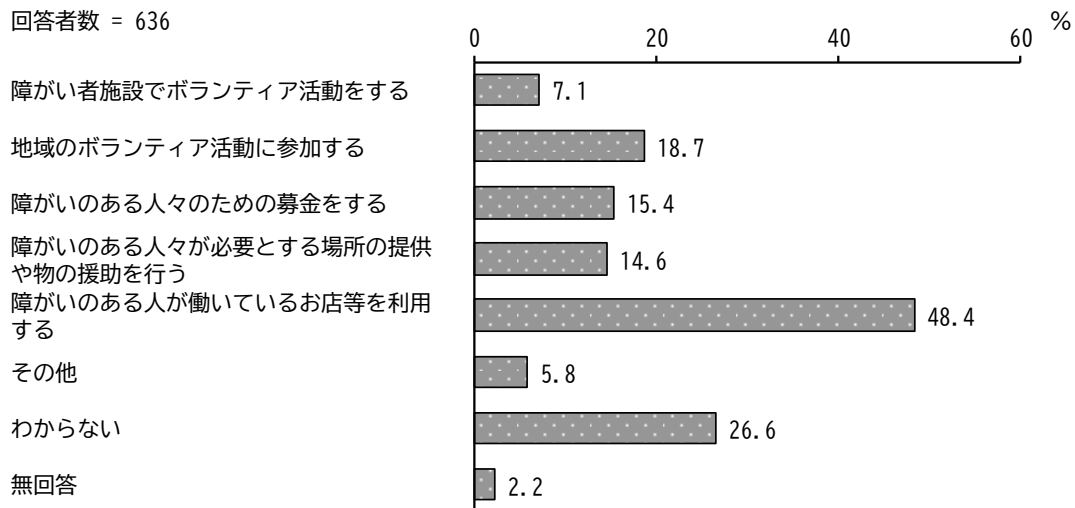
問7 障がいのある人、ない人相互の交流活動や催し、あるいはボランティア活動が地域で行われていますが、あなたは、そのような活動に参加したことがありますか。(1つに○)

「参加したことがある」の割合が15.1%、「参加したことがない」の割合が83.8%となっています。



問8 あなたは、今後、どのような交流活動や催し、あるいはボランティア活動に参加したいと思いますか。(いくつでも○)

「障がいのある人が働いているお店等を利用する」の割合が48.4%と最も高く、次いで「わからない」の割合が26.6%、「地域のボランティア活動に参加する」の割合が18.7%となっています。



【福祉の関心度別】

福祉の関心度別にみると、他に比べ、全く関心がない、あまり関心がないで「わからない」の割合が、非常に関心があるで「障がいのある人が働いているお店等を利用する」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	障がい者施設でボランティア活動をする	地域のボランティア活動に参加する	障がいのある人々のための募金をする	障がいのある人々が必要とする場所の提供や物の援助を行う	障がいのある人が働いているお店等を利用する	その他	わからない	無回答
全体	636	7.1	18.7	15.4	14.6	48.4	5.8	26.6	2.2
非常に関心がある	63	23.8	36.5	14.3	20.6	66.7	12.7	7.9	—
ある程度関心がある	312	7.1	21.8	18.3	20.2	52.9	4.8	20.2	2.2
どちらともいえない	153	2.6	10.5	13.7	9.8	41.8	4.6	35.3	2.0
あまり関心がない	78	1.3	10.3	11.5	2.6	34.6	6.4	46.2	—
全く関心がない	10	10.0	—	—	—	10.0	20.0	60.0	—

問9 あなたは、障がい者等に対してどのようにお考えですか。(①から⑤についてそれぞれ1つに○)

『① 身体障がい』で「一定の理解をしていると思う」の割合が高くなっています。『⑤ 高次脳機能障害』で「あまり理解をしていないと思う」の割合が高くなっています。

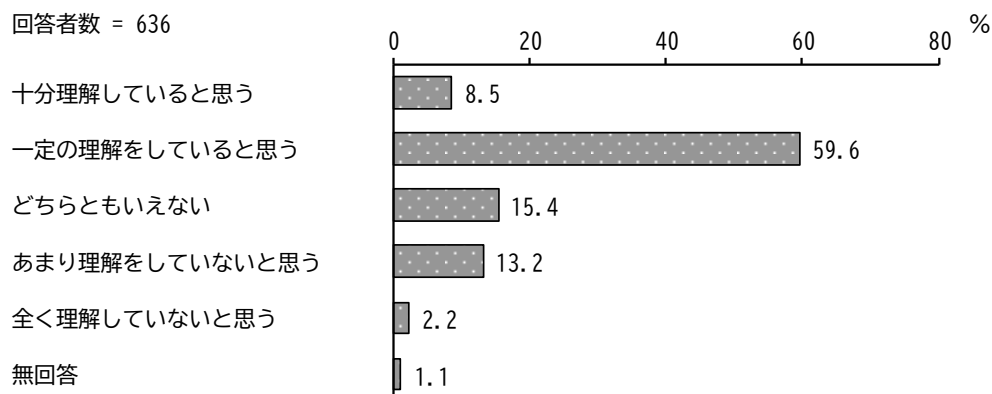
単位：%

区分	全体	十分理解していると思う	一定の理解をしていると思う	どちらともいえない	あまり理解をしていないと思う	全く理解をしていないと思う	無回答
① 身体障がい	636	8.5	59.6	15.4	13.2	2.2	1.1
② 知的障がい	636	6.1	51.6	18.7	19.7	3.0	0.9
③ 精神障がい	636	6.0	41.8	24.1	22.6	4.6	0.9
④ 発達障がい	636	8.0	49.1	19.7	19.3	2.7	1.3
⑤ 高次脳機能障がい	636	6.1	25.6	20.9	28.5	16.8	2.0

① 身体障がい

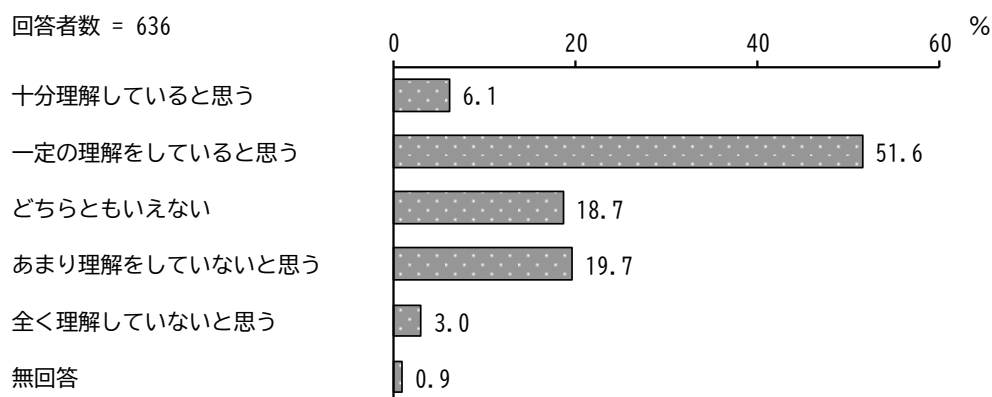
「一定の理解をしていると思う」の割合が 59.6%と最も高く、次いで「どちらともいえない」の割合が 15.4%、「あまり理解をしていないと思う」の割合が 13.2%となっています。

回答者数 = 636



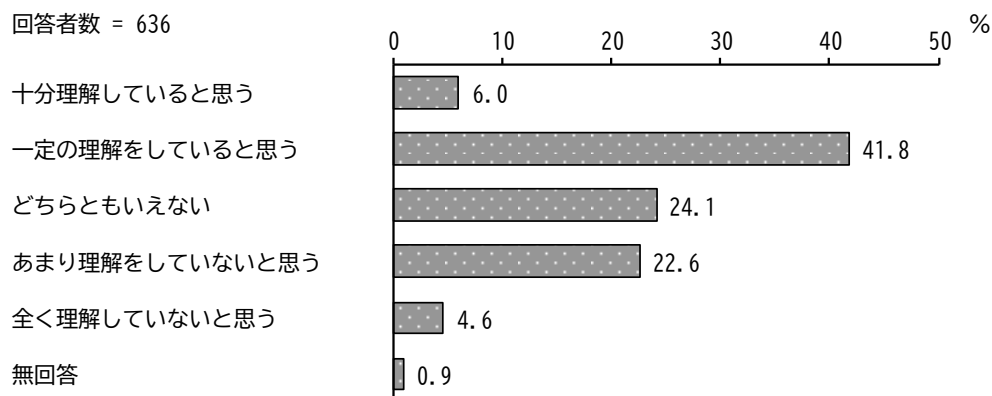
② 知的障がい

「一定の理解をしていると思う」の割合が51.6%と最も高く、次いで「あまり理解をしていないと思う」の割合が19.7%、「どちらともいえない」の割合が18.7%となっています。



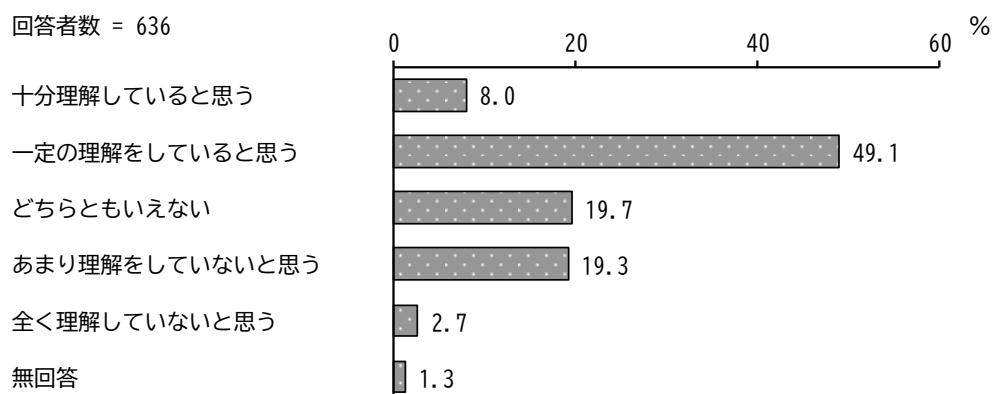
③ 精神障がい

「一定の理解をしていると思う」の割合が41.8%と最も高く、次いで「どちらともいえない」の割合が24.1%、「あまり理解をしていないと思う」の割合が22.6%となっています。



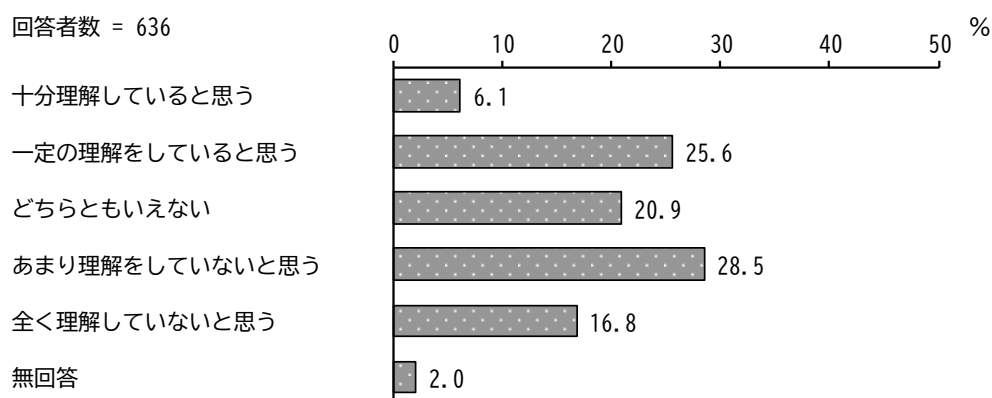
④ 発達障がい

「一定の理解をしていると思う」の割合が 49.1%と最も高く、次いで「どちらともいえない」の割合が 19.7%、「あまり理解をしていないと思う」の割合が 19.3%となっています。



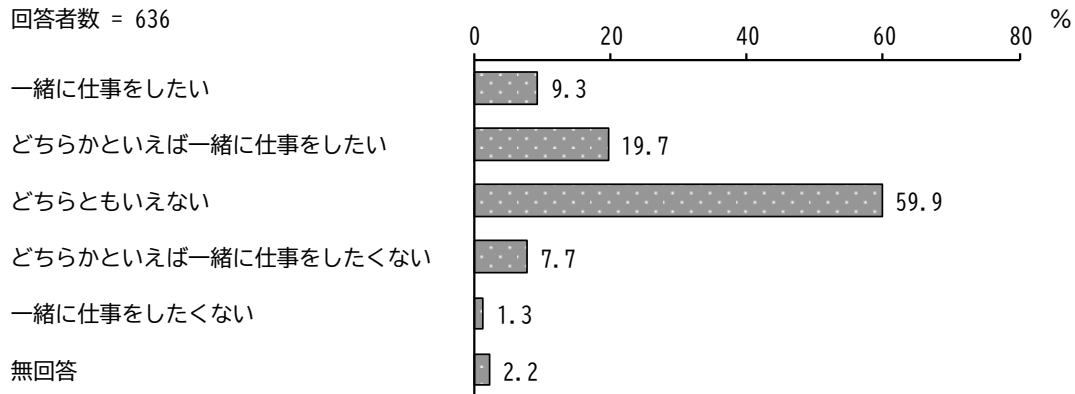
⑤ 高次脳機能障がい

「あまり理解をしていないと思う」の割合が 28.5%と最も高く、次いで「一定の理解をしていると思う」の割合が 25.6%、「どちらともいえない」の割合が 20.9%となっています。



問10 あなたご自身は、障がいのある人と一緒に仕事をするについてどう思いますか。(1つに〇)

「どちらともいえない」の割合が59.9%と最も高く、次いで「どちらかといえば一緒に仕事をしたい」の割合が19.7%となっています。



【福祉の関心度別】

福祉の関心度別にみると、他に比べ、非常に関心がある、ある程度関心があるで「どちらかといえば一緒に仕事をしたい」の割合が高くなっています。

単位：%

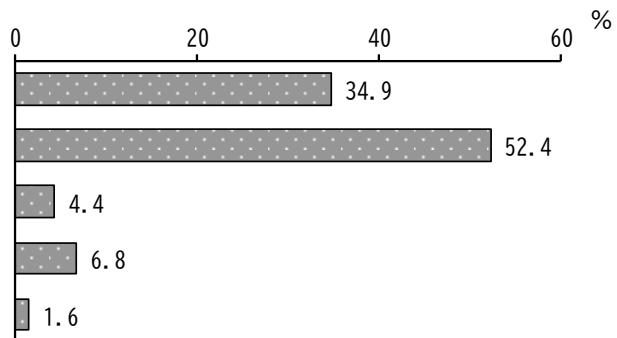
区分	回答者数(件)	一緒に仕事をしたい	どちらかといえば一緒に仕事をしたい	どちらともいえない	どちらかといえば一緒に仕事をしたくない	一緒に仕事をしたくない	無回答
全体	636	9.3	19.7	59.9	7.7	1.3	2.2
非常に関心がある	63	27.0	34.9	36.5	—	1.6	—
ある程度関心がある	312	10.3	26.0	56.1	5.1	0.3	2.2
どちらともいえない	153	3.9	8.5	79.1	6.5	1.3	0.7
あまり関心がない	78	—	9.0	62.8	25.6	1.3	1.3
全く関心がない	10	—	—	40.0	30.0	30.0	—

問 11 障がいの有無に関わらず、子どもたちが一緒に学んだり、保育を受けることについて、あなたの考えに一番近いものはどれですか。(1つに〇)

「障がいの状況や程度に合わせて、専門的な保育や教育を受けるほうがよい」の割合が 52.4%と最も高く、次いで「障がいの有無に関わらず、できるだけ一緒に過ごせるのがよい」の割合が 34.9%となっています。

回答者数 = 636

障がいの有無に関わらず、できるだけ一緒に過ごせるのがよい
 障がいの状況や程度に合わせて、専門的な保育や教育を受けるほうがよい
 その他
 わからない
 無回答



【福祉の関心度別】

福祉の関心度別にみると、他に比べ、あまり関心がない、全く関心がないで「障がいの状況や程度に合わせて、専門的な保育や教育を受けるほうがよい」の割合が、ある程度関心があるで「障がいの有無に関わらず、できるだけ一緒に過ごせるのがよい」の割合が高くなっています。

単位：%

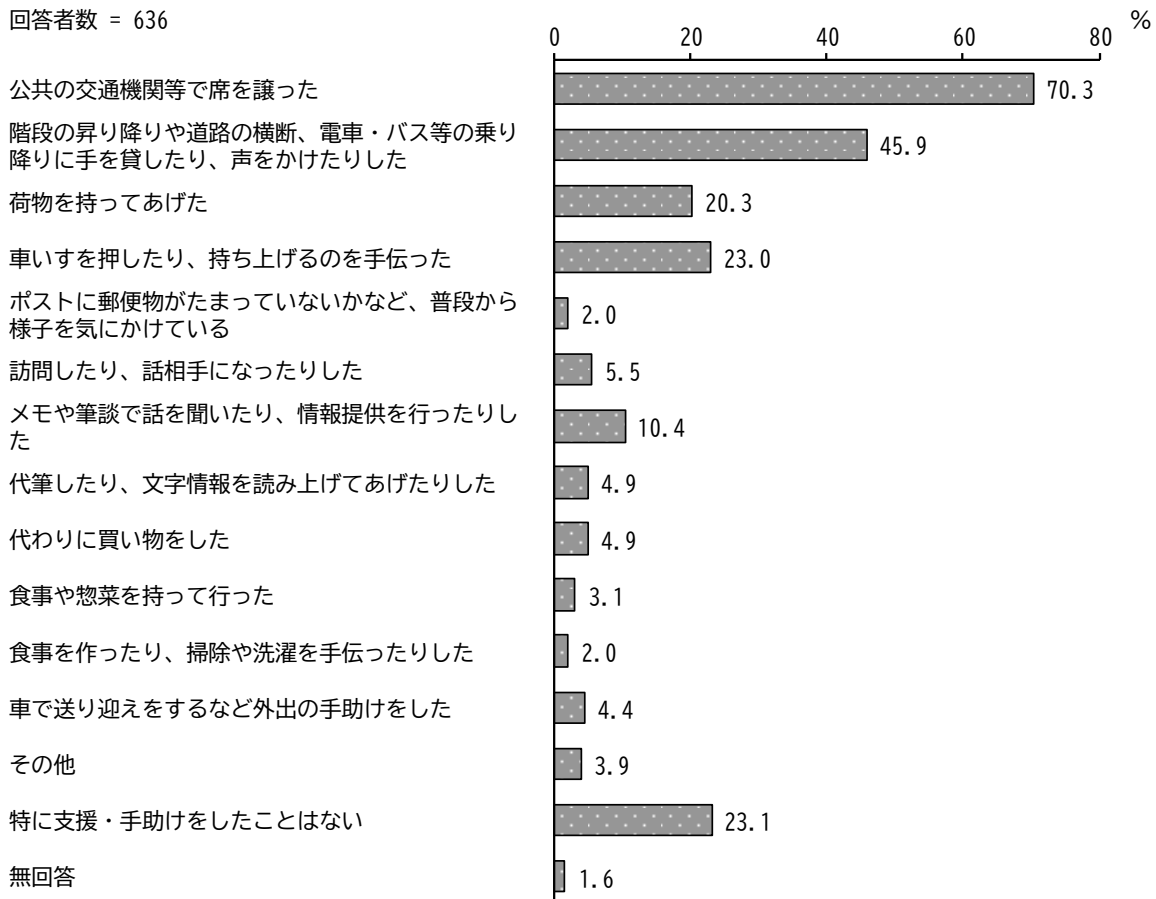
区分	回答者数(件)	障がいの有無に関わらず、できるだけ一緒に過ごせるのがよい	障がいの状況や程度に合わせて、専門的な保育や教育を受けるほうがよい	その他	わからない	無回答
全 体	636	34.9	52.4	4.4	6.8	1.6
非常に関心がある	63	34.9	49.2	9.5	4.8	1.6
ある程度関心がある	312	42.9	48.1	4.8	2.9	1.3
どちらともいえない	153	29.4	52.9	3.3	13.7	0.7
あまり関心がない	78	16.7	74.4	1.3	7.7	—
全く関心がない	10	10.0	60.0	—	30.0	—

5 障がいのある人への日常的な支援・手助けについて

問13 あなたは、個人として障がいのある方に次のような支援・手助けをしたことがありますか。(いくつでも○)

「公共の交通機関等で席を譲った」の割合が70.3%と最も高く、次いで「階段の昇り降りや道路の横断、電車・バス等の乗り降りに手を貸したり、声をかけたりした」の割合が45.9%、「特に支援・手助けをしたことはない」の割合が23.1%となっています。

回答者数 = 636



【年齢別】

年齢別にみると、他に比べ、55～59歳で「階段の昇り降りや道路の横断、電車・バス等の乗り降りに手を貸したり、声をかけたりした」の割合が、80歳以上で「特に支援・手助けをしたことはない」の割合が、60～64歳で「車いすを押したり、持ち上げるのを手伝った」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	公共の交通機関等で席を譲った	階段の昇り降りや道路の横断、電車・バス等の乗り降りに手を貸したり、声をかけたりした	荷物を持ってあげた	車いすを押したり、持ち上げるのを手伝った	ポストに郵便物がたまっていないかなど、普段から様子を気にかけている	訪問したり、話相手になったりした	メモや筆談で話を聞いたり、情報提供を行ったりした
全体	636	70.3	45.9	20.3	23.0	2.0	5.5	10.4
18～19歳	6	66.7	50.0	33.3	—	—	16.7	—
20～24歳	23	69.6	17.4	8.7	8.7	—	—	8.7
25～29歳	34	73.5	23.5	11.8	2.9	—	2.9	8.8
30～34歳	38	73.7	39.5	15.8	21.1	2.6	7.9	13.2
35～39歳	52	65.4	42.3	19.2	19.2	1.9	1.9	11.5
40～44歳	60	70.0	38.3	20.0	18.3	1.7	6.7	11.7
45～49歳	72	69.4	40.3	15.3	20.8	—	2.8	9.7
50～54歳	64	67.2	51.6	20.3	25.0	—	3.1	14.1
55～59歳	50	78.0	66.0	32.0	36.0	4.0	12.0	16.0
60～64歳	54	81.5	59.3	22.2	42.6	1.9	3.7	13.0
65～69歳	54	70.4	50.0	20.4	31.5	3.7	7.4	5.6
70～74歳	43	76.7	60.5	34.9	27.9	11.6	9.3	14.0
75～79歳	38	60.5	36.8	18.4	23.7	—	2.6	7.9
80歳以上	42	57.1	52.4	16.7	9.5	—	9.5	—

(次のページへ)

単位：%

区分	代わりに買い物をした	食事や惣菜を持って行った	食事を作ったり、掃除や洗濯を手伝ったりした	車で送り迎えをするなど外出の手助けをした	その他	特に支援・手助けをしたことはない	無回答
全 体	4.9	3.1	2.0	4.4	3.9	23.1	1.6
18～19 歳	—	—	—	—	—	16.7	—
20～24 歳	—	—	—	—	—	30.4	—
25～29 歳	—	—	—	—	2.9	26.5	—
30～34 歳	7.9	—	—	—	2.6	21.1	—
35～39 歳	—	1.9	1.9	1.9	1.9	25.0	1.9
40～44 歳	6.7	3.3	3.3	3.3	5.0	15.0	1.7
45～49 歳	1.4	2.8	—	2.8	4.2	16.7	—
50～54 歳	3.1	3.1	1.6	10.9	4.7	17.2	—
55～59 歳	10.0	6.0	8.0	10.0	2.0	14.0	2.0
60～64 歳	5.6	1.9	1.9	3.7	3.7	16.7	—
65～69 歳	5.6	7.4	1.9	7.4	5.6	24.1	—
70～74 歳	9.3	2.3	4.7	9.3	7.0	30.2	—
75～79 歳	10.5	5.3	2.6	—	2.6	36.8	2.6
80 歳以上	4.8	4.8	—	2.4	7.1	42.9	11.9

【福祉の関心度別】

福祉の関心度別にみると、他に比べ、非常に関心があるで「メモや筆談で話を聞いたり、情報提供を行ったりした」「代筆したり、文字情報を読み上げてあげたりした」の割合が、非常に関心がある、ある程度関心があるで「公共の交通機関等で席を譲った」の割合が高くなっています。

単位：%

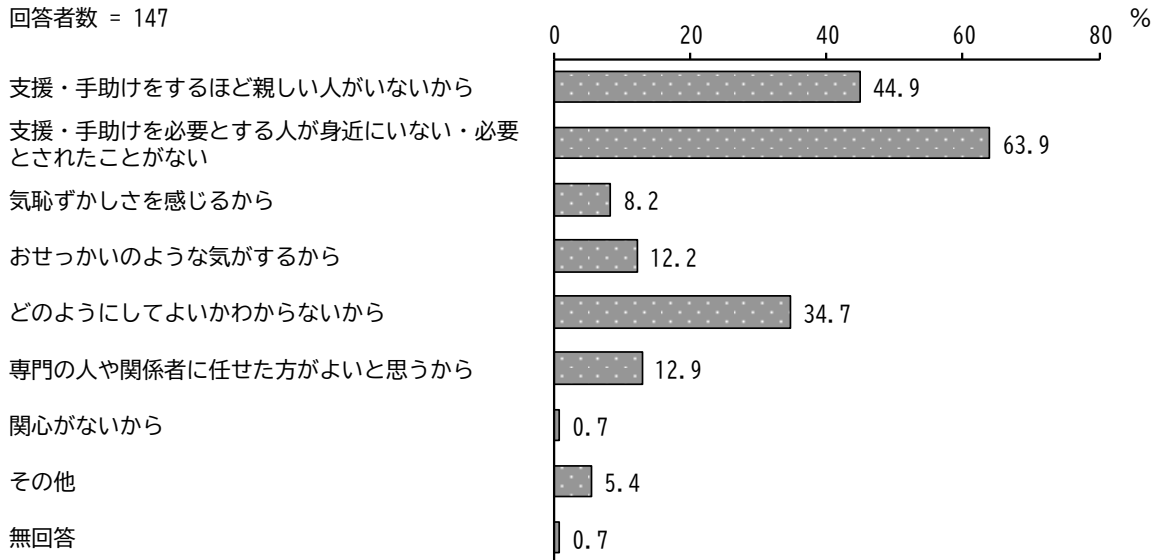
区分	回答者数(件)	公共の交通機関等で席を譲った	階段の昇り降りや道路の横断、電車・バス等の乗り降りに手を貸したり、声をかけたりした	荷物を持ってあげた	車いすを押したり、持ち上げるのを手伝った	ポストに郵便物がたまっていないかなど、普段から様子を気にかけている	訪問したり、話相手になったりした	メモや筆談で話を聞いたり、情報提供を行ったりした
全 体	636	70.3	45.9	20.3	23.0	2.0	5.5	10.4
非常に関心がある	63	76.2	58.7	28.6	23.8	3.2	15.9	23.8
ある程度関心がある	312	74.4	54.8	23.1	27.2	2.2	5.8	10.3
どちらともいえない	153	63.4	34.0	14.4	16.3	0.7	2.0	5.2
あまり関心がない	78	61.5	25.6	7.7	16.7	1.3	2.6	10.3
全く関心がない	10	60.0	20.0	30.0	20.0	10.0	10.0	20.0

区分	代筆したり、文字情報を読み上げてあげたりした	代わりに買い物をした	食事や惣菜を持って行った	食事を作ったり、掃除や洗濯を手伝ったりした	車で送り迎えをするなど外出の手助けをした	その他	特に支援・手助けをしたことはない	無回答
全 体	4.9	4.9	3.1	2.0	4.4	3.9	23.1	1.6
非常に関心がある	14.3	9.5	7.9	9.5	14.3	9.5	7.9	1.6
ある程度関心がある	3.8	4.2	3.2	1.6	4.5	4.2	20.5	1.3
どちらともいえない	3.9	4.6	2.0	0.7	2.0	2.6	28.8	2.6
あまり関心がない	2.6	3.8	2.6	1.3	2.6	2.6	32.1	—
全く関心がない	20.0	10.0	—	—	—	—	30.0	—

問 13-1 支援や手助けしたことがない理由は何ですか。(いくつでも○)

「支援・手助けを必要とする人が身近にいない・必要とされたことがない」の割合が 63.9%と最も高く、次いで「支援・手助けをするほど親しい人がいないから」の割合が 44.9%、「どのようにしてよいかわからないから」の割合が 34.7%となっています。

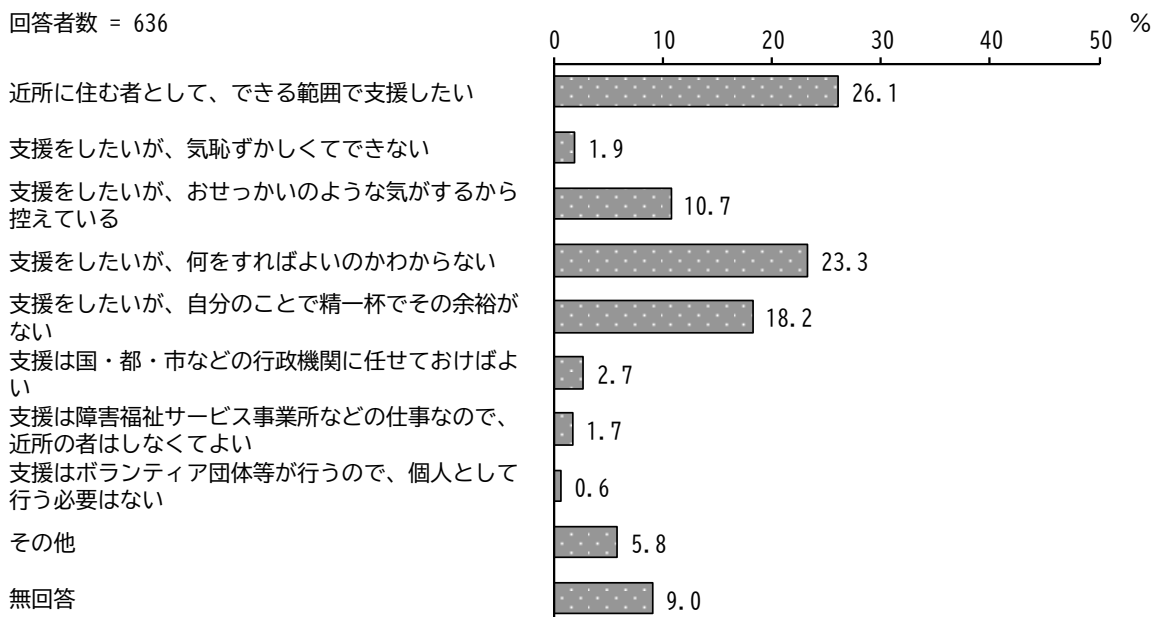
回答者数 = 147



問 14 近所に住む障がいのある方などへの日常的な支援について、あなたの考えに一番近いものはどれですか。(1つに○)

「近所に住む者として、できる範囲で支援したい」の割合が 26.1%と最も高く、次いで「支援をしたいが、何をすればよいかわからない」の割合が 23.3%、「支援をしたいが、自分のことで精一杯でその余裕がない」の割合が 18.2%となっています。

回答者数 = 636

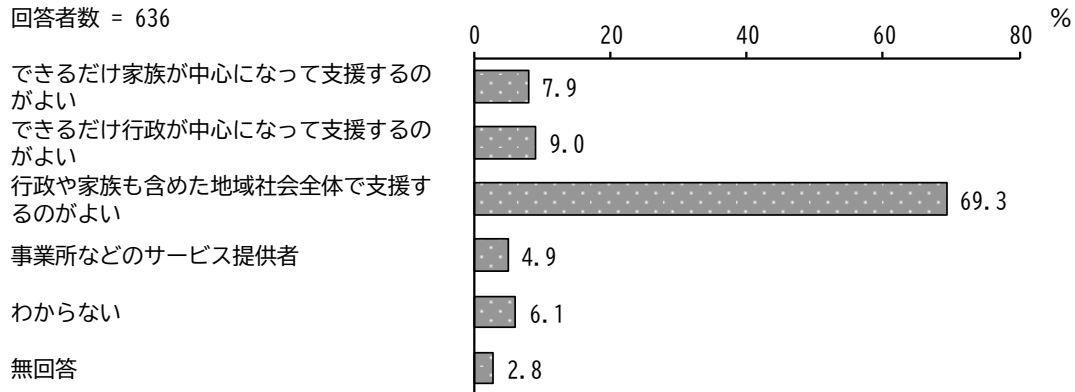


6 障がい者施策について

問 15 あなたは、障がいのある人の身の回りの支援は、主として誰が担うのがよいと思いますか。(1つに○)

「行政や家族も含めた地域社会全体で支援するのがよい」の割合が 69.3%と最も高くなっています。

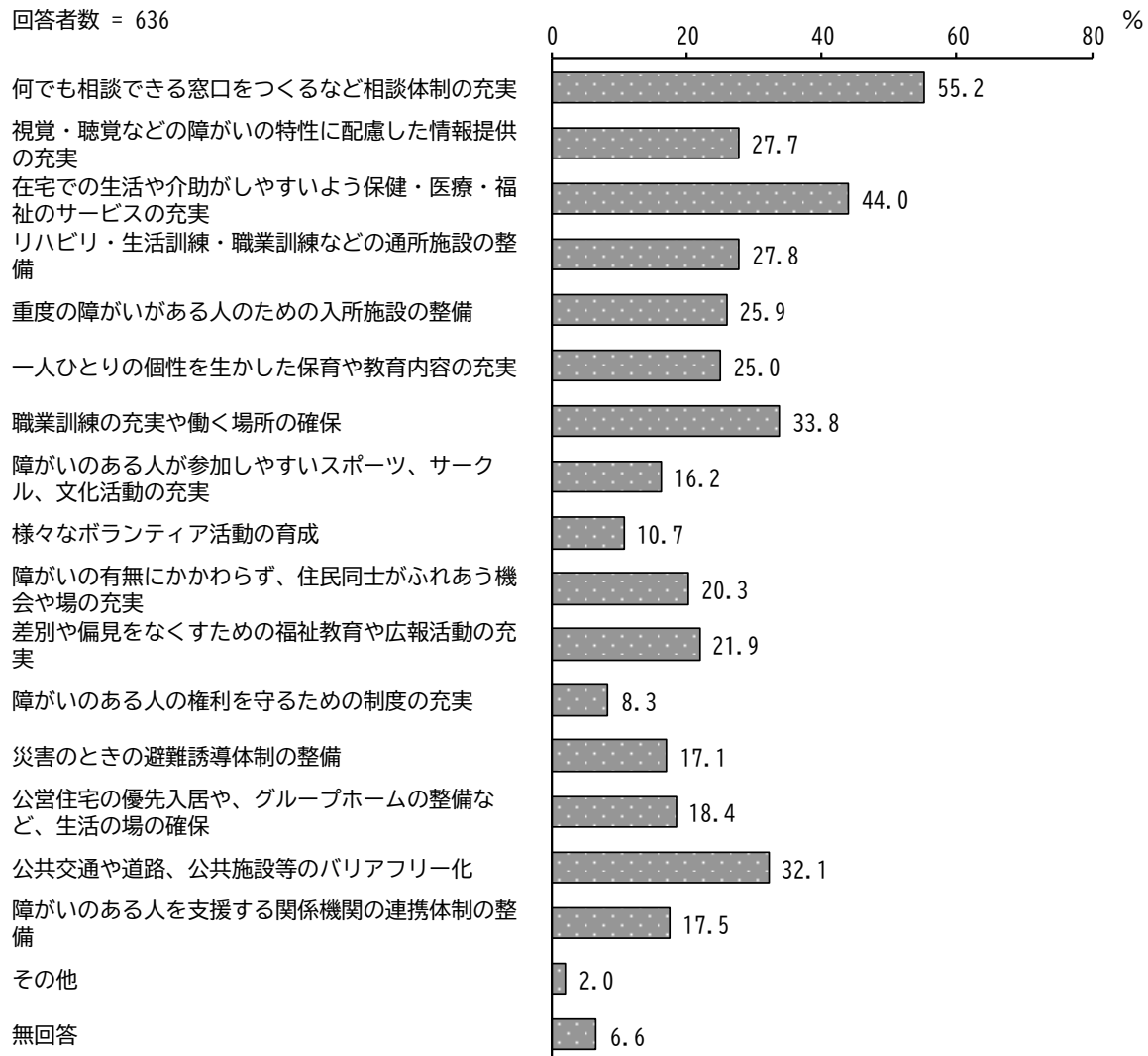
回答者数 = 636



問17 障がいのある人にとって暮らしよいまちづくりのためには、どのようなことが必要だと考えますか。(5つまで〇)

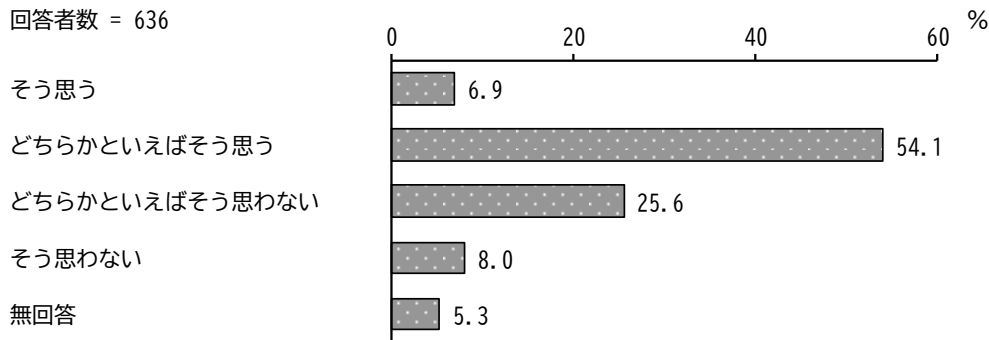
「何でも相談できる窓口をつくるなど相談体制の充実」の割合が 55.2%と最も高く、次いで「在宅での生活や介助がしやすいよう保健・医療・福祉のサービスの充実」の割合が 44.0%、「職業訓練の充実や働く場所の確保」の割合が 33.8%となっています。

回答者数 = 636



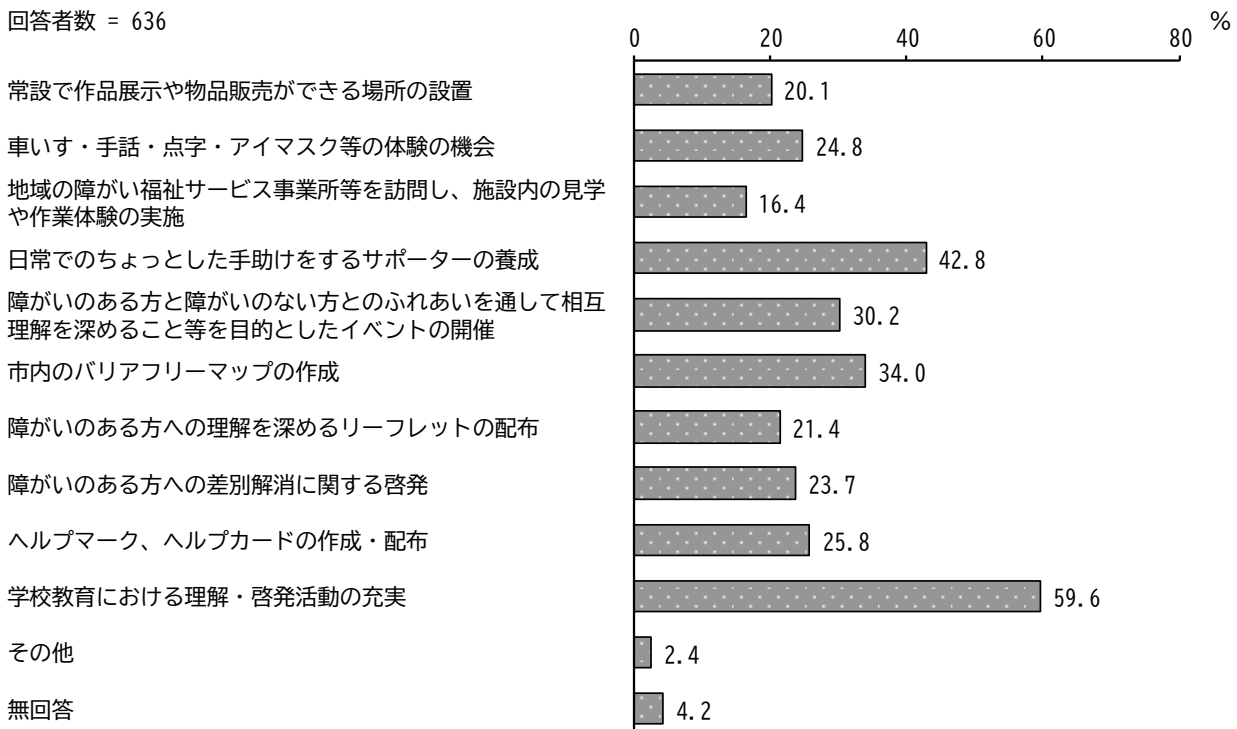
問 18 小金井市では、「誰もがいきいきと暮らすことのできるまち」の実現をめざしています。あなたは、小金井市は「誰もがいきいきと暮らすことのできるまち」だと思いますか。(1つに○)

「どちらかといえばそう思う」の割合が 54.1%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」の割合が 25.6%となっています。



問 19 障がいに関する理解を深めるために、どのような理解啓発活動が必要であると思いますか。(いくつでも○)

「学校教育における理解・啓発活動の充実」の割合が 59.6%と最も高く、次いで「日常でのちょっとした手助けをするサポーターの養成」の割合が 42.8%、「市内のバリアフリーマップの作成」の割合が 34.0%となっています。



小金井市保健福祉総合計画（障害者計画・障害福祉計画）策定のためのアンケート調査報告書
令和5年3月

発行：福祉保健部 自立生活支援課 障害福祉係
小金井市本町6-6-3
TEL 042-387-9848
FAX 042-384-2524